

14.2₁
85



始



大正貳年度

福岡縣水產試驗場事業報告

14.2-85

大正二年度事業報告

目次

遠洋漁業試験

一、經釣漁業試験	一
二、期節、漁場	二
三、漁業試験日誌	五
四、結	六
五、論	八
六、洋觀測	八
七、漁業取締	九

鱒漁業試験

一、試験繼續ノ趣旨	一一
-----------	----



大正
4. 6. 4
内交

二、試驗ノ經過.....二二二

三、鯨來游ノ狀況.....二二三

四、焚寄旋刺法試驗.....二二五

五、貸附試驗并ニ集魚燈ノ普及.....二一九

漁業基本調査 (海洋觀測ノ部)

一、觀測ノ位置.....二三五

二、調査ノ日時.....二三六

三、調査地ノ重要生物.....二三六

四、觀測方法及記入凡例.....二三七

五、定時海洋觀測表.....二四一

六、海洋氣象概況.....二四九

 イ、空氣溫度.....二四九

 ロ、海水溫度.....二五〇

 ハ、海水比重.....二五一

二、海水透明度.....二五二

 ホ、潮流及水色.....二五二

七、浮游生物.....二五九

八、定時三回觀測表.....二六三

九、三回觀測海洋氣象概要.....二六六

十、海洋觀測月別平均表.....二六七

 イ、月次觀測ノ部.....二六七

 ロ、三回觀測ノ部.....二六八

十一、重要生物ノ群狀ト海洋觀測トノ關係及表.....二六九

 イ、鯛.....二七六

 ロ、鰻.....二七七

 ハ、鯖.....二八〇

 ニ、柔魚.....二八一

 ホ、玉筋魚.....二八一

 ヘ、鰯.....二八二

摺蝦乾燥機試驗

四

一、緒言	八五
二、工事日誌	八五
三、機ノ構造	八五
四、機ノ築造費	八六
五、機ノ特長	八七
六、機ノ使用法	八九
七、試驗日誌	九一
八、試驗成績	九一
九、機ノ効率	九二
十、用炭量試驗	九四
十一、機ノ僻	九五
一、緒言	一〇六

鹽藏鱈製造移出試驗

二、從業日誌	一〇七
三、生產費調查	一一一
四、販路調査	一一二
五、收支計算	一一三

蜆貝養殖試驗

一、大正元年度蒔付蜆貝經過及採收成績	一一七
イ、第一區五月早蒔試驗區採收成績	一一七
1、蒔付後ノ經過	一一八
2、採收成績	一一八
ロ、第二區經濟試驗區採收成績	一二二
1、蒔付後ノ經過	一二二
2、採收成績	一二三
ハ、第三區、四區、五區採收成績	一二六
1、蒔付後ノ經過	一二六

五

2、採收成績.....	一二六
二、大正元年度蠶蒔付囑託試驗採收成績.....	一四二
1、蒔付後ノ經過及採收成績.....	一四二
2、收支經濟.....	一四三
三、當業者養殖成績ノ一例.....	一四四
四、大正二年蠶蒔付試驗.....	一四六
イ、五月蒔付試驗.....	一四六
ロ、六月蒔付試驗.....	一五二
ハ、七月上旬蒔付試驗.....	一五四
ニ、七月中旬蒔付試驗.....	一五六
ホ、八月上旬蒔付試驗.....	一五九
ヘ、八月中旬蒔付試驗.....	一六二
ト、九月佐賀縣產種貝移植試驗.....	一六四
チ、九月中旬蒔付試驗.....	一六六
リ、十月上旬蒔付試驗.....	一六八

五、蠶貝被害狀況.....	一六九
イ、春季ニ於ケル被害.....	一七〇
ロ、秋季ニ於ケル被害.....	一七二
六、當業者トノ聯絡及指導蒔付.....	一七七
七、海洋觀測.....	一七九

貝類養殖試驗

一、住ノ江牡蠣養殖試驗.....	一八九
イ、大正元年度蒔付第一養蠶場經過.....	一八九
ロ、大正元年度蒔付第二養蠶場經過.....	一九二
ハ、牡蠣築建試驗.....	一九三
ニ、大正二年度蒔付第一養蠶場.....	一九七
ホ、大正二年度蒔付第二養蠶場.....	一九八
二、彌勢貝養殖試驗.....	二〇〇
イ、大正元年度蒔付貝經過及採收成績.....	二〇〇

ロ、大正二年度蒔付試験.....	二〇八
三、蜆貝養殖試験.....	二〇九
イ、大正元年度蒔付第一養蜆場經過及採收成績.....	二〇九
ロ、大正元年度蒔付第二養蜆場經過.....	二一一
ハ、大正二年度蒔付試験.....	二二三

淡水養魚試驗

一、養魚場新設ノ理由.....	二二六
二、養位置置魚場.....	二二八
三、地積及構造.....	二二八
イ、建 築 物.....	二二九
ロ、養 魚 池.....	二三一
1、用水及注排水.....	二三一
2、各池面積.....	二二三
3、各池構造.....	二二四

4、築 堤.....	二二八
5、橋 梁.....	二二九
ハ、工 事 費.....	二二九
四、親鯉購入及冬圍.....	二三一



鯉釣漁業試験

縣下筑前沿海ヨリ對州ニ至ル沖合ニ於テ盛夏ヨリ初秋ノ交往々眞鯉ノ小群來游スル事アリ之レ蓋シ餌料小鯉ヲ追フテ暖潮ノ末流ニ密集スルモノニシテ滯マルコト永カラスト雖此期節ニ於テ羽鯉ノ來游夥シキモノアリ然ルニ本縣ニハ未ダ全ク鯉釣漁業ナルモノナク單ニ鯖一本釣ニ羽鯉及ヒコウダ鯉ノ種大ナルモノ僅ニ混漁セラル、ニ過キス而シテ本縣ヨリ遠カラザル長崎縣五島近海ニハ廣大ナル鯉ノ好漁場アリ然カモ全島ニ於テハ斯業ニ從事スルモノナク長崎本土ヨリ出ルモノ又近年著シク減少シ毎年初秋ノ漁期ニ當リ長崎鹿兒島宮崎若クハ高知縣等遠隔ノ地ヨリ陸續トシテ回航シ來リ五島南部ヲ根據トシ出漁スルモノ甚ダ多シ然リ而シテ本縣漁民ノ未ダ此ノ有望漁業ニ一指ヲ染ムルモノナキハ頗ル遺憾ナルヲ以テ本場ハ新規遠洋漁業開拓ノ目的ヲ以テ玄海丸ニヨリテ之レカ漁業試験ヲ實施シ其ノ範ヲ示スニ勉メタリ即チ釣手ニ要スル主要漁夫ハ鹿兒島縣枕崎及坊之津ヨリ十四名ヲ乘組シ、當初五島近海ハ未タ早期ニ屬セシヲ以テ魚道探檢ヲ兼テ薩南ニ廻航シテ漁業ニ着手セリ則チ玄海丸ハ五月十四日博多港ヲ出帆シ九州西岸ニ沿フテ南航シ翌十五日枕崎ニ着シテ出漁準備ヲ整エ十六日山川港ヨリ餌料ヲ求メテ出漁シタルヲ初メトシ六月中ハ魚道ノ探檢搜索ヲ兼ネテ專ラ此ノ沖合ニ於テ從事シ七月ニ入りテ五島沖漁場ニ轉シ八月十六日終漁ノ上歸途ニ就キ翌十七日歸場シ



期節ト漁場

五島近海ノ鯉ハ毎年八月ノ晚夏初メテ沿岸ニ接近シテ來游ス由來我國ニ於ケル鯉ハ一般ニ早キハ三月ヨリ遅クモ五六月ノ候ニ入レバ沿岸ニ接シテ群游スルヲ例トス即チ五島近海ニ於ケルモノハ初メ沖合ヲ徊游シ次第ニ北上シ來リタルモノナラサル可カラサルヲ以テ當初先ヅ南方ニ出漁シテ魚群ヲ索メ且ツハ餌料及燃料炭水供給ノ關係上南薩山川港ヲ根據地トシテ出漁セリ

而シテ五月中ハ漁場頗ル遠隔ニシテ吐喝喇七島附近迄ヲ主トシ餌付キ良好ニシテ一般ノ漁况好望ヲ傳エ全月下旬稍陸地ニ接近シ來リ硫黃島ヨリ竹島附近ニ稍濃厚ナリキ然シテ鹿兒島縣下ニ於ケル鯉ハ概シテ瀬附キ魚ト稱スルモノ多ク二三三百尋ノ深海中往々二十尋乃至五六十尋ノ淺所アレバ其附近ニ餌ヲ追フテ群レルヲ常トス即チ他ノ東海方面ニ於ケルガ如ク廣漠タル洋上ヲ搜索シツ、航走スルノ煩ヒ比較的尠ナク一定ノ魚礁ヲ轉轉シテ釣獲ニ從事ス而シテ瀬ニ集レルモノハ柔魚其他ノ好餌ヲ飽食セルガ故ニ餌料ハ常ニ精撰スルヲ要シ漁獲モ亦彼處ニ百尾此方ニ二百尾等斷續的ニシテ彼ノ男姓の壯觀トシテ傳エラル、ノ喧囂場裡人熱シ魚狂シ竿頭憂々相繫チ一氣ニ數千尾ノ大漁ヲ得テ乾坤一擲ノ壯舉ヲ見ルハ殆ド稀ナリ

六月ニ入りテハ日誌ノ示スガ如ク梅雨期トナリ連日濃霧ト霖雨トニ加エテ暴風ノ襲來引續キ出漁鬼

角困難ヲ極メタルノミナラズ月末ヨリ七月上旬ニ迫ンテハ魚群モ亦遠洋ニ去リ偶々強風ヲ侵シ冒險的の出漁ヲ敢テスルモ更ラニ魚群ヲ見ズシテ空手歸港ノ止ムヲ得サル事屢々ナリキ例年ノ盛漁期魚群益々沿岸ニ接近スルノ秋ニ當リ此ノ不況ヲ來セルヲ以テ當業者ノ困憊名狀スヘカラス加フルニ餌料小鯉ノ如キモ海水溫度比重ノ急變久シキニ亘リテ弊死スルモノ多ク只雷霖雨ノ霽ル、ヲ待ツノ外ナカリキ七月漸ク快晴ニ趣キ百數十隻ノ發動機其他ノ鯉漁船ハ今ヤ舳艫相接シテ遍ク漁場ヲ馳驅スルニ至リタレモ魚群既ニ沖合ニ去リ再ビ吐喝喇七島附近若クハ奄美大島迄出漁セサル可カラザルニ至リ偶々近海ニ於テ魚群ニ遭遇スルコトアルモ餌付キ極メテ不良ニシテ七月中旬迄ハ依然トシテ此窮況ヲ脱セズ漁場ノ遠隔ナルト共ニ僅カノ漁獲物モ其ノ運搬ニ堪エス加フルニ連日ノ炎天ニ蓄養餌料鯉ノ相次デ弊死スルモノ多ク古老ノ言ニヨレバ實ニ四十年來ノ不漁ナリテウ嘆ヲ發スルニ至ラシメタルノ折柄偶々五島近海男女群島附近ニ於テ多數ノ鯉群ノ來游ヲ探知シタルノ結果各船競フテ是レニ向ツテ出漁シ本船モ亦七月十五日ヨリ全ク轉ジテ富江港ヲ根據地トシ專ラ此方面ニ出漁セリ當時五島ニ於テハ豐漁頗ル突然ナリシガ爲メ忽チ漁獲物ノ處理即チ鯉節製造ニ要スル薪木ニ不足ヲ告ゲ魚價一貫目ノモノ一尾金貳拾錢ニ低落シタルニ反シ餌料鯉ハ一籠五拾圓以上一航海分百五拾圓前後ニ暴騰シタル等奇異ノ現象ヲ呈シ猶供給足ラズシテ遠ク熊本縣牛深港ヨリ餌料ヲ求メシモノ多シ漁場ハ前記富江港ノ南十哩ヨリ男女群島ト鳥島附近ニ及ヒ其他富江港ト飯島ノ中間ニシテ野母崎

ヨリモ亦同距離ナル三方曾根ト稱スル百尋以下ノ魚礁トノ三ヶ所ヲ主トセリ此附近ニ於ケル鯨ハ多クハ鯨ト共ニ游泳シ俗ニ「クヂラツ子」ト稱スルモノニシテ鳥ノ群ル事比較的少ナク從ツテ明カニ魚群ヲ認ムルハ難ク遠方ヨリハ鯨ノ噴潮ニヨリテ探索スルノ外ナキナリ元來此方面ハ九月頃ノ秋期ニ入りテ來游アルヲ普通トシ七月中旬ヨリ斯ノ如ク來游シ大漁アルハ全ク異例ナリトス魚群モ亦鹿兒島方面ニ於ケル曾根付キノモノト異リ全ク蜜集シテ回游セシガ如シ

八月ニ入り魚群稍稀薄トナリ中旬迄ハ相當ノ漁獲ヲ收メツ、テリシガ盛夏ノ氣温將ニ百度ニ達シ一般漁獲物ノ貯藏ニ堪エス專ラ沖合ニ於テハ歸港ノ航行中假煮ヲ行ヒ若クハ荒節トナシテ持チ歸リ再ビ本煮ヲナスカ或ハ其儘「削リ」ニ掛ケ微付シテ茲ニ全ク製品トスルモアリ漁獲物ノ處理トシテハ一見最モ適當ナルモノ、如キモ船中ニ於テノ假製法ニ於テハ其ノ取扱自然粗暴ニ亘ルヲ免レス加熱亦不定ニシテ日乾中船体不斷ノ動搖ノ爲メ肉肌ニ龜裂ヲ生シ易ク本製品トナリテノ價格ニ著シキ相異ヲ來スノ不利アリサラヌダニ鹿兒島地方ノ鯨節製造法ニ就テハ洵ニ非難ナキ能ハサル處ニシテ這ハ漁場最モ遠隔ナルキノ外費用スヘカラス玄海丸ニ於テハ專ラ氷藏ニヨリ根據地ニ運ビ直チニ製造ニ着手セシメシガ故最モ聲價ヲ高メツ、アリテ二三漁船ノ之レニ倣フモノヲ生セリ八月下旬ハ漁期再ビ閑散ニシテ餌料鯨ノ弊死スルモノ殊ニ夥シク小鯨中ノまやこみすんと稱スルモノハ尤モ一時的ノ現象ナリシモ活養更ラニ効ナカリキ然シテ玄海丸ハ八月十五日則チ豫定ノ三ヶ月ヲ以テ終漁ノ上翌

十六日殘務ヲ處理シ歸航ノ途ニ就キ八月十七日博多港ニ歸着シタリ

漁業試驗日誌 (鯨漁業) 福岡縣 水産試驗場 玄海丸

月日	海天氣象	風及力	溫氣	位置	深水	溫水	重比	流湖	料餌	着手時	終了時	種類	獲量	價格	記事
十九日	BC	SN3													正午枕崎ニ漁獲物ヲ陸揚シ更ラニ山川港ニ入ル石炭飲料水積込ム
十八日	BC	SN1	26	諏訪瀬島ノ西	26.5		1.0255	激	小鯨	P1-0	P1-35	鯨中	284	65,320	P一、三五 漁場ヲ發シ歸途ニ就ク P一、〇〇 硫黃島ヲ通過ス
十七日	BC	NW3													向フA六、一五 山川港出帆漁場ニ過キP八、一〇 硫黃島ヲ通過ス P八、一五 中ノ島沖合ニ到リ
十六日	BC	NW5													A六、五〇 枕崎出發 A九、五五 山川港投錨 諸般ノ準備ヲ整フ
十五日	B	S2													A一〇、〇〇 坊ノ津着 P二、〇〇 更ラニ枕崎ニ寄港シ P九、三〇 野母岬通過ス
十四日	B	NNW3													A八、四八 博多出帆鯨漁業試驗ノ爲メ鹿兒島縣山川港ニ向フ
十五日	B														

廿四日	廿三日	廿二日	廿一日	二十日	十九日	十八日	十七日	十六日
BC	R	BC	R	B	BC	RC	R	R
SW3	NF5	NNW2	NE5	NW2	SW1	SW2	SW5	SW8
		29		28		28		27
		竹島ノ南 十湊		ノ屋久島永田 北十湊		十屋久島ノ北 三湊		硫黄島ノ北東 十五湊
						26		25,5
		24,5				26		25,5
		1,0246				1,0242		1,0246
		緩				緩		緩
		A11-0				P2-0		A9-20
		P4-0				P3-0		A10-40
		鯨小				鯨小大		小鯨 中鯨
		500				98		95
		55,000				45,360		14,900
PテP 八、一五 山川ニ着ス	AA九、三〇〇 暴風トナリ 鹿兒島ニ避難ス	PA六、〇〇〇 山川出帆 チニ出帆ス	AA〇、二〇〇 山川着石炭及水積 入直チニ出帆 A六、三〇〇 天候險惡山川ニ引返ス	AA〇、二〇〇 山川着石炭積入 ノ上 P四、五五 枕崎着	AA八、四〇〇 山川出帆 ノ上 P四、五五 枕崎着	AA一、〇〇〇 山川着石炭積入 ノ上 P四、五五 枕崎着	AA五、四〇〇 山川出帆 ノ上 P四、五五 枕崎着	AA四、二五〇 山川出帆 ノ上 P四、五五 枕崎着

十五日	十四日	十三日	十二日	十一日	十日	九日	八日	七日
BC	R	R	FR	R	CR	BC	B	B
NE4	W8	NE2	SE2	S1	S2	SE5	E1	N2
24,5		25				25		27
三佐田 湊ノ西		五竹島ノ南東 湊				芽湊		二口ノ島ノ西 湊
24,5		24,5				23,5		26,5
24,5		24,5				26,5		26,5
1,0245		1,0246				1,0242		1,0242
緩		緩				激		激
鯨小		鯨小				全		鯨小
A7-25		A10-0				A9-35		A7-0
48-30		A11-0				A10-0		P0-10
鯨小鯨中		鯨小及中				鯨小		鯨小
140		381				113		290
36,000		68,721				18,145		104,046
PA六、〇五〇 山川着	P五、一五〇 山川歸着	PA五、三〇〇 山川出帆 ノ上 P五、三〇〇 枕崎ニ漁獲物ヲ揚ガ	AA八、三〇〇 暴風ノ爲メ山川ニ引返ス	AA六、三〇〇 山川港出帆 ノ上 P五、三〇〇 枕崎ニ漁獲物ヲ揚ガ	AA一、〇〇〇 山川港歸着	PA九、〇〇〇 山川出帆 ノ上 P九、〇〇〇 枕崎ニ漁獲物ヲ揚ガ	AA三、三〇〇 山川着石炭積入直 チニ出帆 ノ上 P三、三〇〇 枕崎ニ漁獲物ヲ揚ガ	AA二、〇〇〇 山川出帆 ノ上 P二、〇〇〇 枕崎ニ漁獲物ヲ揚ガ

三十日	廿九日	廿八日	廿七日	廿六日	廿五日	廿四日	廿三日	廿二日
B	B	BC	B	B	B	BC	B	CR
SE2	NNE2	NE1	NE2	N4	NW2	N1	SSW1	SW3
	31	30			29		26,5	
					東女群島ノ南 二十湊		西列島ノ北々 二十五湊	
					21		25	
					24		25	
					1,0265		1,026	
					A7-10		A8-0	
					P4-0		P2-0	
					鯨中		鯨小中大	
					79		255	
					28,44		131,85	
正午濱ノ市入港	A七、二五 男女群島附近ニテ 餌料全部斃死シ歸港ス P八、四〇 枕崎入港 P一、二、〇〇 全出帆	向A一〇、二〇 福山出帆漁場ニ 向フ	濱ノ市ニモ餌料ナク福山ニ求 メテ假泊ス	P一、〇〇 五島宮江港着餌料 至ルキヲ以テ牛深ヲ經テ櫻島ニ 至ル	魚群稀少トナリ終日ノ搜索僅 カニ七十九尾ヲ獲テ歸ル	向餌料ヲ入レ直チニ出帆漁場ニ 向フ	A四、四〇 坊着 A九、一〇〇 全發	A五、四七 全所發 P五、一〇 全港發

廿一日	二十日	十九日	十八日	十七日	十六日	十五日	十四日	十三日		
RF	RF	RF	BC	B	RC	BF	B	P		
NE2	SE5	SE5	NE4	NE4	S1	SW2	SW2	SE2		
		29			28	29,5				
						五島列島男女 群島ノ南東 十湊				
						23				
						23				
						1,0265				
						A10-0				
						A11-20				
						鯨中				
						500				
						200,00				
濱ノ市ニ餌料ヲ求ム 横山假泊	A七、一〇 坊出帆枕崎ヲ經テ 横山假泊	AA八、四五 片浦發 從事ス	A二、〇〇 暴風雨トナリ漁場 ヲ發シ歸途ニ就ク濃霧ノ爲メ 脚斷ス P五、二〇 片浦着	多ケレ餌ニ付カス P七、四五 魚群搜索ニ從事シ 脚斷ス	A一、〇〇 三方曾根着魚群 多ケレ餌ニ付カス	男女群島沖魚群ヲ認メス P五、五〇 五島宮江入港 向P一、二、〇〇 全港出帆漁場ニ 向フ	A三、五〇 枕崎着 A一、一、五〇 全出帆片浦ヲ經 テ五島ニ向フ	AA一、〇〇、〇〇 漁場着 A一、一、〇〇 漁場發 A一、〇〇、〇〇 枕崎ニ向フ	櫻島ニテ餌料ヲ求メ漁場探檢 ノ目的ヲ以テ五島列島沖ニ向 フ	P坊枕崎ヲ經テ P四、一七 山川着直チニ出帆

結 論

本試験ニ従事セシハ僅カニ三ヶ月間ニ過ギザレトモ此間出漁實ニ卅一回ニ及ビ一般ノ當業者ガ殆ド一ケ年分ノ出漁ヲナセリ而シテ漁獲尾數總計八千四百餘尾此價額金貳千貳百八拾參圓ニ達セリ尙ホ釣漁夫僅十四名ニ過ギザリシモ普通ノ漁船ニ於ケルガ如ク三十名乃至四十名ノ漁夫ヲ乘組マシメタランニハ漁獲モ亦二倍乃至三倍ニ達センヤ必セリ就中五島ニ於テハ七月ノ仲夏既ニ早クモ魚群ノ來游ヲ知リテ專ラ此方面ノ出漁ニ意ヲ注ギ五島ノ鯉漁業ヲシテ的確ナルモノナラシメタルハ茲ニ本漁業試験ノ目的ノ大半ヲ達シ得タルモノト謂フニ憚ラサルナリ然カモ五島ノ漁期ハ常ニ八月以後則チ從來秋漁ヲ主トセシガ本年ハ稍異例ニ屬シ期ヲ早メ猶魚群ノ夥シカリシ等ハ益々此方面ニ於ケル鯉漁業ノ有望ナルヲ識ルニ難カラズトセス然レモ五島近海ノミハ一般ノ鯉漁期ニ比シ甚ダ永カラス春期ノ四五五月頃ヨリスルモノハ宜シク鹿兒島沖合ヨリ始メ漸次北上スルヲ得策トスヘシ然シテ五島ニ於ケル本縣ヨリノ出漁ハ主トシテ鯛延繩漁ノミニ限ラル、如キモ是レトテ未タ一衰一頽ノ狀ヲ免レ

スシテ島根縣山口縣等ノ山陰方面ヨリ出漁者ノ續々成功シツ、アルニ比スヘクモ非ス次デ鱒及ビ羽魚延繩ノアルアリ之レ又遙カニ大分縣ノ突漁及鹿兒島縣下ヨリ延繩ヲ以テ出漁スルモノ、獨占的の成功ヲ收メツ、アルニ任ス況ンヤ紀州方面ヨリ來ル珊瑚船ト這個鯉漁業ニ於テヤ然カモ七八月頃ハ本縣内ニ於テ小鱸ノ盛漁期ニ當リ之レガ蓄養ニ相當ノ方法ヲ設クレハ餌料ハ洵ニ豊富ニシテ且ツ廉價ニ之レヲ求ムルヲ得ヘシ或ハ又之レヲ五島ニ於ケル根據地ニ運搬スルモ將ニ鯉漁業ニ附隨シタル好個ノ事業タリ徒ラニ衰乾トシツ、アル小鱸ノ聲價ヲ高メ茲ニ一大財源ヲ得ルニ至ラン本試験ハ爰ニ至ルニ先立チテ遂ニ終了スルノ歇ムナキニ至リタレド此ノ豐饒ナル本縣下ノ小鱸ヲ餌料トシテ五島方面ノ鯉漁業ニ出漁スルハ早晚達セシムヘキノ理想ニシテ蓋シ本場ガ五島ノ鯉漁業試験ヲ撰ミタルノ理由モ亦茲ニ存セスンハ非ス

本漁業試験ニ従事セシ釣漁夫ハ總テ鹿兒島縣水産試験場ノ幹旋ニヨリ撰拔シタル漁夫ニシテ全縣ノ漁船ハ都テ漁場ノ往復ニ當リ航行中ノ行き逢フ時ハ漁場ノ位置狀況自己ノ漁獲數及ヒ魚群ノ狀態等ヲ詳カニ報告シツ、過キ去ルヲ習ヒトセリ漁場ニ向フモノハ之ヲ參考トシテ更ラニ魚群ノ搜索ヲ續クルナリ這ハ實ニ他ニ見ル可カラサルノ美風ニシテ今日世ヲ舉ゲテ滔々虚飾ニ耽リ僞巧ニ走ルノ時文字ヲ解セサル一介ノ漁夫ニシテ謙讓質朴此ノ美德ヲ具フ薩摩武士ノ遺風ヲ卒士ノ濱ニ傳ヘタルハ洵ニ掬スベキナリ

海洋觀測

一八

本縣ノ沿海ハ内灣外洋ヲ通ジテ比較的淺ク玄界ノ外海ニ於ケル沖ノ島及小呂ノ孤島ヲ劃リタル専用漁場内ニ於テモ水深平均三十尋ヲ出デス最深ノ個所ニテモ五十尋ニ及バス壹州沖台ヨリ對州ニ近ヅクニ至ツテ漸ク六十尋トナリ最深百尋ニ及ブ事ナシ然シテ水産物ノ繁殖及生産區域ハ則チ主トシテ此ノ百尋線ヲ境界トセラレツ、アルヲ以テ見レバ本縣沿海ハ實ニ天與ノ惠沾ニ浴シ實ニ魚族安棲ノ寶庫タリ然リト雖魚族ノ去來海水移動ノ狀態ニ關シテハ未ダ具體的ニ研究セラレタル事ナキヲ以テ之ガ基本的調査ノ一端トシテ主務省ノ指命ニヨリ本年九月ヨリ毎月初日ヲ期シテ海洋ノ觀測ト漁況ノ調査トヲ行ヘリ

則チ魚群ノ回游スルニ當リ玄界灘ノ鎖鑰タリ且ツハ海流ノ轉運區域ニシテ而カモ觀測スルニ適當ナル博多灣口ヨリ對州嚴原ニ劃シタル線上五十六海里ヲ六等分シ(最初ハ八分)各分點ノ距離約九哩毎ニ表面中層及海底ノ海水ニ就テ溫度比重其他ノ要項ヲ觀測シ猶又主要魚類ノ漁獲狀況等ヲ究メ漸次之ガ歸納的論結ニ達センコトヲ期シツ、アリ

本年度ハ春期ヨリ主要ナル漁業試驗ノ爲メ鹿兒島縣及五島方面ニ出漁中ナリシヲ以テ九月ヨリ執行セシガ此ノ觀測線ニ於ケル海底ノ狀況ハ基點ノ玄界島ヲ遠ザカルニ從ヒ水深ヲ増シ第二點ニ於テ二

十六尋トナレ小呂島附近ニ於テ少シク其ノ深サヲ減スレド第三點ニ於テ三十五尋トナリコレヨリ稍緩漫ナル傾斜ヲナシテ第四點ノ四十尋ヨリ對州附近第八點六十尋ニ迫ビコレヨリ急坂ヲナシテ嚴原港口ノ二十尋ニ至レリ底質ハ概シテ砂及泥多ク偶々殻ヲ交エ殊ニ小呂島ノ周圍ヨリ對州ニ及ンデハ鯛ノ好漁場ニシテ小呂以東ハ秋期鯛ノ群游盛ナリ今其ノ概要ヲ述フレバ水温ハ二月三月ノ十二度(C)ヲ最低トシ最高ハ九月ノ二十六度ナリ全シク表面ニ於テモ對州附近ハ海水清澄ニシテ暖潮支流ノ余波ヲ受ケ常ニ高溫度ヲ示シ鯖羽魚等ノ回游魚多ク又海底トノ差ハ冬期ニ於テ比較的小ニシテ一度乃至三度ナレ九月ハ氣溫ノ影響烈シク四度半ノ差ヲ示セリ夏期ハ又更ニ大ナルモノアルヘキナリ反之一點ヨリ三點乃至四點ニ於テハ三十尋内外ノ深度ヲ保チ各点共海底トノ差著シカラス或ハ全ク同溫ナル事屢々ナリ今各月ニ亘ル觀測ノ結果ト之レニ對スル漁況トヲ掲ゲテ別冊附録中ニ收ム

漁業取締

縣下漁民ノ輿論タル漁業ノ取締ハトロール漁船ノ取締ト共ニ前年度ヨリノ繼續事業ニシテ本場氣船玄海丸ノ漁業試驗終了ヲ待ツテ八月以嚮玄界洋方面ノ専用漁場取締ト九月ヨリ十二月迄ハ豊前海ニ於ケル打瀬網漁船ノ取締トニ從事セリ

玄海方面ノ侵入船ハ主トシテ小鯛一本釣漁船多ク約十隻ヲ發見シ豊前海ニテハ瀬戸内海ノ東方ヨリ

一九

來ルモノ多ク是又全部ヲ通ジテ三十隻ヲ檢舉シ大正三年一月ヨリハ宗像、遠賀兩郡ノ沖合ノ大羽鱈流網漁船取締ト春期ノ鯖鱈回游ノ漁期ニ當リ爆發物ヲ使用スルモノ近年對州東岸ニ於テ殊ニ甚シク遙カニ南下シテ屢々本縣沿岸ヲ襲フモノアリ是レ元ヨリ漁業法ノ明文ヲ以テ嚴禁スル所ナルト共ニ魚道ヲ攪亂シ漁業者ニ暴壓的慘害ヲ與エ洵ニ怖ルヘキ人道上ノ問題ニシテ全然之レヲ根絶セシメサル可カラス即チ玄海丸ハ二月以向銳意之レカ監視ニ勉メタリ

鱈漁業試驗

一、試驗繼續ノ趣意

本試驗ハ前年度ヨリノ繼續事業ニシテ晚春初夏漸次襲來シ盛夏ノ交ニ及ンデ筑前沿海到ル處濃厚ナル魚群ヲ認ムルモ未ダ完全ナル漁具ナクシテ徒ラニ其去來ニ任セツ、アル鱈ノ捕獲ヲ目的トシ網具中構造簡單ニシテ經費少額使用亦輕便ナル流網ヲ擇ビ其入り込時期若クハ群游スル際之レガ通路ニ網ヲ張下シ鱈ヲシテ網地ニ纏絡セシメ捕獲セントシタリシナリ然ルニ玄界洋ニ於ケル各種ノ流網漁業ハ未ダ全ク見ルベキモノナク從ツテ潮流ノ狀況其他流網經營上豫メ知ラザルベカラザル事項全然不明ニ屬シ本試驗擔當者ノ苦心ヤ實ニ知ルベカラザリシナリ加フルニ前年度報告書ニ詳記セルガ如キ幾多不測ノ故障ヲ以テシ未ダ充分ナル試驗ヲナスニ至ラズシテ早クモ豫定ノ期間滿了ヲ告ゲタリ即チ本年度ニ於テハ更ニ前年度ノ趣旨方法ニ準據シ繼續施行シテ之ガ適否ヲ驗セント欲セシナリ然ルニ不幸年度ノ改マルト共ニ擔當者ノ更迭アリ其間口頭及文書ノ引繼アリ事業經過報告書出漁日誌其他記録ノ徵スベキモノアリシト雖技術ノ機微ニ至ツテハ一般事務引繼ノ如ク單ニ此等ノ方法ニ依ツテ爾カク傳授會得シ得ベキモノニアラズ前任者ノ苦心研鑽セラレタル經驗ニシテ再ビ空シク海底ニ沈逸セシメタルモノ蓋シ少カラザルベシ之レ本試驗繼續上大ナル損失ナリトス

二、試驗ノ經過

二二

漁夫漁船ノ雇入其他總テ豫メ手配ヲ了シ漁期ノ來ルヲ待チツ、アリシヲ以テ六月五日出漁準備ニ着手シ全八日ヨリ出漁スルヲ得タリ當初先ヅ前年度ノ方法ヲ襲套シ宗像郡津屋崎港ヲ根據ト定メ粕屋宗像兩郡沖合ニ於テ試驗セリ以後六月二十五日迄十七日間ノ内暴風高浪ニ妨ゲラレ或ハ網ノ修理改造ニ時日ヲ空費シ僅ニ五回ノ出漁ヲナシ得タルニ過ギス漁具漁法概テ前年度ニ倣ヒタリシモ中途ヨリ網ノ縮結ヲ改メ且ツ網幅ヲ減ジテ長サヲ増セリ蓋シ試驗ノ結果羅魚ノ狀況等ヨリ察スルニ縮結尙ホ不足セルヲ認メタルト一漁船ノ使用量トシテハ網ノ長サ甚ダ短キニ失セシモ經費ノ都合ト漁期ノ關係上俄カニ網地ヲ購入シテ之ヲ増加スルノ暇ナカリシヲ以テ寧ロ網幅一反通リヲ減スルモ長サニ於テ之ヲ増スノ有利ナルベキヲ認メタレバナリ即チ從來網幅四反十八尋縮結沈子方三割浮子方四割ナリシモノヲ網幅三反十三尋半縮結沈子方三割浮子方五割ト改ム其結果網ノ長サ約五十尋ヲ増加シ總長四百五十尋トナレリ流網トシテ未タ充分ナル長サニアラズト雖止ムナシ

斯クテ出漁數次或ハ沖合ニ或ハ沿岸ニ投網試驗シ專ラ魚群ノ所在ト之レガ通路ノ探險トニ苦心セシモ遂ニ確タル結果ヲ收ムル能ハズ唯此間ニ於テ實驗シ得タル結果ノ内鱈ノ來游狀況ニ關シ稍ヤ信ヲ措クニ足ルベシト思惟スルモノ左ノ如シ而シテ之ニ依リ本試驗ノ終期ニ於テハ焚寄法ヲモ行ヒタリ以下追次記述セン

三、鱈來游ノ狀況

抑モ本試驗實施ノ期間トシテ六月上旬ヨリ七月上旬迄ノ間ヲ撰ビタリシ所以ノモノハ試驗地附近ニ於ケル當業者ノ所謂鱈ノ盛漁期ニシテ衆口ノ一致セル所ナルノミナラズ前年度試驗ノ經驗ニ依リ定メタルモノナリ然ルニ此期間ニ於テ鱈ハ沿岸ニ近キ岩礁ノ附近ニノミ纏綿徘徊シ少シク沖合ニ出ツレバ殆ド其影ヲ認メサリキ蓋シ從來總テ漁業者ノ所謂漁期ト稱スルハ其魚類ノ沿海ニ襲來セルノ時ヲ云フガ故ニ鱈ニ就テモ當業者ノ漁期ト稱スルハ沿岸ニ來游シ岩礁ニ纏綿セル時ニシテ之ガ來ノ狀況期節若クハ魚道等ニ至リテハ未タ全然不明ニ屬ス

鱈ノ習性トシテ多クノ期間岩礁ニ纏綿スベキコトハ其食餌體形鰭ノ形狀刺棘及ビ外皮竹筴(せんこ)等動物學の見地ヨリスルモ概テ推察スルヲ得ベクむらあちニアリテハ稍ヤ外海の洄游性ヲ認ムルモまあちニ至リテハ比較的以上ノ如キ纏綿性ヲ有セルヲ標明セリ沿岸漁業者ガ其群來ノ夥多ナルヲ誇唱スルコト他魚ニ比シ著シキ所以モ亦其岩礁附近ニ於ケル事實ヲ捕ヘテ呼稱スルガ爲メナラザルカ尙ホ又鱈ノ鰭其他ニ比シ甚タ伶俐敏捷ナルコトハ一々例証スル迄モナク一ト度之レガ捕獲ヲ企テタル者ノ等シク認ムル所ニシテ唯其產卵期前或期間眼瞼ノ組織間ニ脂肪蓄積シ視力ヲ損失セシムルガ故ニ此時期ニ於テハ網獲比較の容易ナルベシ然リ而シテ其期間ニ至リテハ未タ明瞭ナラザルモ試驗地附近ニアリテハ八十八夜ヨリ六月中旬迄ノ間ニ於テ脂肪ハ消芒スルモノ、如ク本年度試驗着手

二三

ノ當時六月上旬捕獲セルモノニアリテハ眼瞼既ニ透明トナリ稀ニ少量ノ殘存セルヲ認メンノミ
 此等ノ事實ヲ綜合考察スルニ玄界沿岸ニ於ケルまあちハ毎年四五月ノ頃ヨリ次第ニ沿岸ニ集マリ來
 リ爾後七八月ノ頃ニ至リテ漸ク其數ヲ増シ群濃厚トナリ或ハ沿岸岩礁附近ニ纏綿シ或ハ僅ニ移動河
 游スルコトアリト雖其範圍ハ頗ル狭キガ如シ秋末水温下降スルニ及ンデ多クハ深海ニ去ル此時脂肪
 蓄積ノ爲メ眼瞼乳白不透明トナリ翌年春季水温昇騰スルヲ待ツテ再ビ沿岸ニ襲來シ視力次第ニ恢復
 スルモノ、如シ即チ其移動河游ノ時期ハ四五月及ビ秋末ノ二季ニシテ夏季ニ於テハ殆ンド河游セズ
 假令移動スルモ其區域ハ極メテ狭ク冬季ニアリテハ全然不明ナリトス之レ頗ル概括的事實ニ過ギズ
 ト雖甚シキ誤謬ナキヲ信ズ

即チ鱈ノ主トシテ河游スル春秋二季ノ内四五月ノ交沿岸ニ襲來スルハ所謂鱈ノ入り込ミ時期ニシテ
 秋季ニ於テ散去スルハ所謂出魚ナリ乍併之レ單ニ時期ノ問題ニシテ此場合鱈ハ果シテ如何ナル状態
 ニテ入り込ミ如何ナル方法ニテ散去スルカニ至ツテハ未タ知ルベカラズ換言スレバ其入り込ミノ状
 態ハ果シテ群ヲナシテ來ルカ數尾數十尾ノ小群漸ク追フテ集マリ來リ春去リ夏漸ク更クルニ隨テ次
 第二群集スルニ至リシモノナリヤ如何ナル水温比重又ハ食餌ヲ追フテ來ルヤ上中下何レノ水層ヲ游
 泳スルヤ晝夜何レノ時刻ニ於テスルヤ將又入り込ミノ際ト散去スル場合トニ於テ果シテ同一軌法ニ
 依ルベキヤ否トシテ知ルベクモアラズ

此等諸點ハ固ヨリ漁場ヲ異ニスルニ從ツテ同ジカラズ内海内灣若クハ之等ニ通ズル水道附近ニ於ケ
 ル事實ニ就テハ一二既ニ明瞭セルモノナキニ非ラズト雖之ヲ以テ直チニ外洋ノ沿岸ニ適用スルハ不
 可ナリ例ヘバ其入り込ミノ状態ニ就キ之ヲ見ルモ外洋ニ面セル所ニ於テ幾多小群ノ襲來ハ海峽附近
 ニアリテハ甲乙相合シテ次第ニ大群ヲナスニ至ルベク海水混濁セル内海等ニアリテハ眼瞼透明トナ
 リタル後ニ於テモ尙ホ不透明當時ト撰ブ所ナケレバナリ流網類ヲ用ヒテ之ヲ網獲セントスルニ當リ
 彼之對照參酌スベキ重大要件タルベシ

四、焚寄旋刺法試驗

口碑ノ傳フル所ト多年ノ經驗トニ基ク漁夫等ノ言往々聞クベキモノナキニアラズト雖固ヨリ據ル所
 甚ダ薄弱ナル區々ノ巷説多クハ信ヲ措クニ足ラズ鱈ノ魚類學的事實及ビ習性ノ外玄界洋沿海ニ於ケ
 ル來游ノ状態ニ就テ吾人ノ知ル所ハ二ケ年間ノ試驗ニ依リテ得タル前記二三點ニ過ギズ殊ニ流網漁
 業經營上第一ノ要件タル魚道の關係ニ至ツテハ殆ド何等知ルベキナシ尤モ之レガ闡明ニ就テハ本試
 驗着手以來主力ヲ注ギシ所ナリト雖短時間僅少ノ經費ヲ以テスル事業ノ悲シサ遂ニ之レ以上得ル
 所ナカリシヲ遺憾トス

要之鱈來游ノ状態ト之レガ習性トニ對シテハ未知ノ研究問題尙ホ多ク斯海ニ於ケル流網試驗ノ前途

ハ甚ダ遠達ナルモノアリト雖聊カ見ル所アリ本年度試験ノ終期ニ於テハ漁具ヲ改造シ漁法ヲ改メ焚寄旋刺法ノ試験ヲ實行セリ蓋シ其理由トスル主ナル點左ノ如シ

- 一、試験着手當時既ニ鱈ノ入り込時期ヲ經過シタルコト
- 二、從ツテ鱈ハ沿岸附近ノ岩礁若クハ海藻ノ間ニ纏綿シ餘リニ洄游セザルコトヲ知リシヲ
- 三、然カモ敢テ屢々沖合ニ投網試験シタリシガ漁獲皆無ナリシヲ以テ自然沿岸ニ接シテ投網スレバ多少羅魚ヲ見ザルニアラザルモ漁網爲メニ暗礁ニ罹リ損害少カラサリシコト
- 四、即チ之等ノ危険ヲ避ケ漁獲ヲ完フセンニハ

(イ) 秋末鱈ノ沿岸ヲ離レ散去スベク移動スルノ時ヲ待ツカ

(ロ) 更ラニ翌年初春ノ交入り込ミ時期ヲ待ツカ

(ハ) 或ハ又鱈ノ暮火性ヲ利用シ夜間集魚燈ヲ用ヒテ之ヲ誘集シ使用ニ適セル處ニ至ラシメテ捕獲ノ途ヲ講スルカ

右三者ノ一ヲ擇バザルベカラズ而カモ前二者ハ其時期及ビ魚道の關係未ダ詳細明確ナラザルノミナラズ流網類ノ基本タル魚体ノ大サニ關シテモ季節ニ依ル差異又ハ最多數群來魚ノ大サ等未ダ不明ニ屬スルガ故ニ今後尙若干年間探檢的豫察調査ヲ爲シタル上ニアラザレバ充分ナル確信ヲ以テ事ニ當ルコト能ハズ抑モ現下本邦沿海漁業ノ狀態ニ於テハ此種ノ根本的調査ハ各種漁業

ニ於テ緊急必須ノ事項ナリト雖免角結果ヲ急グ地方費ノ事業トシテ聊カ斷行ヲ躊躇セシムルノ事情アリ旁々本年度應急ノ方法トシテハ是非共第三者ヲ撰ブニ如カサリシナリ

五、而シテ網ハ流網ヲ直チニ改造スルノ外ナク自然網目ノ關係ヨリ旋刺法ニ則リシナリ即チ焚寄旋刺法ガ鱈ノ漁法トシテ決シテ最善最良ノ方法ナリト信ゼシニアラズ内海其他前節記載セルガ如キ漁場ニ在リテハ流網ヲ却ツテ優レリトシ玄界洋沿岸ノ如キ漁場ニアリテハ假令焚寄法ニ依ルトスルモ巾着網若クハ八田網四艘張網ノ方法ニ依ルヲ以テ至當ナリト信ズルモ當時ノ行掛上旋刺法ニ依ルノ外ナカリシヲ以テナリ

斯クテ構成セラレタル網ノ構造左ノ如シ

- 網地 從前ノ儘
- 總長 貳百尋
- 幅 身網五反幅トシ外ニ浮子擦沈子擦ヲ加ヘ中央ニテ二十尋兩端ニテ十七尋
- 縮結 五割
- 浮子 從前ノモノ間隔二尺外ニ浮標用桐丸太ヲ五尋ニ一個
- 沈子 鉛製三百匁三尋ニ一個 外ニ約六百匁ノ石五尋ニ一個

集魚燈ハ縣下三池郡三池町坂梨商會ニ交渉シあせちりん瓦斯集魚燈壹個ヲ提供セシメ之レガ適否試

驗ヲモ併施セリ該機ハ陸上點火用トシテハ兎ニ角漁業用トシテ小型漁船ニ使用スルニハ各部ノ裝置甚ダ實用ニ適セズ多大ノ改善ヲ必要トス

即チ漁船漁夫ヲ増備シ網船二艘火船一艘漁夫總員十一人トシ六月二十六日ヨリ五夜間出漁試驗セリ而シテ從來本縣漁夫ノ多クハ焚寄網漁業ニ就キ未ダ何等ノ智識經驗ヲ有セズ爲メニ殆ンド完全ニ操縦スル能ハサリト雖斯カル創始ノ事業ハ初メヨリ爾ク大ナル結果ヲ期待スベカラズ然カモ第一夜ニ於テ一網鱈貳百疋拾其他ヲ漁獲シ得タルハ事甚ダ些細ナリト雖當時ノ設備狀態ノ下ニアリテハ先以テ相當ナル成績タリト云ハザルベカラズ若夫レ特ニ漁網ヲ調製シ諸準備ヲ完全ニセバ頗ル有望ナル事業タルコト疑フベクモアラザルナリ但シ今回使用ノ網ハ當初旋網ノ目的ヲ以テ製作セルニアラサルガ故ニ種々ノ缺點ト不便トハ固ヨリ豫期セシ所而シテ浮子沈子網類等ノ缺點ハ之レガ改造容易ナルベキモ魚形時ニ依リテ甚シク差異アリタルノ一事ハ網目ニ對シ往々適當ヲ失シ殆ド施スベキノ策ナカリシナリ昨宵集マリシモノハ大ニ失シ今夕ノモノハ小ニ失スルガ如ク甚シキハ同夜中又ハ同一魚群中体形等シカラザルコトアリ其大ニ失シタル場合ハ尙ホ幾分ヲ漁獲シ得ベキモ小ニ失セル際ハ魚群易ク網目ヨリ脱出シ折角燈下ニ集メ得タル魚群中僅ニ其網目ニ適合セル体形ノモノノミヲ捕獲シ他ハ總テ逃逸セシムルノ齒岸キ恨事アリ本網ハ元ト一寸五分目、一寸七分目、一寸九分目ノ三種ノ網地ヨリ成リ流網トシテ使用スルニ於テハ多少此不便ヲ免レタリシモ旋刺網トシテ使用スルニ

至ツテハ最大網目ヲ以テ標準トセザルベカラザルガ故ニ不便益々其度ヲ増セリ

要スルニ焚寄旋刺法ハ鱈ノ漁法トシテ最良ナリト思惟セシニアラズ前顯詳記セルガ如キ理由ノ下ニ行掛上施行シタルモノニシテ謂ハ、流網使用ノ一法タルニ過ギズ乍併僅々五夜間ノ出漁ニ依ツテ直チニ之レガ斷案ヲ下スコト能ハズト雖該海區ニ於テ現今知ラレタル鱈習性其他智識ノ程度ニアリテハ單ニ流網トシテ使用スルニ優ルコト萬々ナリト信ズルノミナラズ漁撈ニ必要ナル各種事項ノ闡明ニ關シテ實地ノ調査試驗ヲ爲シ併セテ適當ナル漁法ノ推斷ヲナスニ甚ダ便ナルガ故ニ次年度ニ於テハ之ニ多少ノ改善ヲ加ヘ更ニ繼續試驗セント欲ス

五、貸附試驗並ニ集魚燈ノ普及

根據地津屋崎町漁業組合ハ本場ノ試驗引上グ後鱈ノ群游ヲ見ルヤ八月一日急遽本網ノ貸附ヲ出願シ本場施行ノ方法ニ倣ヒ出漁二夜ニシテ鱈參百尾ヲ漁獲シタリシガ爾後魚群漸ク稀薄トナリ遂ニ其儘終了シタリ之ニ依テ之ヲ觀ルニ焚寄旋網ナル漁法ガ如何ニ地方當業者ノ注目ヲ曳キ且ツ如何ニ囑望セラレ居ルカヲ觀フニ足ラン

而シテ從來此地方ニ於ケル夏季幾百艘ノ柔魚釣漁船及ビ鯖釣漁船ハ總テ小形ナル集魚燈ヲ使用シツ、アリト雖何レモ皆舊式ナル石油燈卷心ランブヲ用ユルノミナリシガ故ニ本試驗ノ傍ラ釣漁業用

アセチリン瓦斯集魚燈ノ實驗ヲナシ其光度ノランプニ比シ如何ニ優秀ナルカラ目撃セシムルヤ忽チニシテ附近漁村ニ普及シ句日ヲ出デザルニ殆ド全部之ヲ用ユルニ至リ集魚燈及ビカーバイトノ取次販賣ヲナス者アルニ至リタルハ當ニ本試驗ノ副産物効果トシテ喜バザルヲ得ズ而シテ今回使用試驗シタル瓦斯集魚燈ハ其網漁業用ノモノニ就テハ尙ホ多大ノ改善ヲ加フルニアラザレバ實用上石油集魚燈ニ及バズト雖其釣漁業用ノモノハ輕便ニシテ光度強ク到底在來石油ランプノ比ニアラザルナリ

漁村調査

漁業基本調査ノ一部タル漁村調査ハ左記項目ニ依リ縣下糸島郡方面ヨリ着手シ同郡及ビ早良粕屋ノ三郡ヲ終リ宗像郡ノ一部ニ及ホシタリ之レガ結果ハ不日一括シテ報告スルノ機會アラン而シテ本調査ニ依リ漁村沿革ノ概要經濟狀態其他漁村ノ實態ヲ明カニスルコトヲ得ルガ故ニ之ヲ基礎トシテ更ニ詳細調査ノ歩ヲ進メ以テ諸般施設ノ根本資料タラシメント欲スルナリ

漁村調査項目

一、漁村沿革

盛衰變遷

廢滅ニ歸シタル漁場、漁船、漁具、漁法、漁獲物利用法並ニ其廢滅シタル理由

新漁場ノ發見又ハ新漁船、漁具、漁法、漁獲物利用法ノ創始

二、地形

沿岸ノ地形、近海港灣ノ狀況、漁場潮流等ノ概況

三、漁業經營ノ便否

漁場ノ遠近、繫船ノ便否

四、製造業經營ノ便否

五、養殖業經營ノ便否

六、舊習又ハ規約

漁業經營上又ハ漁獲物販賣上ノ申合其他

七、海岸線

本土、 島嶼(個數)

八、漁船數

大形 肩幅七尺以上 船數及用途

小形 肩幅七尺以下 全

傳馬 全

九、產額

漁獲物、製造物、養殖高

十、漁民副業ノ種類

十一、漁業者家族ノ業務

十二、戸數及人口

漁業、製造、養殖業者各專業及兼業別

十三、移住漁業

戸數、人口、移住地漁業種類、水揚高

十四、出稼漁業

船數、人員、出稼地、漁業ノ種類、水揚高

十五、入漁業

船數、入漁地方、漁業種類、入漁料

十六、漁業組合

人員、積立金、収支、經費徵收法、事業

十七、魚市場

資本、積立金、株主人員、仲買又ハ組合員數、賣買高、口錢又ハ手數料

十八、魚付林

十九、共同事業

二十、漁業者ノ主ニ資本ヲ要スル事物及其季節

二十一、漁村年中行事

二十二、網漁具

種類、員數、漁期、漁場、新調費、漁獲物種類、漁獲高

二十三、釣漁具

種類、員數、漁期、漁場、新調費、漁獲物種類、漁獲高、餌料

二十四、雜漁具

種類、員數、漁期、漁場、新調費、漁獲物種類、漁獲高

二十五、製造業

種類、製造高、全價格、仕向地

二十六、養殖業

種類、養殖場面積、養殖高、全上價格、仕向地

漁業基本調査

(海洋觀測之部)

明治四十四年度ヨリノ繼續事業トシテ宗像郡大島ヲ根據トシ主務省指示ノ方法ニ基キ海洋觀測、浮游生物並ニ重要生物ノ廻游狀況及特殊魚類ノ調査ヲ行ヒタリ、今左ニ是等調査事項ニ付順次記載ス可シ

一、觀測点ノ位置

觀測點ノ位置ハ前年ノ通り宗像郡大島東及南西近海ニ於テ左ノ二地點ヲ撰ヒ定期海洋觀測場トナス

但シ第二地點ハ風波ノ爲メ第一地點ニ至テ從事シ難キ時ニ限リ此點ニ於テ從事スルモノトス

第一地點 大島味々金鼻西南西二、六湮(水深二十七尋)

北緯三十三度五十二分五十秒

東經百三十度二十二分

第二地點

大島長崎鼻東二湮(水深十八尋)

北緯三十三度五十三分

東經百三十度二十七分十五秒

二、調査ノ日時

調査ハ全年ヲ通ジテ三日毎ニ一回観測ヲ爲シ更ニ毎月一、十一、廿一日ノ三日ヲ限リ三回観測ヲ行ヘリ、但シ観測當日風波高ク之ニ從事シ難キ場合ハ順延ス其観測時刻ハ左ノ如シ

- (イ) 一回観測日 午後二時
- (ロ) 三回観測日 日出前十分、午後二時、日没後十分

特殊魚類ノ調査ハ漁期ニ從ヒ隨時調査トス

三、調査地ノ重要生物

調査地ニ於ケル重要漁業ノ目的生物及其廻游時期並ニ漁期ハ左ノ如シ

- 鯛
 - 來游期 殆周年
 - 地漕網 自六月至八月末
 - 一本釣 自九月至十一月末
- 延繩
 - 殆周年
- 鯷
 - 來游期 殆周年
 - 地曳網 自五月至七月末

- 房丈網 自五月至七月末
- 流網 自十二月末至翌年四月中旬
- 鯖
 - 來游期 自五月下旬至九月末
 - 一本釣 自七月至八月末
- 柔魚
 - 來游期 自五月上旬至八月下旬
 - 一本釣 自五月上旬至八月下旬
- 玉筋魚
 - 來游期 自三月下旬至六月中旬
 - 房丈網 自三月下旬至六月中旬
- 鱒
 - 來游期 自一月下旬至五月末及自十月上旬至十二月末
 - 曲建網 自十一月至翌年六月
 - 延繩及曳繩 自十二月至翌年三月

四、観測方法及記入凡例

- 一、時ハ本邦中央標準時ニ據ル
- 一、天氣ハ左ノ三種ニ分チ其下ニ記スル標準ニ據ル

快晴

雲量 零乃至二

晴

全 二以上八迄

曇

全 八以上

一、雨ハ大要微雨、和雨、強雨ニ分チテ記入ス

一、風向ハ左ノ十六方位ニ分チ其ノ吹キ來ル方向ヲ記入ス

北、北々東、北東、東北東、東、東南東、南東、南々東、南、南々西、南西、西南西、西、西北西、北西、北々西、

一、風力ハ大要左ノ三級ニ分チテ記入ス

無風

(中央氣象臺ノ定メタル六階級中無風ニ當ル)

弱風

(全上軟風及和風ニ當ル)

強風

(全上疾風強風暴風及颶風ニ當ル)

一、温度ハ攝氏ニ據ル

但シ寒暖計ハ中央氣象臺檢定済ノモノヲ用非常ニ氣差ヲ加減ス

一、氣温ヲ計ルニハ觀測船中ニ百葉箱ヲ据ヘ寒暖計ヲ箱中ニ横架シテ之ヲ行フ

一、水温ヲ測ルニハ海水ヲ二重圓筒容器ニ汲ミ取り船中ニテ直チニ之ヲ行フモノトス

一、比重ハ水産局檢定ノ赤沼式比重計ヲ用井テ計リ常ニ器差及器ノ膨脹ヨリ起ル差ヲ訂正記入ス

一、比重ヲ測ルニハ水温ヲ檢シタル際汲ミ取りタル海水ヲ用ヒ之レト同時ニ水温ヲ測定附記ス

一、比重ハ總テ標準温度(十五度)比重ニ換算セルモノヲ記入ス

一、水色ハふほーれる式ニ依ル

一、透明度ハ直徑一尺ノ白色圓板ヲ水平ニ保チツ、沈下シテ箱眼鏡ヲ使用シ其見エザルニ至ルヲ限度トシ沈下シタル深サヲ尋ニテ記入ス

一、潮候ハ滿(タタエ)干(ヒソコリ)後ノ時間ヲ記入ス

一、潮流ノ速度ヲ測ルニハ船ヲ停メテ測流板ヲ使用シ五分間ニ流レタル距離ヲ尋ニテ記入セリ其方向ハ流レ去リタル方向ヲ記入ス

一、浮游生物ヲ採集スルニハ採集器ニ百二十尋ノ繩ヲ附シ先ツ器ト共ニ悉ク繩ヲ延シ停船シテ五分間ニ其繩ヲ手繰コト二回反復シテ其内ニ入りタルモノヲ採ル

一、浮游生物ノ量ハ立方糶ニ依ル

一、魚群ノ狀況ハ濃、稍々濃、薄、ノ三級ニ分チテ記入ス

一、浮游生物名ハ便宜上左ノ略字ヲ用フ

略字	和名	原名
Di.	硅藻類	Diatomaceae.
Cy.	藍藻類	Cyanophyceae.
Cf.	囊狀鞭毛虫類	Cysto-Flagellata.
Df.	硬皮鞭毛虫類	Dino-Flagellata.
Co.	橈脚類	Copepoda.
Ph.	葉脚類	Phyllopoda.
Sc.	裂脚類	Schizopoda.
Pt.	翼足類	Pteropoda.
La.	尾有類	Larvacea.
Th.	サルバ類	Thaliacea.
Ch.	箭虫類	Chaetognatha.
Ra.	放射虫類	Radiolaria.
Fo.	有孔虫類	Foraminifera.
Ci.	纖毛虫類	Ciliata.

四〇

略字	和名	原名
Hy.	水螅類	Hydrozoa.
Ac.	真正水母類	Acalephae.
Ct.	櫛水母類	Ctenophora.
Si.	管水母類	Siphonophora.
Cl.	蔓脚類幼虫	Cirripedia Larva.
G.I.	腹足類全	Gasteropoda ♪
L.I.	辨鰓類全	Lamellibranchiata ♪
E.I.	棘皮類全	Echinodermata ♪
P.I.	多毛虫類全	Polychaeta ♪
T.I.	ホーズキ貝全	Testicardia ♪
D.m.	高等甲殻類變態期ノモノ	
F.I.	魚仔	
F.o.	魚卵	

四一

五、定時海洋觀測表

四	月							三				月						
四一	廿	廿	廿	二十	十七	十四	十一	八	五	二	廿	廿	十九	十六	廿	廿	十九	十六
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
快晴	曇	快	晴	晴	快	快	晴	晴	快	曇	晴	曇	曇	快	晴	曇	曇	快
北北	南	南	北	北	北	西	北	東	西	北東	西	東	北	北西	西	東	北	北西
強全	弱	強	全	全	全	全	全	全	全	全	全	弱	強	全	全	弱	強	全
一六、五	一四、六	一五、六	二二、〇	一五、六	一三、四	九、五	九、〇	九、〇	七、一	七、五	一三、〇	一三、三	一三、三	九、五	一三、〇	一三、三	一三、三	九、五
一四、三	一四、三	一三、三	一三、四	一三、八	一三、四	一三、七	一三、七	一三、九	一三、〇	一三、〇	一三、〇	一三、七	一三、八	一三、五	一三、〇	一三、七	一三、九	一三、五
五、四	五、三	五、六	五、三	五、五	五、八	五、三	五、一	五、四	五、二	五、二	五、五	五、五	五、〇	五、〇	五、三	五、五	五、六	五、〇
〇一	一三	八	九	二	一三	二	二	九	〇	九	二	八	八	八	二	八	八	八
一一	一	一	一	一	一	一	二	二	一	二	二	二	二	一	二	二	二	一
千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千
南	南	北	南	南	北	北	〇	南	南	南	北	南	南	南	北	南	南	南
三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三	二	七	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
Di. Di.	Di. Cf.	Cf. Di.	Cf. Di.	Cf. Di.	Co. Cf.	Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.
Cf. Cf.	Cf. Di.	Di. Cf.	Di. Co.	Co. Cf.	Cf. Cf.	Co. Cf.	Co. Cf.	Co. Cf.	Co. Co.	Co. Co.	Co. Cf.	Co. Co.	Co. Co.	Co. Co.	Co. Co.	Co. Co.	Co. Co.	Co. Co.
La. Ph.	Ph. Di.	Di. Co.	Co. Ph.	Ph. Di.	Di. Cf.	Co. Cf.	Co. Cf.	La. Cf.	Di. Cf.	Di. Cf.	La. Cf.	Di. Cf.	Di. Cf.	Di. Cf.	La. Cf.	Di. Cf.	Di. Cf.	Di. Cf.
Co. Co.	Co. Co.	La. Di.	Di. Cf.	La. Co.	Di. Cf.	La. Co.	Di. Cf.	Di. Cf.	La. Cf.	La. Cf.	Di. Cf.	La. Cf.	La. Cf.	La. Cf.	Di. Cf.	La. Cf.	La. Cf.	La. Cf.
Df. Df.	La. Ph.	La. Ph.	La. Ph.	G.I. La.	La. La.	La. La.	La. La.	Cf. Co.	P.I. Cf.	Cf. Co.	P.I. Cf.	Cf. Co.	Cf. Co.	Cf. Co.	P.I. Cf.	Cf. Co.	Cf. Co.	Cf. Co.
Ph. La.	F.o. Co.	Ch. Ph.	F.I. Cf.	F.I. Ph.	G.I. G.I.	Ph. G.I.	Ph. G.I.	C.I. Df.	E.I. La.	C.I. Df.	E.I. La.	C.I. Df.	E.I. La.	C.I. Df.	E.I. La.	C.I. Df.	E.I. La.	C.I. Df.
	La.		La.		F.I. P.I.	F.I. P.I.	Co. Cf.	P.I. Ph.	F.I. Cf.	P.I. Ph.	F.I. Cf.	P.I. Ph.	F.I. Cf.	P.I. Ph.	F.I. Cf.	P.I. Ph.	F.I. Cf.	P.I. Ph.
							P.I.											

二	月							一				月	事項	
十三	八	五	二	廿	廿	廿	十七	十四	十一	八	五	二	日	事項
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	事項
快	曇	晴	晴	快	曇	晴	和雨	曇	晴	快	晴	晴	天氣	氣
西	西	南	西	西	南	北	東	北	西	南	北	西	風向	象
弱	強	全	全	全	全	弱	強	全	全	全	弱	全	風力	象
八、〇	六、五	一六、〇	一〇、五	七、六	七、三	八、五	一〇、五	二、一	六、〇	九、〇	一〇、八	五、〇	溫水	海
一三、四	一三、七	一三、五	一三、七	一三、七	一三、七	一三、八	一三、五	一三、三	一三、五	一四、三	一四、一	一三、七	溫水	海
五、〇	四、六	五、〇	四、八	四、九	四、七	五、〇	四、八	四、九	五、〇	五、〇	五、〇	四、九	比重	海
六	三	七	六	五	四	三	一〇	一五	一五	二	九	七	透明度	洋
一	二	一	二	二	二	一	二	一	一	一	一	一	水色	洋
滿	滿	千	千	千	滿	滿	千	千	滿	滿	滿	千	潮候	洋
北	北	南	南	南	北	北	南	北	北	北	北	南	方向	洋
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	速度	洋
五	六	八	四	三	一	六	七	三	三	三	三	三	量	洋
Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.	Di. Di.	種	洋
Co. Co.	Co. Co.	Co. Co.	Co. Co.	Co. Co.	Co. Co.	Co. Co.	Co. Co.	Co. Co.	Co. Co.	Co. Co.	Co. Co.	Co. Co.	種	洋
Df. La.	La. Df.	Df. La.	E.I. Df.	E.I. La.	La. Cf.	P.I. La.	La. Cf.	La. Cf.	P.I. La.	La. Cf.	P.I. La.	La. Cf.	種	洋
La. G.I.	G.I. La.	E.I. La.	E.I. La.	E.I. La.	E.I. La.	E.I. La.	E.I. La.	E.I. La.	E.I. La.	E.I. La.	E.I. La.	E.I. La.	種	洋
Cf. Df.	Df. Cf.	Cf. Df.	Cf. Df.	Cf. Df.	Cf. Df.	Cf. Df.	Cf. Df.	Cf. Df.	Cf. Df.	Cf. Df.	Cf. Df.	Cf. Df.	種	洋
C.I. G.I.	G.I. C.I.	L.I. C.I.	L.I. C.I.	L.I. C.I.	L.I. C.I.	L.I. C.I.	L.I. C.I.	L.I. C.I.	L.I. C.I.	L.I. C.I.	L.I. C.I.	L.I. C.I.	種	洋
P.I. P.I.	P.I. P.I.	P.I. P.I.	P.I. P.I.	P.I. P.I.	P.I. P.I.	P.I. P.I.	P.I. P.I.	P.I. P.I.	P.I. P.I.	P.I. P.I.	P.I. P.I.	P.I. P.I.	種	洋
													類	洋

七				月								六				月	
十	七	四	一	廿九	廿六	廿三	二十	十七	十四	十一	七	四	一	三十	廿六		
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日		
快	快	曇	快	曇	晴	曇	晴	晴	曇	曇	快	曇	快	快	和雨		
北東	西	西	北西	西	西	北	西	西	北	東	北	北	北東	西	西北西		
全	全	強	弱	強	全	全	全	弱	強	弱	強	全	全	全	全		
三三	三三	三三	三三	二二	三三	二二	三三	三三	二二	三三	二二	三三	二二	二二	二二		
三〇	三〇	三〇	三〇	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	一九	一八		
四九	四九	四九	四九	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五		
八	一〇	八	一〇	八	二	二	一〇	八	二	八	二	一〇	二	二	八		
一	一	二	一	二	一	二	二	一	二	二	一	二	一	一	二		
滿	滿	干	干	干	滿	滿	エダ	干	干	滿	滿	干	干	コ	滿		
北	北	南	南	南	北	北	〇	南	南	北	北	南	南	〇	南		
四〇	二〇	三五	三五	六	四	四	〇	三	四	六	五	四	五	〇	二〇		
七	八	六	六	五	五	六	六	五	三	〇	三	一	八	三	七		
Di.	Di.	Cf.	Cf.	Di.	Cf.	Cf.	Cf.	Di.	Di.	Di.	Cf.	Cf.	Cf.	Cf.			
Cf.	Cf.	Co.	Co.	Cf.	Co.	Di.	Di.	Di.	Cf.	Df.	Co.	Co.	Ph.	Co.	Di.		
Co.	Co.	Di.	Di.	Df.	Di.	Co.	C.I.	Co.	Df.	Co.	Df.	Di.	Ia.	Ra.	Co.		
Df.	P.I.	Fo.	Ra.	Co.	Ra.	Ph.	Df.	Ph.	Co.	Ra.	Ra.	Ia.	Df.	Ph.	Ph.		
Ct.	Fo.	Ph.	Fo.	Ph.	Ph.	Ra.	Co.	Df.	Ph.	Ia.	Cf.	C.I.	Co.	Ia.	Ra.		
P.I.	Ra.	D.m.	Df.	C.I.	Df.	Df.	G.I.	Ia.	Ia.	G.I.	Ph.	Ra.	E.I.	Df.	Ia.		
L.I.	Fo.	Ct.	Ia.	E.I.	L.I.	Ct.	Ph.	E.I.	Ra.	Cf.	Ia.	Ph.	G.I.	C.I.	Df.		
Fo.	E.I.	Df.	Ph.	Ia.	G.I.	L.I.	Ra.	G.I.	E.I.	L.I.	E.I.	Df.	E.I.	E.I.			
Ia.	Ia.	P.I.	L.I.	Ra.	E.I.	Ia.	Ia.	Ra.	G.I.	Hy.	E.I.	L.I.	L.I.				

五								月							
廿三	二十	十七	十四	十一	九	六	三	三十	廿七	廿四	二十	十七	十四	十一	七
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
晴	快	快	曇	快	曇	晴	晴	強雨	和雨	快	和雨	晴	和雨	快	曇
西	北	南	北	西	西	西	西	西	西	西	北	北	東	北	東
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	弱
三三	三三	一九	一六	一七	一七	一九	一七	一四	一八	一七	一五	一五	一三	一九	一八
一八	一八	一七	一七	一七	一七	一七	一六	一五	一五	一五	一四	一四	一三	一四	一四
五五	五五	四八	五五	五〇	五三	五八	四八	四八	五二	五二	五〇	五二	五二	五三	五三
八	一〇	二	二	二	二	二	一〇	二〇	一〇	一〇	八	一〇	九	九	一〇
一	一	一	二	一	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一
滿	干	干	ニヒ	滿	滿	干	干	コ	滿	干	干	コ	滿	エ	エ
北	南	南	〇	北	北	南	南	〇	北	北	南	南	〇	北	〇
四	五	三	〇	七	四	四	四	〇	五	四	一	一	〇	五	〇
四	五	二	三	一〇	三	三	七	七	七	七	六	三	四	七	五
Cf.	Cf.	Cf.	Cf.	Cf.	Cf.	Cf.	Cf.	Cf.	Cf.	Cf.	Di.	Di.	Di.	Di.	Di.
Co.	Co.	Ph.	Di.	Co.	Co.	Co.	Co.	Co.	Di.	Di.	Cf.	Cf.	Co.	Co.	Cf.
Di.	Ph.	Co.	Co.	Di.	Ph.	Th.	Di.	Ph.	Ra.	Ph.	Df.	Df.	Ph.	Df.	Ph.
Ra.	Di.	Df.	Ph.	Th.	Th.	Ph.	Df.	Df.	Co.	Df.	Co.	Co.	Ra.	Ph.	Co.
Ph.	Df.	Hy.	Th.	Ph.	Di.	E.I.	Th.	Ia.	Th.	Ra.	E.I.	E.I.	Ia.	Cf.	Df.
Ia.	Ch.	Ia.	Ia.	Ia.	Ia.	Df.	Ph.	Ra.	Df.	Co.	Ia.	Ph.	Th.	Ia.	G.I.
Df.	L.I.	L.I.	E.I.	Df.	C.I.	Th.	Ia.	E.I.	D.m.	Cf.	Ia.	Th.	Ia.	C.I.	Th.
L.I.	Th.	G.I.	F.o.	Si.	Ph.	Ra.	Df.	Ia.	F.I.	Th.					

十						月						九					
十九日	十四日	十一日	八日	五日	一日	三十日	廿七日	廿四日	廿一日	十七日	十四日	十一日	八日	五日	一日		
晴	微雨	晴	晴	晴	快	晴	晴	快	晴	曇	曇	強雨	曇	快	晴		
北	東	北東	北	北	北	北西	北西	北	北	北	東	北東	北	北東	北		
全	弱	強	全	全	強	全	全	全	全	全	弱	強	弱	強	全		
一七、五	三、二	三、三	三、三	三、一	二、〇	二、四	三、二	三、五	三、〇	三、一	二、四	三、三	二、四	二、三	二、四		
二、九	三、四	三、五	三、四	三、六	三、六	三、八	三、三	三、五	三、六	三、八	三、九	二、四	二、四	二、三	二、五		
五、八	五、〇	五、二	五、三	五、四	五、六	五、五	五、五	四、九	四、八	五、〇	四、八	四、九	五、〇	五、三	四、九		
一、八	一、二	一、〇	一、八	一、〇	一、二	一、四	一、三	一、二	一、二	一、五	一、九	一、四	一、四	一、八	一、三		
三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	二	二	二	二	一	一		
滿	干	干	コヒッ	滿	エタ	干	干	コヒッ	滿	干	干	コヒッ	滿	エタ	エタ		
北	南	南	〇	北	〇	南	南	〇	北	北	南	南	〇	北	〇		
〇	二、〇	二、五	〇	二、五	〇	二、五	二、五	〇	一、五	二、五	二、五	〇	〇	一、〇	〇		
三	三	三	三	二	二	九	二	二	〇	二	三	九	一	二	六		
Di. Di. Di. Di. Di. Di.	Ct. Di. Di. Di. Di. Di.	Di. Di. Di. Di. Di. Di.	Di. Di. Di. Di. Di. Di.	Di. Di. Di. Di. Di. Di.	Di. Di. Di. Di. Di. Di.	Ct. Di. Di. Di. Di. Di.	Di. Di. Di. Di. Di. Di.	Di. Di. Di. Di. Di. Di.	Di. Di. Di. Di. Di. Di.	Di. Di. Di. Di. Di. Di.	Di. Di. Di. Di. Di. Di.	Di. Di. Di. Di. Di. Di.	Di. Di. Di. Di. Di. Di.	Di. Di. Di. Di. Di. Di.	Di. Di. Di. Di. Di. Di.		
Cf. Co. Df. Ct. Df. Co.	Di. Co. Fo. F.o. Df. Df. Co. Co. Ph. Co.	Fo. Fo. Co. Ph. Co. Co. Df. Df. La. Di.	Si. Df. Co. Df. Co. Ph.	Si. Df. Co. Df. Co. Ph.	Si. Df. Co. Df. Co. Ph.	Si. Si. Df. Co. Fo. Ph. Fo. Ph. Co. Df.	Si. Si. Df. Co. Fo. Ph. Fo. Ph. Co. Df.	Si. Si. Df. Co. Fo. Ph. Fo. Ph. Co. Df.	Si. Si. Df. Co. Fo. Ph. Fo. Ph. Co. Df.	Si. Si. Df. Co. Fo. Ph. Fo. Ph. Co. Df.	Si. Si. Df. Co. Fo. Ph. Fo. Ph. Co. Df.	Si. Si. Df. Co. Fo. Ph. Fo. Ph. Co. Df.	Si. Si. Df. Co. Fo. Ph. Fo. Ph. Co. Df.	Si. Si. Df. Co. Fo. Ph. Fo. Ph. Co. Df.	Si. Si. Df. Co. Fo. Ph. Fo. Ph. Co. Df.		
Df. Si. C.l. Co. Fo. Fo.	Cf. Ch. Ph. Df. Ph. La. La. Hy. D.m. Ph.	Cf. Ch. Ph. Df. Ph. La. La. Hy. D.m. Ph.	Cf. Ch. Ph. Df. Ph. La. La. Hy. D.m. Ph.	Cf. Ch. Ph. Df. Ph. La. La. Hy. D.m. Ph.	Cf. Ch. Ph. Df. Ph. La. La. Hy. D.m. Ph.	Cf. Ch. Ph. Df. Ph. La. La. Hy. D.m. Ph.	Cf. Ch. Ph. Df. Ph. La. La. Hy. D.m. Ph.	Cf. Ch. Ph. Df. Ph. La. La. Hy. D.m. Ph.	Cf. Ch. Ph. Df. Ph. La. La. Hy. D.m. Ph.	Cf. Ch. Ph. Df. Ph. La. La. Hy. D.m. Ph.	Cf. Ch. Ph. Df. Ph. La. La. Hy. D.m. Ph.	Cf. Ch. Ph. Df. Ph. La. La. Hy. D.m. Ph.	Cf. Ch. Ph. Df. Ph. La. La. Hy. D.m. Ph.	Cf. Ch. Ph. Df. Ph. La. La. Hy. D.m. Ph.	Cf. Ch. Ph. Df. Ph. La. La. Hy. D.m. Ph.		
C.l. La. Ph. Ra. Ph. C.l.	Ph. Df. Ch. Ia. La. E.l. Ph. G.l. Sc. E.l.	Ph. Df. Ch. Ia. La. E.l. Ph. G.l. Sc. E.l.	Ph. Df. Ch. Ia. La. E.l. Ph. G.l. Sc. E.l.	Ph. Df. Ch. Ia. La. E.l. Ph. G.l. Sc. E.l.	Ph. Df. Ch. Ia. La. E.l. Ph. G.l. Sc. E.l.	Ph. Df. Ch. Ia. La. E.l. Ph. G.l. Sc. E.l.	Ph. Df. Ch. Ia. La. E.l. Ph. G.l. Sc. E.l.	Ph. Df. Ch. Ia. La. E.l. Ph. G.l. Sc. E.l.	Ph. Df. Ch. Ia. La. E.l. Ph. G.l. Sc. E.l.	Ph. Df. Ch. Ia. La. E.l. Ph. G.l. Sc. E.l.	Ph. Df. Ch. Ia. La. E.l. Ph. G.l. Sc. E.l.	Ph. Df. Ch. Ia. La. E.l. Ph. G.l. Sc. E.l.	Ph. Df. Ch. Ia. La. E.l. Ph. G.l. Sc. E.l.	Ph. Df. Ch. Ia. La. E.l. Ph. G.l. Sc. E.l.	Ph. Df. Ch. Ia. La. E.l. Ph. G.l. Sc. E.l.		
Co. Ph. Ia. C.l. Ia. Cf.	G.l. G.l. Ia. C.l. E.l. D.m. Ia. Df. La.	G.l. G.l. Ia. C.l. E.l. D.m. Ia. Df. La.	G.l. G.l. Ia. C.l. E.l. D.m. Ia. Df. La.	G.l. G.l. Ia. C.l. E.l. D.m. Ia. Df. La.	G.l. G.l. Ia. C.l. E.l. D.m. Ia. Df. La.	G.l. G.l. Ia. C.l. E.l. D.m. Ia. Df. La.	G.l. G.l. Ia. C.l. E.l. D.m. Ia. Df. La.	G.l. G.l. Ia. C.l. E.l. D.m. Ia. Df. La.	G.l. G.l. Ia. C.l. E.l. D.m. Ia. Df. La.	G.l. G.l. Ia. C.l. E.l. D.m. Ia. Df. La.	G.l. G.l. Ia. C.l. E.l. D.m. Ia. Df. La.	G.l. G.l. Ia. C.l. E.l. D.m. Ia. Df. La.	G.l. G.l. Ia. C.l. E.l. D.m. Ia. Df. La.	G.l. G.l. Ia. C.l. E.l. D.m. Ia. Df. La.	G.l. G.l. Ia. C.l. E.l. D.m. Ia. Df. La.		
Th. Ch. Fo. P.l. G.l. Df.	Df. Ph. Ra.	Df. Ph. Ra.	Df. Ph. Ra.	Df. Ph. Ra.	Df. Ph. Ra.	Df. Ph. Ra.	Df. Ph. Ra.	Df. Ph. Ra.	Df. Ph. Ra.	Df. Ph. Ra.	Df. Ph. Ra.	Df. Ph. Ra.	Df. Ph. Ra.	Df. Ph. Ra.	Df. Ph. Ra.		
Ch. C.l. Ra. Ph. L.l. Ch.	E.l. D.m. G.l.	E.l. D.m. G.l.	E.l. D.m. G.l.	E.l. D.m. G.l.	E.l. D.m. G.l.	E.l. D.m. G.l.	E.l. D.m. G.l.	E.l. D.m. G.l.	E.l. D.m. G.l.	E.l. D.m. G.l.	E.l. D.m. G.l.	E.l. D.m. G.l.	E.l. D.m. G.l.	E.l. D.m. G.l.	E.l. D.m. G.l.		
Sc. Ra. Si. G.l. Si.	La. C.l.	La. C.l.	La. C.l.	La. C.l.	La. C.l.	La. C.l.	La. C.l.	La. C.l.	La. C.l.	La. C.l.	La. C.l.	La. C.l.	La. C.l.	La. C.l.	La. C.l.		
E.l. T.l. C.l. La.	P.l.	P.l.	P.l.	P.l.	P.l.	P.l.	P.l.	P.l.	P.l.	P.l.	P.l.	P.l.	P.l.	P.l.	P.l.		
G.l.	Ch	Ch	Ch	Ch	Ch	Ch	Ch	Ch	Ch	Ch	Ch	Ch	Ch	Ch	Ch		
Ra.																	

月						八						月					
廿九日	廿六日	廿三日	二十日	十七日	十四日	十一日	八日	五日	二日	廿七日	廿四日	廿一日	十九日	十六日	十三日		
晴	晴	晴	微雨	晴	晴	晴	晴	快	快	晴	快	快	曇	和雨	快	晴	
北	北	東	南	西	西	西	北東	北	北東	西	西	東	北東	北西	西		
弱	強	強	弱	強	全	全	全	弱	強	全	弱	強	全	全	弱		
二六、〇	二五、〇	二七、五	二五、五	二九、〇	二七、八	二八、〇	二六、〇	二四、五	二四、二	二八、四	二五、五	二五、〇	二六、〇	二六、〇	二八、五		
二五、一	二四、三	二五、五	二六、五	二七、〇	二七、九	二四、四	二三、九	二三、五	二三、〇	二五、一	二四、五	二三、二	二三、〇	二四、一	二三、二		
五、四	五、一	五、七	五、九	四、七	五、〇	五、三	五、九	五、三	五、二	五、〇	五、四	五、六	五、二	五、七	五、八		
九	九	一〇	一四	一三	一三	一〇	一五	一四	一〇	一三	一四	一〇	九	一三	一六		
一	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一		
干	干	滿	滿	干	干	コヒッ	滿	滿	干	コヒッ	滿	滿	干	干	コヒッ		
南	南	北	北	南	南	〇	北	北	南	〇	北	北	南	南	〇		
八	六	四	五	五	二	〇	二	九	四	〇	一	二	四	三	〇		
二	七	四	〇	三	五	五	五	五	六	六	三	三	二	六	六		
Co. Di. Ph. Cf. Cf. Di. Di. Cf. Ph. Cf.	Df. Ph. La. Co. Ra. Cf. Cf. Fo. Co. Co.	Di. Co. Df. Ph. Co. Co. Ra. Ph. Di. Df.	Ph. Df. Cf. Di. Di. Ph. Co. Ra. Cf. Ph.	La. G.l. Co. E.l. La. Df. Df. Df. Df. Ch.	Fo. Fo. Di. La. Ph. La. Ra. La. G.l. L.l.	Ci. E.l. D.m. Df. Df. Ra. Ph. Co. Fo. La.	La. Ia. Ch. Th. G.l. Fo. Si. Ch. La. Df.	P.l. Hy. E.l. Hy. Fo. G.l. Ia. L.l. D.m. Ra.	Hy. Si. Ch. Ch. Ch. P.l. Fo. P.l.	Fo. L.l. Hy. Ci. G.l. Ch.	Ra. E.l. L.l. Th. G.l. L.l.	Cf. Cf. Di. Di. Cf. Cf.	Fo. Fo. Co. Co. Di. Co.	Co. Co. Ra. Cf. Co. Di.	Ph. Ra. Cf. Ra. Fo. P.l.	Ra. P.l. Df. Fo. Ph. Ia.	
La. Df. Fo. Df. P.l. Df.	Ci. L.l. La. Ia. L.l. D.m.	Fo. Ph. E.l. E.l. Ra.	Df. La. Ph. Hy. Ci.	P.l. Ci. P.l. Fo.	E.l. L.l. Df.												

空氣溫度ノ一ケ年平均示度ハ十七度四ニシテ前年ノ十七度六ニ比スレバ稍々低温ナリ。日別最高溫度ハ八月十七日ニ現ハレ二十九度ヲ示シ最低溫度ハ一月十五日ニ現ハレ五度ヲ示シ之ヲ前年ニ比スレバ最高ニ於テハ九日早クシテ一度八低ク最低ニ於テハ三日後クシテ一度高シ一ケ月平均溫度ニアリテハ最高ハ八月ニシテ廿六度四ヲ最低ハ一月ニシテ八度六ヲ示シ其差十七度八ナリ、之ヲ前年ニ

六、海洋氣象概況

イ、空氣溫度

(前表比重數字ノ上ニハ一、〇ニテ加フ)

月		二		十		一		十		月											
卅一日	廿七日	廿四日	廿一日	十八日	十四日	十一日	八日	廿五日	廿二日	十九日	十六日	十三日	十日	七日	四日	一日	三十日	廿七日	廿四日	廿一日	
晴	晴	晴	和雨	曇	晴	曇	晴	快	快	快	快	曇	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
北西	北西	北西	南東	西	北	南	南西	北	東	北西	北東	東	南	北西	西北西	西	北	西	北	北	北西
強	全	全	弱	強	全	全	弱	全	全	全	全	弱	強	全	全	全	全	全	全	全	全
五、二	一〇、三	六、二	九、四	三、四	八、〇	一五、三	二二、二	二、二	一四、一	一三、五	一六、〇	一七、五	一九、〇	一七、八	一八、五	一八、〇	一八、〇	一七、五	一七、〇	一九、四	一九、六
一三、八	一四、四	一四、八	一四、五	一四、五	一五、八	一六、四	一五、八	一六、三	一八、〇	一八、〇	一九、九	一九、八	一九、九	一九、六	一九、八	二〇、二	二〇、二	二〇、六	二〇、〇	二〇、三	二〇、三
七	一〇	一〇	九	五	二	二	八	一〇	二	二	二	二	二	二	一〇	七	九	六	四	三	三
ニ満	千	千	コソ	ニ満	ニ満	千	千	ニ満	千	千	千	千	千	コソ	ニ満	ニ満	エタ	千	コソ	ニ満	ニ満
北	南	南	〇	北	北	南	南	〇	南	〇	北	北	南	南	〇	北	北	〇	南	〇	北
七	二	二	〇	九	六	二	五	二	〇	〇	六	三	三	〇	三	七	〇	三	〇	〇	六
三	一八	五	五	二	五	二	七	三	六	一	五	六	二	四	七	二	三	五	三	三	二
Di.	Di.	Di.	Cf.	Di.	Di.	Di.	Cf.	Di.	Di.	Cf.	Di.	Di.	Di.	Di.	Di.	Di.	Di.	Cf.	Cf.	Cf.	Di.
Co.	Co.	Co.	Di.	Cf.	Co.	Co.	Co.	Co.	Co.	Co.	Co.	Co.	Co.	Co.	Co.	Co.	Co.	Di.	Di.	Di.	Co.
Df.	Cf.	Ch.	Co.	Co.	Cf.	La.	Ph.	Co.	Co.	Di.	La.	La.	Si.	Di.	Di.	Di.	Co.	Co.	Co.	Co.	Cf.
I.a.	D.m.	I.a.	Si.	E.l.	Df.	Ra.	Si.	I.a.	I.a.	Fo.	Th.	Di.	Di.	Th.	Ph.	Ch.	Ct.	Ra.	Ra.	G.l.	Si.
E.l.	E.l.	Ct.	P.l.	G.l.	La.	Th.	P.l.	E.l.	E.l.	Ct.	Si.	Pt.	Si.	I.a.	Ra.	Df.	Ph.	Si.	Si.	Si.	Df.
F.o.	C.l.	P.l.	C.l.	Si.	Ch.	E.l.	Ra.	Th.	Th.	Th.	Ph.	Th.	Df.	La.	Si.	Ph.	Ph.	Si.	G.l.	Ra.	Ph.
	P.l.	Df.	Ct.	Ch.	Ct.	Df.	C.l.	Ph.	Ph.	Ph.	Ch.	Ph.	Df.	Th.	Si.	I.a.	I.a.	La.	Ph.	Fo.	P.l.
	Df.		Df.	Ra.	P.l.	Ph.		Ph.	Ra.	Df.	So.	Si.	Df.	La.	Ph.	G.l.	C.l.	Si.	ch.	Ct.	P.l.
	G.l.	I.a.	I.a.	Ph.	C.l.			Si.	Df.	Ch.	Si.	Ch.	Ph.	Ra.	Ch.	Ra.	Cf.	G.l.	Fo.	I.a.	Ph.
	I.a.		Df.	E.l.	L.l.			La.	Ch.	Ph.	Ra.	L.l.	P.l.	Ra.	Df.	La.	C.l.		Df.	Ch.	Ch.
			L.l.						C.l.	Ch.				Fo.	Ch.				L.l.	Df.	C.l.
									G.l.					L.l.	Fo.	C.l.			C.l.	C.l.	P.l.
															F.l.				G.l.	G.l.	G.l.

比スルニ最高ハ共ニ八月ニシテ其示度三度七低ク最低モ亦共ニ一月ニシテ其示度一度四高シ、而シテ前年ニ於テハ最高氣温ト最低氣温トノ差實ニ二十二度九ナリシモ本年ハ前述ノ如ク十七度八ニ過ギズ氣温ノ變動概シテ少シ。年中氣温ノ變動最モ甚シキハ一、二、三、四、五月及十二月ニシテ其他ニアリテハ一般ニ緩徐ナリ。又月平均氣温ノ變動ヲ觀ルニ一月ヨリ八月マデハ上昇シ其間三月ヨリ四月及六月ヨリ七月ニ移ル際ニ於テ最モ甚シク其他ハ概シテ緩ルク兩月較差最大五度三最小零度五ヲ示シ、八月ヨリ十二月マデハ下降シ其間十月ヨリ十一月及十一月ヨリ十二月ニ移ル際ニ於テ最モ甚シク其他ハ概ネ緩和ニシテ兩月較差最大六度八最小一度一ヲ示セリ、而シテ月平均氣温ガ年平均氣温ヨリ高キハ五、六、七、八、九、十月ニシテ其他ハ之レニ反ス

口、海水温度

一ケ年平均海水温度ハ十八度五ニシテ前年平均水温ト全ク同温ナリ。日別ニ於テハ最高水温ハ氣温ト同ジク八月十七日二十七度ヲ示シ最低ハ三月五日十二度ヲ示シ其差十五度ニ達ス、而シテ之ヲ前年ニ比スルニ最高ニアリテハ六日早ク現ハレ零度四低ク最低ニアリテハ十四日晚ク零度五高シ、又前年最高水温ト最低水温トノ差ハ十五度九ニシテ本年ノ十五度ニ比シ零度九大ナリ。一ケ月平均水温ノ最高ハ八月ニシテ二十四度五ヲ示シ最低ハ一月ニシテ十三度ヲ示シ其差十一度五ニ及ベリ、之ヲ前年ニ比スルニ最高ハ共ニ八月ニシテ一度六低ク最低ハ一ケ月早ク零度七高シ、又前年最高水温

ト最低水温トノ差ハ十三度八ニシテ本年ニ比シ二度三多シ、此如水温ニアリテモ氣温ト同ジク本年ハ前年ヨリ其變化稍々少ナキヲ見タリ、月平均水温ノ變動ヲ見ルニ二月ヨリ八月マデハ上昇シ其間四月ヨリ五月及六月ヨリ七月ニ移ル際ニ於テ變動最モ甚シク其他ハ概ネ緩徐ニシテ兩月較差最大三度最小零度五ヲ示シ、一月ヨリ二月及八月ヨリ十二月マデハ下降シ其度最モ甚シキハ十一月ヨリ十二月ニ移ル候ニシテ其他ハ概シテ緩ルク兩月較差最大三度九最小零度六ヲ示セリ、而シテ月平均水温ガ年平均水温ヨリ高キハ六、七、八、九、十、十一月ニシテ其他ハ之ニ反ス。水温ト氣温トノ關係ハ、年平均ニ於テハ水温ガ氣温ヨリ一度一高ク、月平均ニ於テハ前者ガ後者ヨリ高キハ一、二、三、九、十、十一、十二月ニシテ其他ハ之ニ反ス、又月別平均最高ニ於テハ水温モ氣温モ共ニ八月ニ表ハレ前者ハ二十六度四後者ハ二十四度五ニシテ其差一度九ナリ、最低ニ於テハ水温ハ二月ニ表ハレ十三度氣温ハ一ケ月早ク一月ニ表ハレ八度六ニシテ前者ハ後者ヨリ四度四高シ。日別、最高ニ於テハ水温モ氣温モ共ニ八月十七日ニ表ハレ前者ハ二十七度後者ハ二十九度ニシテ其差二度ヲ示シ、最低ニ於テハ水温ハ三月五日ニ表ハレ十二度、氣温ハ二ケ月早ク一月五日ニ表ハレ五度ニシテ其差七度ヲ示セリ、此如水温ノ變動ハ氣温ノ變動ニ比シ稍々後レテ表ハル、ヲ常トシ其變動ノ狀況大ニ緩徐ナリ

ハ、海水比重

一ヶ年平均比重ハ一、〇二五一六ニシテ之ヲ前年ノ一、〇二四九七ニ比スルニ〇、〇〇〇一九高シ。日別最高ハ十二月三十一日ニ表ハレ一、〇二五八三ヲ最低ハ五月十七日ニ表ハレ一、〇二四二八ヲ示シ其差〇、〇〇一五五ナリ、之ヲ前年ニ比スルニ最高ニ於テハ〇、〇〇〇七七低ク最低ニ於テハ〇、〇〇〇一一高シ。一ヶ月平均ニアリテハ最高ハ七月ニシテ一、〇二五四九ヲ最低ハ十一月ニシテ一、〇二四八〇ヲ示シ其差〇、〇〇〇六九ナリ、之ヲ前年ニ比スルニ最高ハ〇、〇〇〇二二低ク最低ハ〇、〇〇〇三九高シ、而シテ比重ハ概シテ三、四、六、七、十月ニ高ク一、二、十一、十二月等ハ概ネ低ク兩月較差最大〇、〇〇〇二八最小〇、〇〇〇一ヲ示セリ、又比重ノ變動ハ四、五、六、七、九、十月ニ最モ甚シク一、三、八、十一、十二月等ハ概シテ緩和ナリ

二、海水透明度

一ヶ年平均透明度ハ十尋ニシテ、日別最深ハ十月十九日ニ十八尋ヲ最淺ハ二月八日ニ三尋ヲ示シ其差十五尋ニ達セリ。一ヶ月平均ニアリテハ最深ハ九月ニシテ十二尋ニテ最淺ハ三月ニシテ七尋一ヲ示シ其差五尋ニ及ヘリ之要ニ透明度ハ荒天ニシテ海底ノ土砂ヲ攪拌スルヲ多ク且ツ曇天多キ冬期及哇藻類ノキートセラズ、ユーカーンピア、ステハノヒキシス、等ノ如キ微生物海中ニ密生スル時ニ小ニシテ晴天多ク波靜ナル秋期ニ大ナリ、

ホ、潮流及水色

潮汐流ハ満潮ニアリテハ北流シ干潮ニアリテハ南流スルヲ常トシ殆ンド之ノ定期ヲ脱スルヲナシ、其速度ハ概シテ春冬ノ候ニ大ニ殊ニ満潮ニ大ニシテ之ノ最大速度ハ九月五日及七月七日ニシテ五分鐘百尋ニ達スルヲ觀タリ。

水色度ハ全年ヲ通シテホールル一、ナルヲ最多ク稀ニ二ヲ示スヲアレドモ三ヲ越ユルヲ殆ンドナシ今前述各事項ニ付キ更ニ各月ニ於ケル經過ノ概要ヲ示セバ左ノ如シ

一月。 天候、晴天十一日快晴及曇天各々六日降雨降雪各々四日、北西風八日西風七日北風六日南風四日東風三日北々西及南西風各々一日(不明一日)、弱風十七日強風十三日暴風一日ニシテ上中旬ハ天氣良好ナレドモ下旬ハ殆ンド時化ノミナリ。氣温、最低十二度七最高十二度一平均八度六ニシテ前月平均氣温ヨリ三度六低ク前年一月平均氣温ヨリ一度四高シ。水温、最低十二度七最高十五度五平均十四度ニシテ先月平均水温ヨリ二度三低ク前年一月平均水温ヨリ零度七高シ。比重、最低一、〇二四六八最高一、〇二五三平均一、〇二四九四ニシテ概シテ低度ヲ示セリ。水色、殆ドホールル一、ノミニシテ二以上ヲ示スヲハ極メテ稀ナリ。透明度、最淺三尋最深十五尋平均八尋八ニシテ先月平均透明度ト殆ンド同一ナリ。潮流ハ著シキ變化ナキガ如ク其速度最モ速キハ満潮ニ於テ五分鐘六十尋餘ナルヲ觀タリ。

二月。 天候、晴天十三日曇天八日快晴五日降雨二日、北西風九日西風八日東北及南西風各々三日

南風二日、弱風十五日強風十三日ニシテ降水量比較的少ナカリシモ風力極メテ強ク殆ンド時化ノミナリ。氣温、最低六度五最高十六度平均十度九ニシテ先月平均氣温ヨリ二度三高ク前年二月平均氣温ヨリ一度高シ。水温、最低十二度四最高十三度七平均十三度ニシテ先月平均水温ヨリ一度低ク前年二月平均水温ヨリ零度七高シ。比重、最低一、〇二四八六最高一、〇二五五平均一、〇二五一六ニシテ概シテ低シ。水色ハホールレル²最多ク¹又ハ³ハ稀レナリ。透明度ハ最淺三等最深十一尋平均七尋餘ニシテ先月ニ比シ稍々混濁セリ。潮流ハ著シキ變化ナク其速度最モ速キハ滿潮ニ於テ五分間九十尋流レシヲ觀タリ、

三月。天候、快情十二日晴天九日曇天十日、北風十二日西風八日南風四日北西風三日東風及南西風各々二日、弱風十八日強風十三日ニシテ降雨極メテ少ナカリシガ風力概シテ強ク風向ハ多ク北及北西ニ偏ス。氣温、最低七度最高十五度六平均十一度四ニシテ先月平均氣温ヨリ零度六高ク前年三月平均氣温ヨリ零度七低シ。水温、最低十二度最高十四度三平均十三度二ニシテ先月平均水温ヨリ零度二前年三月平均水温ヨリ零度四高シ。比重、最低一、〇二五一一最高一、〇二五五六平均一、〇二五三二ニシテ概シテ高度ヲ示セリ。水色ハホールレル¹及²相半シ、透明度ハ最淺八尋最深十三尋平均十尋半ニシテ之ヲ先月ニ比スルニ大ニ清澄ナリ。潮流ハ大ナル變化ナク其速度最モ速キハ滿潮ニニアリ五分間九十尋ナリキ。

四月。天候、曇天十日晴天九日雨天七日快晴四日、北風十二日北西風四日北東風二日東及南風各々二日西南西風及無風各一日、弱風十八日強風十一日ニシテ比較的降雨多ク風向概シテ北ニ偏スルヲ觀ル。氣温、最低十三度九最高十九度五平均十四度八ニシテ先月平均氣温ヨリ五度三前年四月平均氣温ヨリ二度八高シ。水温、最低十三度九最高十五度八平均十四度ニシテ先月平均水温ヨリ一度六前年四月平均水温ヨリ零度三高シ。比重、最低一、〇二四五一最高一、〇二五七五平均一、〇二五三一ニシテ一般ニ高シ。水色ハホールレル¹最モ多ク、透明度ハ最淺八尋最深十二尋平均九尋強ニシテ先月ニ比シ稍々濁レリ。潮流ハ著シキ變化ナク其速度ノ最モ大ナルハ滿潮ニアリテ五分間七十五尋ナリトス。

五月。天候、快晴十二日晴天十日雨天五日曇天四日、北風十日西風七日南風四日北西風及南西風各三日北東風二日北々西風及西北西風各々一日、弱風二十六日強風五日ニシテ概シテ天氣良ク風力弱シ。氣温、最低十六度九最高二十二度一平均十九度二ニシテ先月平均氣温ヨリ二度五高ク前年五月平均氣温ニ比スレハ零度二低シ。水温、最低十六度五最高十九度平均十七度八ニシテ先月平均水温ヨリ三度高ク前年五月平均水温ヨリ零度七低シ。比重、最低一、〇二四二八最高一、〇二五五四平均一、〇二五一九ニシテ其示度中庸ナリト云フベシ。水色ハホールレル¹最モ多ク、透明度ハ最淺八尋最深十二尋平均十一尋弱ニシテ之ヲ先月ニ比スレバ稍々清澄ナリ。潮流ハ著シキ變化ナク其流

速ノ最大ナルハ滿潮ニ於テ五分間七十尋ナリトス。

六月。 天候、曇天十三日晴天十一日快晴及降雨各々三日、北風八日西風七日東及南風各々五日北東風三日南西風二日、弱風二十日強風十日ニシテ上旬ハ雨多ク中下旬ハ晴曇相半シ風向ハ多ク北西ニ偏ス。氣温、最低十九度四最高二十二度七平均二十一度四ニシテ之ヲ先月平均氣温ニ比スレバ二度二高ク、前年六月平均氣温ト全ク同一ナリ。水温ハ最低十九度二最高二十一度三平均二十度三ニシテ先月平均水温ヨリ二度五高ク更ニ前年六月平均水温ニ比スレバ零度三低シ。比重、最低一、〇二四七最高一、〇二五九九平均一、〇二五四一ニシテ概シテ高度ヲ示セリ。水色ハホールレル1ト2ト相半シ、透明度ハ最淺八尋最深十四尋平均十尋七ニシテ之ヲ先月平均透明度ニ比スルニ殆ンド同様ナリ。潮流ハ著シキ變化ナク其速度ノ最大ナリシハ滿潮ニシテ五分間六十五尋流レシモノナリトス。

七月。 天候快晴十五日晴天及曇天各々七日雨天二日、西風八日南風七日北及北東風各々五日北西風三日南西風二日東風一日、弱風十七日強風十四日ニシテ降雨極メテ少ナク風力強シ。氣温、最低二十一度三最高二十八度五平均二十五度一ニシテ先月平均氣温ヨリ三度七前年七月平均氣温ヨリ零度四高シ。水温、最低二十二度最高二十五度一平均二十三度三ニシテ先月平均水温ヨリ三度高ク前年七月平均水温ト殆ンド同様ナリ。比重、最低一、〇二四九六最高一、〇二五八〇平均一、〇二五四九ニシテ周年ヲ通シテ最モ高度ヲ示セリ。水色ハホールレル1最モ多ク2ハ稀レニ3ヲ示スナシ、透明度ハ最淺八尋最深十六尋平均十一尋ニシテ先月ニ比シ稍々清澄ナリ、潮流ノ最モ速キハ滿潮ニ於テ五分間百十尋ナルヲ觀タリ。

八月。 天候、晴天十九日快晴七日曇天三日雨天二日、北風十四日西風五日北東及南西風各々三日東及南風各々二日南東風一日、弱風十八日強風十三日ニシテ降雨極メテ少ナク風向多ク北偏シ風力強シ。氣温、最低二十四度二最高二十九度平均二十六度四ニシテ之ヲ先月ニ比スレバ一度三高ク前年八月平均氣温ニ比スレバ三度七低シ。水温、最低二十三度最高二十七度平均二十四度五ニシテ先月平均水温ヨリ一度二高ク前年八月平均水温ヨリ一度六低シ。比重、最低一、〇二四七八最高一、〇二五四五平均一、〇二五二五ニシテ普通ナリ。水色ハホールレル1、最モ多ク2ヲ示ス1稀ナリ、透明度ハ最淺九尋最深十五尋ニシテ先月ト大差ナシ、潮流ハ其速度最モ速キモノ五分間九十尋ナリトス。

九月。 天候、晴快十一日晴天七日曇天十日降雨二日、北風十四日東、北東及北西風各々四日南及南東風各々二日、弱風二十五日強風五日ニシテ降雨少ナク風向北ニ偏シ風力概シテ弱シ。氣温、最低二十一度最高二十四度七平均二十三度ヲ示シ之レヲ前月ニ比スレバ三度四前年九月ニ比スレバ一度八低シ。水温、最低二十三度三最高二十五度平均二十三度九ヲ示シ之ヲ先月平均水温ニ比スレバ零度六前年九月平均水温ニ比スレバ零度一低シ。比重、最低一、〇二四四九最高一、〇二五五一平

均一、〇二九九一ヲ示シテ例月ニ比シ普通ナリト云フベシ。水色ハ概ネホールル1ヲ示シ、透明度ハ最淺八尋最深十五尋平均十二尋三ニシテ前月ニ比シ稍々清澄ナリ。潮流ノ最モ急ナリシハ満潮ニ於テ五分間百尋ナリシモノナリ。

十月。 天候、晴天十五日曇天八日快晴五日雨天三日、北風十四日東風五日北東風及北西風各々四日南及西風各々二日、弱風二十日強風十一日ニシテ降雨稍々少ナク風向北偏シ風力概シテ強シ。氣温、最低十七度五最高二十四度平均二十度四ヲ示シ前月ヨリ二度六前年十月平均氣温ヨリ零度五低シ。水温、最低二十度二最高二十三度六平均二十一度九ヲ示シ先月平均水温ヨリ二度低ク前年十月平均水温ヨリ零度四高シ。比重、最低一、〇二四九二最高一、〇二五七〇平均一、〇二五二一ヲ示シ概シテ高シ。水色ハホールル1、ト2ト相半シ、透明度ハ最淺三尋最深十二尋平均七尋五ニシテ之ヲ先月ニ比スルニ甚シク濁レリ、潮流ノ最モ速キハ満潮ニアリ五分間九十尋流レシモノナリ、十一月。 天候晴快及晴天各々十日曇天九日雨天一日、北風八日北西風六日東風五日西及南風各々四日南東、南西及北東風各々一日、弱風廿七日強風三日ニシテ降雨少ナク風力弱シ。氣温、最低十二度六最高十九度六平均十六度二ヲ示シ先月平均氣温ニ比シ四度二低ク前年十一月平均氣温ニ比スレバ二度二高シ。水温、最低十八度最高二十度二平均十九度三ヲ示シ先月平均水温ヨリ二度五低ク前年十一月平均水温ヨリ零度六高シ。比重、最低一、〇二四四二最高一、〇二五二二平均一、〇二四七九八

ヲ示シ全年ヲ通シテ最低度ヲ示セリ。水色ハホールル1、最モ多ク透明度ハ最淺七尋最深十三尋平均十一尋弱ニシテ前月ニ比シ大ニ清澄ナリ、潮流ノ速度最モ速キハ満潮ニアリ五分間七十尋ナリトス十二月。 天候、曇天十五日晴天九日降雨六日降雪一日、北西風八日西風七日南西風五日南風四日東及北風各々三日南東風一日、弱風二十一日強風十日ニシテ降雨多ク風力稍々強シ。氣温、最低三度四最高十五度三平均九度四ヲ示シ前月ヨリ六度八低ク前年十二月平均氣温ヨリ二度八低シ。水温、最低十三度八最高十七度三平均十五度四ヲ示シ之ヲ先月平均水温ニ比スレバ四度前年十二月平均水温ニ比スレバ零度九餘低シ。比重、最低一、〇二四五二最高一、〇二五八三平均一、〇二四八四ニシテ概シテ低シ。水色ハホールル2最モ多ク其他ハ稀ナリ、透明度ハ最淺五尋最深十一尋平均八尋九ニシテ先月ニ比シ大ニ濁レリ、潮流ノ最モ速キモノハ満潮ノ五分間九十尋流レシモノナリ

七、浮游生物

浮量一ケ年平均量ハ四十七立方糎三ニシテ之ヲ前年平均量三十四立方糎五ニ比スレバ稍々多量ナリ。日別最多量ハ五月九日ニ三百五十二立方糎ヲ最少量ハ九月十一日ニ一立方糎ヲ示シ其差三百五十一立方糎ニ及ベリ。一ケ月平均量ニアリテハ其最多量ハ五月ニシテ百〇五立方糎ヲ最少量ハ九月ニシテ十三立方糎六ヲ示シ其差九十一立方糎四ニ及ベリ、而シテ浮量ハ概シテ二、三、五、七、十一月

ニ多ク一、六、八、九、十、十二月ニ少ナク四月ハ年平均量ト殆ンド同様ナリ。種類ノ主ナルモノハ硅藻類、鞭毛類、尾有類、葉脚類、放散虫類、蔓脚類幼虫、腹足類幼虫、辨鰓類幼虫棘皮類幼虫、多毛類幼虫、紐筋類、環筋類、毛顎類、有孔虫類、水媳類、櫛水母類、管水母類、高等甲殻類變態期ノモノ及魚仔魚卵等ニシテ稀ニ裂脚類、冀足類及ホオズキ貝幼虫等ノ出現スルヲ見タリ、就中硅藻、橈脚、鞭毛、尾有、葉脚放散虫類、腹足類幼虫、棘皮類幼虫等ハ殆ンド周年出現シ蔓脚類幼虫ハ春秋期ニ辨鰓類幼虫ハ夏、秋冬ニ多毛類幼虫及毛顎類ハ秋、冬ニ有孔虫類及櫛水母類ハ夏秋ニ紐、環筋類ハ春秋及秋冬ニ高等甲殻類變態期ノモノハ晩春及夏期ニ水媳類ハ晩春、夏、秋ニ管水母類ハ晩夏ヨリ初秋ニ魚仔ハ晩冬ヨリ初春ニ最モ多ク出現シタリ、今月別經過ヲ概示スレバ左ノ如シ一月。容量、最少十二立方糶最多六十立方糶平均三十三立方糶三ヲ示シ概シテ少量ナリ。種類ハ現時出現スルモノハ硅藻類最モ多ク就中すてはのひきしす、ゆゑかんびあ、りぞそれにあ、こつしのですくす、ヲ最トシ其他魚仔魚卵及小數ノ橈脚類、毛顎類、多毛類等出現シ殊ニ魚仔、卵ハ中旬ニ最モ多シ。

二月。容量、最少四、立方糶最多百六十九立方糶平均七十三立方糶ヲ示シ概シテ多量ナリ。種類、先月ト同ジク硅藻類最モ多ク殊ニ上旬ニ於テハきとせらす、こつしのですくす下旬ニ於テハゆゑかんびあ、すてはのひきしす、最モ多量ニ出現シタリ、其他橈脚類夜光虫及玉筋魚稚魚等稍々多量ナリ。

三月。容量、最少七立方糶最多百六十八立方糶平均三十三立方糶八ニシテ概シテ多量ナリ。種類、先月ト同シク硅藻類ノきとせらす、こつしのですくす、ゆゑかんびあ、すてふばのひきしす等最モ多ク其他中下旬ニ於テハ夜光虫下旬最末ニ於テハ尾有類稍多量ニ出現シ橈脚類ハ著シキ増減ナシ四月。容量、最少十七立方糶最多九十七立方糶平均四十七立方糶ニシテ本月平均量ハ一ヶ年平均量ト殆ンド同様ナリ。種類、硅藻類、夜光虫ヲ主トシ其他橈脚類環筋類、尾有類、鞭毛虫等ニシテ就中月ノ中旬ニ於テハ硅藻類ノりぞそれにあ最モ多ク下旬ニ於テハ夜光虫最モ多量ナリ、五月。容量、最少二十一立方糶最多三百五十二立方糶平均百五立方糶ニシテ浮量ノ多キ事全年ヲ通ジテ本月ヲ以テ最多トス。其種類ハ先月マデ極メテ多量ナリシ硅藻類ハ大ニ減少シテ夜光虫之ニ替リテ出現シ盛ニ増殖スルヲ見タリ。

六月。容量、最少五、立方糶最多百〇三立方糶平均三十八立方糶三ヲ示シ概シテ浮量ノ量少ナシ種類、先月盛ニ出現シタル夜光虫ハ大ニ減退シテ橈脚類及硅藻類ノ増殖シ來ルヲ見タリ。

七月。容量、最少六立方糶最多百五十九立方糶平均五十二立方糶三ヲ示シ稍々多量ナリ。種類、一ヶ月通シテ最モ顯著ナリシモノハ硅藻類橈脚類及櫛水母類ニシテ其他硬皮鞭毛類、尾有類、多毛類、幼虫腹足類、幼虫等最モ並通ノモノナリトス。

八月。容量、最少四立方糎最多五十七立方糎平均十九立方糎一ヲ示シ浮量極テ少ナク殊ニ其上、下旬ニ於テ然リトス。種類、本月ハ橈脚類及葉脚類最モ多ク硅藻類ハ先月ニ比シテ稍々水母類著シク減少シ其他ハ先月ト大差ナシ。

九月。容量、最少一立方糎最多二八、立方糎平均十三立方糎ニシテ全年ヲ通ジテ浮ノ量最少ナシ。種類、最モ顯著ナルモノハ硅藻類、橈脚類、葉脚類及有孔類ニシテ硅藻類ノモノハ主トシテゆーかんびあ、きーとせらす、りぞそれにあ、あすてりあねら等ナリ其他管水母類、硬皮鞭毛類及少數ノ尾有類、毛顎類、腹足類、幼虫等ノ出現ヲ見タリ。

十月。容量、最少一〇、立方糎最多五十一立方糎平均二十六立方糎ヲ示シ概シテ少量ナリ種類、上中旬ニ於テハ硅藻類ノこつしのですくす、きーとせらす、りぞそれにあ等最モ多ク下旬ニ至レバ夜光虫著シク出現シ來リ其他橈脚類、管水母類、毛顎類、尾有類及葉脚類等普通ナルモノナリ。

十一月。容量、最少十五立方糎最多百十七立方糎平均五十一立方糎ニシテ概シテ多量ナリ。種類、主トシテ硅藻類夜光虫ニシテ殊ニ上旬ニ於テハ硅藻類ノこつしのですくす最モ多ク中旬及下旬ニ於テハ夜光虫最モ多量ナリ、此ノ外橈脚類、葉脚類、有尾類、環筋類等モ亦少ナカラズ。

十二月。容量、最少五立方糎最多七十一立方糎平均二十七立方糎六ニシテ一般ニ浮量稍々少ナシ。種類、最モ顯著ナルモノハ硅藻類ニシテ殊ニ其こつしのですくす、りぞそれにあ、きーとせらす

、ゆーかんびあ、すてはのひきしす、ヲ以テ最多トシ之ニ亞グハ夜光虫及橈脚類ニシテ其他尾有類、管水母類、毛顎類、環筋類等又少ナカラズ。

八、定時三回觀測表

月	日	氣		水		比		重		浮	
		日出	午後二時	日出	午後二時	日出	午後二時	日出	午後二時	日出	午後二時
一	二日	八、〇	九、五	九、六	一三、七	一四、三	一、〇、四七〇	一、〇、四六八	一、〇、四九八	立仙	立仙
	十一日	八、〇	九、〇	九、〇	一四、一	一四、八	一、〇、四九七	一、〇、五一〇	一、〇、五〇四	一、七、〇	一、七、〇
	廿一日	九、〇	一〇、五	一〇、五	一三、八	一三、八	一、〇、四九二	一、〇、四八六	一、〇、四八六	三、〇	二、七、〇
二	二日	六、〇	一〇、五	九、五	一三、七	一三、〇	一、〇、四九〇	一、〇、四八八	一、〇、四八五	一、〇、〇	一、〇、〇
	十三日	七、五	八、〇	八、〇	一三、九	一三、九	一、〇、四九〇	一、〇、四九〇	一、〇、四九七	四、〇、〇	五、〇、〇
	廿一日	九、七	一三、二	一三、二	一三、七	一三、七	一、〇、四九五	一、〇、四九五	一、〇、五一二	一、六、九、〇	一、六、九、〇
三	二日	五、五	七、五	七、五	一三、五	一三、〇	一、〇、四九二	一、〇、四九二	一、〇、四八五	一、七、六、〇	一、六、八、〇
	十一日	六、七	九、二	六、八	一三、七	一三、六	一、〇、四九九	一、〇、四九九	一、〇、四九四	四、八、〇	二、五、〇
	二十日	一〇、〇	一五、六	一五、六	一三、八	一三、七	一、〇、五〇〇	一、〇、五〇〇	一、〇、五四七	六、八、〇	五、四、〇
平均	七、四	一〇、八	一〇、八	一三、九	一三、八	一、〇、五〇〇	一、〇、五〇〇	一、〇、五三九	九、七、〇	八、二、〇	

月 十 一				月 十				月 九				月 八			
平	均	廿	一	平	均	廿	一	平	均	廿	一	平	均	廿	一
均	日	日	日	均	日	日	日	均	日	日	日	均	日	日	日
一四、七	一三、〇	一五、五	一五、六	二〇、一	一八、四	一九、二	三三、八	三三、一	三三、〇	三三、三	三三、九	二四、七	二五、二	二六、三	三三、六
一六、三	一三、五	一九、〇	一六、三	三三、〇	二九、六	三三、三	三四、〇	三三、七	三三、〇	三三、五	二四、七	二五、九	二五、〇	二六、〇	二四、三
一四、八	一一、四	一八、〇	一五、〇	二〇、五	一七、六	二〇、五	二二、五	三三、二	一九、八	三三、一	二二、八	二五、〇	二六、三	二五、五	二二、一
一九、九	一九、九	一九、七	二〇、〇	三三、三	三三、三	三三、三	三三、三	二四、一	三三、五	三三、九	二四、九	二四、四	二六、四	二四、二	二二、五
一六、三	一八、九	一九、九	二〇、二	三三、五	三三、五	三三、五	二二、六	二四、二	三三、六	三三、〇	二五、〇	二四、五	二六、五	二四、四	二二、〇
一九、六	一八、八	一九、九	二〇、二	三三、四	三三、五	三三、一	二二、五	二四、九	三三、五	三三、四	二四、七	二四、八	二六、七	二五、三	二二、五
四六、六	四六、三	四七、三	四七、三	五二、〇	四八、四	五二、五	五三、三	四九、七	四九、一	五三、三	四七、八	四九、〇	五二、五	五二、〇	四九、〇
四七、七	四六、八	四七、〇	五〇、四	五二、〇	四九、二	五二、〇	五三、六	四七、五	四八、三	四九、九	四九、三	五二、四	五二、九	五二、三	五三、一
四八、一	四六、九	四六、〇	五一、四	五三、三	五三、三	五三、三	五三、三	四八、五	四七、七	四九、九	五〇、〇	五〇、八	五〇、四	五二、七	五〇、三
四一、〇	二八、〇	六〇、〇	三〇、〇	三五、〇	三七、〇	四一、〇	八、〇	三三、〇	三三、〇	三三、〇	一八、〇	四六、〇	一五、〇	九六、〇	二六、〇
三三、〇	一五、〇	二四、〇	二六、〇	一四、〇	一一、〇	三三、〇	一〇、〇	二二、〇	二〇、〇	九、〇	六、〇	二八、〇	一〇、〇	五七、〇	一六、〇
四八、〇	八九、〇	三六、〇	一八、〇	三三、〇	四三、〇	三七、〇	三三、〇	二〇、〇	三三、〇	三六、〇	四、〇	三三、〇	二八、〇	二八、〇	六、〇

月 七				月 六				月 五				月 四			
平	均	廿	一	平	均	廿	一	平	均	廿	一	平	均	廿	一
均	日	日	日	均	日	日	日	均	日	日	日	均	日	日	日
二二、四	二二、七	一九、九	二〇、七	一九、八	二〇、六	二〇、七	一八、〇	一五、七	一九、〇	一三、〇	一五、〇	一四、九	一五、一	一六、〇	一三、七
二二、五	二二、四	二二、三	二二、八	二二、三	二二、〇	二二、〇	二二、九	一八、二	二二、一	一七、六	一四、八	一七、二	一五、〇	一九、五	一七、〇
二二、〇	二二、〇	二〇、九	二二、〇	二〇、九	二〇、一	二〇、五	二二、〇	一六、六	一七、四	一七、二	一五、二	一四、五	一四、一	一五、五	一四、〇
二二、二	二二、八	二二、六	二二、二	一九、四	二〇、一	一九、〇	一九、一	一六、六	一七、五	一六、七	一五、七	一四、四	一五、三	一三、九	一三、九
二二、八	二二、三	二二、〇	二二、〇	二〇、二	二〇、八	一九、五	二〇、二	一七、二	一八、五	一七、二	一五、八	一四、五	一四、九	一四、五	一四、二
二二、五	二二、六	二二、六	二二、八	一九、八	二〇、四	一九、六	一九、三	一七、〇	一八、〇	一七、二	一五、九	一四、五	一五、二	一四、二	一四、〇
五二、五	五二、三	五二、六	五二、六	五二、五	五二、一	五二、八	五二、七	五二、四	五〇、七	五〇、七	四八、七	五二、八	五〇、七	五三、四	一、〇、三、五、四、三
五二、五	五二、六	四九、六	五二、四	五二、五	五二、九	五二、三	四七、〇	五〇、三	五五、八	五〇、九	四八、二	五三、三	五二、八	五三、五	一、〇、三、五、四、四
五二、八	五二、三	五〇、八	五二、三	五二、四	五二、五	五二、三	五二、〇	四九、二	四九、四	五三、三	四八、一	五二、八	五二、九	五二、七	一、〇、三、五、四、九
三八、〇	七九、〇	一一、〇	二二、〇	一四、〇	一五、〇	二二、〇	七、〇	五〇、〇	五二、〇	五〇、〇	四三、〇	六七、〇	二五、〇	九三、〇	八三、〇
一八、〇	二、〇	一七、〇	一八、〇	六、〇	六、〇	一〇、〇	一八、〇	七八、〇	五六、〇	二〇、〇	七、〇	五八、〇	二六、〇	九七、〇	五二、〇
一七、〇	二二、〇	三、〇	二六、〇	五、〇	八、〇	四、〇	三二、〇	六〇、〇	四三、〇	二七、〇	一一、〇	四八、〇	二九、〇	八〇、〇	三、〇

月 二 十							月 一 十										
卅	廿	廿	廿	十	十	八	五	二	廿	廿	廿	十	十	十	七	四	一
一	七	四	一	八	四	一			八	五	二	九	六	三			
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
薄	稍	全	薄	稍	全	薄	全	全	全	薄	全	薄	稍	薄	全	全	全
全	稍								全	全	薄	全	薄	稍		全	稍
全	全	全	薄	全	全	薄	全	全	全	全	全	薄	全	全	全	全	稍
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三、八	四、四	四、八	四、五	三、五	一、五	一、八	一、六	一、七	一、八	一、八	一、八	一、九	一、九	一、九	一、九	一、九	二、〇
五	五	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	五	四	五
八	二	一	一	一	一	一	一	一	二	九	八	八	四	五	一	四	四
七	〇	〇	九	五	一	一	八	〇	一	一	一	〇	一	一	一	一	七
二	一	五	二	一	七	二	三	六	六	四	一	五	六	二	四	七	二
三、〇	八、〇	五、〇	四、〇	五、〇	一、〇	七、〇	二、六、〇	三、六、〇	〇、〇	六、〇	五、〇	六、〇	二、六、〇	二、四、〇	七、六、〇	一、七、〇	二、六、〇

月 十							月 九											
三	廿	廿	廿	十	十	八	五	一	三	廿	廿	廿	十	十	八	五	一	
十	七	四	一	九	四	一			十	七	四	一	七	四	一			
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	
全	稍	全	全	薄	全	全	全	全	全	全	全	全	全	稍	全	全	薄	
稍	薄								全	全	全	薄					薄	
全	全	全	薄	全	全	全	全	稍	全	全	全	薄	全	全	全	全	薄	
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
〇、二	〇、六	二、〇	二、五	二、九	二、四	二、五	二、四	二、六	二、三、八	二、三、二	二、三、五	二、三、六	二、三、八	二、三、九	二、四、〇	二、四、五	二、三、八	二、五、〇
五	四	五	四	五	五	五	五	五	五	五	四	四	五	四	四	五	五	四
一	九	〇	九	二	七	〇	二	三	一	〇	九	八	〇	一	四	一	二	三
九	六	四	三	一	一	〇	八	〇	一	四	一	一	一	一	一	一	一	一
五	二	三	一	二	三	二	四	一	九	一	一	二	二	二	二	九	一	一
〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇

前表ニ依リ各魚類別ニ之ヲ觀ルニ概ネ左ノ如シ

イ、鯛

鯛ノ群況ハ延繩、一本釣及地漕網漁業ニ依テ調査セリ延繩ノ漁場ハ大島沖合ヨリ遠ク沖ノ島、小呂ノ島近海ニ亘ルヲ以テ一、二月天候險惡ナル時期ニ於テハ出漁困難ニシテ之ヲ詳ニスルコト能ハサルモ其他ハ殆ンド周年從業スルヲ以テ之ヲ察知スルヲ得、一本釣ハ主トシテ大島近岸ニ於テ行ハレ九、十、十一月ヲ以テ其盛漁期トシ、地漕網ハ大島ノ東及南西岸ニ出漁投網スルモノニシテ盛漁期ハ七、八月ナリ依是觀是鯛群去來ノ狀況ハ大体之ヲ三期ニ分ツコトヲ得其第一期ハ五月ヲ中心トシテ晩春ニ群來シ、第二期ハ八月ヲ中心トスル夏期、第三期ハ十一月ヲ中心トシ晩秋ニ群來スルモノ是レナリ、而シテ一、二、三月ニ於テハ沿岸ニ來游フルモノ極メテ稀ナリトス。第一期ハ四月末暖氣ノ加ハルニ從ヒ漸次沿岸ニ入込ミ五月中ハ常ニ魚群極メテ濃厚ニシテ六月中旬ヨリ少シク減少シ初夏七月ニ至リテ稀薄トナル、而シテ此期間ヲ前年ノ事實ニ比スルキハ魚群遙ニ濃密ナリキ、此時海洋ノ状態ヲ觀ルニ四月中旬即チ入込ミノ初期ニ於テハ水温十五度内外比重一、〇二四五一内外ヲ示シ五月最濃期ニ至レバ水温ハ漸次上昇シ十七度ヨリ二十度内外比重一、〇二四八〇ヨリ一、〇二五〇〇ヲ示セリ、而後水温及比重ノ上昇スルニ從ヒ魚群次第ニ減少シテ極メテ稀薄トナレリ。第二期ニ於ケル濃厚期ハ八月下旬、旬日ニ過ギズシテ直チニ散去セルガ其間水温二十五度内外比重

一、〇二五〇〇ヨリ一、〇二五五〇ヲ一セリ、而後水温漸次下降シテ魚群稍々稀薄トナレリ、斯クテ第三期即チ十一月上旬ヨリ更ニ盛ニ沿岸ニ入り込ミ全月中旬ニ於テハ濃厚ノ極ニ達シ其後下旬ニ至リ一時大ニ稀薄トナリシモ數日ニシテ再ビ大群ヲ成シテ來游シ十二月上旬マデハ魚群極メテ濃厚ナリ此等濃厚期ニ於テハ水温二十度ヨリ十六度比重一、〇二四五〇ヨリ一、〇二五一〇ヲ示セリ、而シテ之レヨリ水温ノ激降スルニ伴ヒ鯛ハ殆ンド全ク沿岸ヲ去ルモノ、如シ要之ニ鯛ハ水温十六、七度ヨリ二十度比重一、〇二四五〇ヨリ一、〇二五五〇内外ノ候ニ於テ最モ濃厚ニ沿岸ニ群來スルモノナルヲ知レリ

ロ、鰻

調査地ニ於ケル鰻漁業ノ主要ナルモノハ春期ノ地曳網、房丈網、冬期ノ刺網ナルガ其他大敷網及隣島相ノ島ニ揚繰網アリテ春期ヨリ晩秋ニ至ルマデ隨時從業スルヲ以テ之ニ依リ魚群ノ狀況ヲ觀フコトヲ得。鰻ハ殆ンド全年ヲ通ジテ沿岸ニ出沒スレモ其群狀ヲ精査スルニ略々之ヲ三期ニ分チテ考フルヲ便ナリトス、其第一期ハ前年十二月最末ヨリ引繼キ一、二、三月ニ第二期ハ五月下旬ヨリ七月中旬ニ亘ルモノニシテ第三期ハ八月下旬ヨリ十一月末ニ亘ルモノナリ、而シテ第一期ニ群來スルモノハ冬期彼刺網ニシテ盛ニ漁獲セラル、大羽鰻ニシテ先年末ヨリ來游シ初メ一月上、中旬ハ魚群稍々濃厚ナリシモ漸次減少シテ一月下旬ヨリ二月下旬マデハ極テ稀薄ナリキ、更ニ三月初旬ヨリ再ビ

急ニ増加シ四月中旬マデハ其間多少ノ變化アリシモ一般ニ魚群極メテ濃厚ナリ、而シテ四月中旬後ニ至リ全ク沿岸ヲ去リテ其影ヲ止メズ。此間海洋ノ状態ヲ觀ルニ水温ハ一月上旬ヨリ四月上旬マデハ十二度ヨリ十五度ノ間ニアレドモ多クハ十三―四度ヲ示シ、比重ハ大ナル變化ナク一、〇二四八〇ヨリ一、〇二五五〇ヲ示シ、浮ハ一月ニ於テハ其量多カラザレドモ三、四月濃厚期ニ於テハ極メテ多量ニシテ百四、五十立仙ヨリ二百五十立仙ヲ示セリ、其種類ハ主トシテ硅藻類ノキートセラズ、ステハノヒキシス、リゾソレニア、コツシノデスクス、ユーカンビア、及橈脚類ノモノニシテ、此時鰻ヲ捕リテ胃腸含有物ヲ檢スルニ悉ク之レ等ヲ以テ充サル、ヲ見ル。第二期ノモノハ晩春ヨリ初夏ノ候ニ於テ地曳網、房丈網及大敷網ニ於テ盛ニ漁獲セラル、仔鰻ニシテ、之等ハ五月下旬水温十八度餘ニ至リテ頓ニ濃群ヲ成シテ來游シ其ヨリ水温二十四度ニ上昇スル頃マデ時々多少ノ變化アレドモ概シテ魚群濃厚ニシテ尙水温ノ昇ルニ從テ一時全ク散亂セリ、其間比重ハ變化ニ富ミ且ツ比較的高度ヲ示シ一、〇二四七〇ヨリ一、〇二六〇〇ヲ上下セリ、浮游生物ノ量ハ五〇、立仙内外ヲ示シ左マデ多キニアラザリシト只六月上旬及ビ七月ニ於テハ頗ル饒生スルヲ見タリ之レガ種類ハ主トシテ橈脚類、葉脚類、放散虫類及硅藻類等ニシテ此時魚腹ハ殆ンド之ヲ以テ充サレ之等浮游生物ノ饒生ガ明ニ魚群ノ來游ヲ誘致セルヲ想ハシム。第三期ノモノハ盛夏ヨリ晩秋ニ亘リ揚繰網又ハ大敷網ニ漁獲セラル、中羽鰻ニシテ其出沒來極メテ謀リ難キモノナリ、即チ仔鰻トシテ七月中旬頃

マデ沿岸ニ群來セルモノ而後全ク散亂シテ其影ヲ没シ、其ノ後八月中旬ニ至リテ所謂中羽鰻トナリ大群ヲ成シテ沿岸ニ來游スレドモ之ノ盛夏ニ來ルモノハ概シテ逃ゲ足早ク忽チニシテ稀薄トナリ八月中旬ニ至リテ全ク散亂セリ、斯クテ九月下旬數日間再ビ濃群ヲ成シテ廻游シ來リシモ漸時ニシテ稀薄トナリ十月上旬全ク散ズ、而シテ其後二十日間餘全ク魚群ノ來游ヲ見ズ更ニ十月末ニ至リ薄群廻游シ十一月ニ入りテ稍々濃厚トナリタレドモ總ジテ魚群疎ニシテ同月末ヨリ大ニ減少シ遂ニ全ク散去シタリ、然ルニ八月群來期ニ於テ水温二十四度ヨリ二十七度比重一、〇二四八〇ヨリ一、〇二五四〇ノ間ヲ上下シ、浮游生物量ハ濃厚時ニ於テハ五〇、立仙内外ヲ稀薄期ニ於テハ大ニ減少シテ五、立仙内外ヲ示セリ而シテ其ノ種類ハ主トシテ硅藻類及橈脚類等ナリ、九月濃厚期ニ於テハ水温二十三度比重一、〇二四八〇ヨリ一、〇二五五〇ノ間ニアリ浮游生物ハ大ニ少ナクシテ二十立仙内外ニ過ギズ、種類モ亦殆ンド硅藻類及葉脚類ノミナリキ、又十一月來游期ニアリテハ水温二十三度ヨリ二十五度ノ間ニアリ概シテ變化少ナク比重ハ概ネ低クシテ一、〇二三九〇ヨリ一、〇二五一〇ヲ示シ浮量ハ大ニ増加シテ常ニ五―六十立仙ヨリ百立仙以上ニ及ビ其種類ハ主トシテ橈脚類及鞭毛類等ナリ。要スルニ第一期ニ來ル大羽鰻ハ十二月末水温十三―四度ノ候ニ至レバ生殖腺八、九部通リ成熟シテ産卵ノ爲メ沿岸ニ群來シ四月上旬ニ至リ全ク放卵シテ散去ス此間ニ於テ水温及比重ノ變動ハ少ナクシテ之ニ依リテ魚群ノ去來ヲ左右スルモノアルヲ認メ難シト雖モ彼三、四月ニ至リテ

極メテ濃厚ニ群來スルモノハ當時盛シニ饒生スル硅藻類ヲ追フテ來游スルヲ明カナリ。第二期ニ於ケル仔鰻ハ晩春ヨリ初夏ニ亘リ水温十七度ヨリ二十三―四度ノ候ニ來游スルモノナルガ就中氣温、水温共ニ稍々高度ヲ示シ大氣靜平温濕ニシテ波浪納マリ海中ニ橈脚類、葉脚類等ノ浮游生物饒多ニ發生スル時ハ海面ニ浮上シテ群來密集スルヲ常トス。第三期ノモノ即中羽鰻ノ來游期ハ八月ヨリ十一月ニ亘ルヲ以テ水温ハ二十三度ヨリ二十七度ノ間ヲ上下シ、比重一、〇二三九〇ヨリ一、〇二五五〇、浮量ハ五立仙ヨリ百立仙ノ間ニアリ其種類ハ主トシテ硅藻、橈脚、葉脚類等ニシテ此間魚群ノ去來ト海洋状態トノ關係ヲ明ニスルヲ困難ナルモノアリト雖モ八月群來期ニ於テハ硅藻類及橈脚類饒生シ九月群來期ニ於テハ硅藻類稍々多ク、十一月廻游期ニ於テハ橈脚類夥シク發生シ之等ノ増生ガ鰻ノ群來ヲ招致シタルヲ明カナリ、

ハ、鱒

鱒ノ漁具ハ初夏ヨリ初秋ニ亘ル一本釣ノミナルガ仔鱒ハ春期ニ於ケル敷網ニ盛ニ混獲セラル初メ三月下旬水温十三度内外ノ頃一時稍々濃厚ニ群來シタレモ直チニ散亂シ、更ニ五月中旬ニ至リ再ビ濃群ヲ成シテ來游シ六月中旬マデハ魚群稍々濃厚ナリシモ之レヨリ漸次減退シテ七月中常ニ稀薄ナリキ而シテ八月中旬又一時稍々増加シタレドモ概シテ群薄スク同月末ニ至リテ全ク散亂シタリ、此間海洋ノ状態ヲ見ルニ水温ハ十八―九度内外ニアリ比重ハ變化ニ富ミ一、〇二四七〇ヨリ一、〇二五

七〇ヲ上下ス、而シテ八月末後暫時魚群ノ出現ヲ見ザリシモ九月末ニ至リテ水温十八度内外トナルヤ再ビ濃厚ナル群ヲ成シテ來游シ而後數日ニシテ全ク散去シタリ、

ニ、柔魚

調査地ニ於テハ柔魚漁業ハ只一本釣漁業アルノミナリ。五月初旬水温十八度ニ至リテ初メテ來游シ八月下旬水温二十四度ノ頃全ク散去セシガ其間五月初メヨリ六月上旬マデハ群濃厚ニシテ以後漸次遞減シ八月上旬末マデハ概シテ群疎薄ナリキ然ルニ八月中旬初ニ至リテ更ニ稍々濃厚トナリ同月下旬ヨリ再ビ急ニ減少散去シタリ然ルニ之間五月及六月上旬ニ於ケル濃厚期ニ於テ水温ハ十八度ヨリ二十度ノ間ニアリ比重ハ稍々變化甚ク一、〇二四五〇ヨリ一、〇二五七〇ヲ昇降ス、又八月稍々濃厚期ニ於テハ水温ハ二十四度内外ヲ示シ、其ヨリ水温ノ上昇スルニ從ヒテ全ク散去シタリ。而シテ柔魚ハ前年ニ於テハ五月下旬水温十九度ノ候ヨリ初メテ沿岸ニ浮游シ來リ七月中旬末水温二十四度ニ至リテ散亂シ本年ハ之ニ比シ略々十日餘早く出現シ一ヶ月晚ク散去シタルモ二年共ニ其水温ハ十八―九度ノ候ニ來リ二十四度ニ至リテ散亂スルヲ見タリ。之依テ玄海沿岸ニ於テハ柔魚ハ水温十八―九度ニ昇リテ群來シ二十四度ニ至リ散去スルモノナル事ヲ知レリ

ホ、玉筋魚

玉筋魚ハ三月末水温十三度ノ頃ヨリ初メテ沿岸ニ現ハレ六月中旬水温十九度内外ニ至リテ全ク散亂

シタリ、而シテ三月ヨリ四月中旬マデハ魚群稍々濃厚ナリシモ而後漸次減少シテ四月下旬ヨリ六月散去期ニ至ルマデ常ニ魚群稀薄ナリキ、今此間ニ於ケル海洋ノ状態ヲ窺フニ三、四月濃厚期ニ於テハ水温ハ十三度内外比重ハ概シテ高ク一、〇二五〇ヨリ一、〇二五六〇ヲ示シ浮游生物ハ極メテ多ク常ニ百立仙内外ニアリ其種類ハ主トシテ硅藻類ノモノニシテ就中キートセラス、コツシノデクス、ユーカンピア、ステハノヒキシス等最モ多ク、此ノ時魚腹ヲ檢スルニ全ク之等ノモノニヨリテ充満セラレ其出現ガ魚群ノ來游ヲ誘致セルヲ思ハシム五、六月稀薄期ニアリテハ水温ハ十五度ヨリ二十度比重ハ稍々變化多ク一、〇二四五〇ヨリ一、〇二五五〇ヲ示スヲ見タリ。而シテ玉筋魚ノ出現期ハ本年ハ前年ニ比シ略々一ヶ月晩カリシモ散亂期ハ兩者同様ニシテ六月上旬ナリ、又其水温ニアリテハ二年共ニ出現期ハ十三度、散去期ハ廿度内外ヲ示シテ全ク同様ナリ。要之ニ玉筋魚ハ水温十二、三度ノ頃ニ現ハレ二十度ニ至リテ去ルヲ知ル而シテ其ノ群來ヲ招致スルモノハ當時盛ニ出現スル餌的硅藻類ノ饒生ニアルモノ、如シ、

へ、鱒 (はまちヲ含ム)

鱒ノ徊游ハ之ヲ二期ニ分カツ事ヲ得ベク其第一期ハ一月ヨリ六月ニ第二期ハ十月ヨリ十二月ニ亘ルモノニシテ其冬期ヨリ晩春ニ於ケルモノハ主トシテ曲建網ニ依リテ漁獲セラレ、極寒期ニ於ケルモノハ延繩曳繩及曲建網ニ依リテ漁獲セラレ、モノナリ、而シテ第一期ニ來ルモノハ一月末ヨリ三月ニ至ルマデ薄群ヲ成シテ沿岸ニ出沒シ四月ニ於テハ全ク群影ヲ認メズ更ニ五月ニ至リテ再ビ薄群ヲ成シテ沿岸ニ出現ス、此間水温比重ノ狀況ヲ觀ルニ一月ヨリ三月ニ亘ル來游期ニ於テハ水温十二度ヨリ十四度比重一、〇二四八〇ヨリ一、〇二五五〇ヲ示シ五月來游期ニ於テハ水温ハ十六度ヨリ十九度ヲ比重ハ一、〇二四七〇ヨリ一、〇二五五〇ヲ示セリ、而後六月上旬末ヨリ七、八、九月ニ於テハ全ク沿岸ニ近ヅクヲ見ズ。第二期ノモノハ十月中旬ニ至リテ稍々濃群ヲ成シテ來游シ十月末ヨリ十二月中旬マデハ概シテ魚群濃厚ナリシモ全月中旬ヨリ漸次減少シテ下旬ニ至ルマデ稀薄ナリ、此間水温ハ十月ニ於テ二十二度十二月ニ於テ十三度内外ヲ示シ比重ハ概シテ低ク一、〇二四四〇ヨリ一、〇二五三〇ヲ示セリ、今此等ノ關係ヲ更ニ明白ナラシメン爲メ之ヲ摘示スル事左ノ如シ

群況	期	節	水	温	比	重
稀薄	自一月下旬迄三月上旬		十二度	十四度	一、〇二四八〇	一、〇二五五〇
稍々濃厚	三月中		十三度	十四度	一、〇二五二〇	一、〇二五五〇
稀薄	五月中		十六度	十九度	一、〇二四七〇	一、〇二五五〇
稍々濃厚	自十月中旬迄十一月下旬		廿二度	十五度	一、〇二四七〇	一、〇二五三〇
稀薄	十一月中旬		十八度	十九度	一、〇二四六〇	一、〇二四八〇
濃厚	自十一月下旬迄十二月中旬		十八度	十四度	一、〇二三九〇	一、〇二五〇〇
稀薄	十二月下旬		十三度	十四度	一、〇二四五〇	一、〇二五四〇

而シテ三月又ハ十一月ニ於ケル濃厚期及一、二、五月來游期ニ於テハ鱒ノ群況ハ殆ンド鱒ノ其レト相一致スルヲ見タリ。要スルニ大島沿岸ニ於テハ鱒ハ盛夏氣温又ハ水温極度ニ高温ヲ示ス頃ニ於テハ其群來ヲ見ズ、水温十二、十三度ヨリ二十度内外ノ間ニ於テ廻游シ來リ且ツ鱒群ノ沿岸ニ群來スル時ハ鱒ノ來游ヲ見ルヲ常トス、

以上述べタル關係ヲ一層明瞭ナラシメンガ爲メ圖示シテ之ヲ掲グ可シ、

摺蝦乾燥器試験

緒言

豊前海沿岸ニ多産スル赤蝦ノ漁期ガ恰モ初夏ノ雨季ニ際スルノ結果或ハ原料ノ儘又ハ半製品トシテ腐敗セシムル事少ナカラズ本場ハ前年度ヨリ之レカ救済策トシテ新案セル簡易ナル鐵板式試験ヲ行ヒ之ヲ同業者ニ貸與シテ使用セシメ曩年本場ノ試験ニ係ル連電ト相連絡シ相互兩器ノ効果ヲ愈大ナラシメント欲シ豊前箕島村及宇島町ノ二ヶ所ニ設置セントセシモ前年度ハ經費ノ都合ト豊前水産組合ノ希望トニ依リ之ヲ箕島村一ヶ所ニ設置シ少ナカラズ効果ヲ收メシカバ本年度ハ更ニ之レヲ宇島町ニ設置試験シ前年度ニ於テ大ニ改良ス可キ点ヲ發見セルニ依リ銳意改善ニ勉メ以テ之レガ完成ヲ期セリ

工事日誌

- 五月二十五日 水繩張、地形工事、乾燥機外枠木材切込ニ従事ス
- 五月二十六日 地盤堀下ゲ、コンクリート入工事、乾燥機組立ヲ行フ
- 五月二十七日 敷煉瓦ヲ入レ土臺工事ヲ行ヒ乾燥機内部取付ニ従事ス
- 五月二十八日 土臺工事、乾燥室内部取付鐵力板取付ニ従事ス

五月二十九日 鐵板取付、周圍組立、鐵力張内部取付ニ從事ス
 五月三十日 土臺周圍組立、内部取付鐵力張ニ從事ス
 五月三十一日 焚口工事、内部取付鐵力張ニ從事ス
 六月 一日 焚口及烟道工事、内箱製作鐵力張工事ニ從事ス
 六月 二日 烟突設立、烟道工事乾室据付鐵力張ニ從事ス
 六月 三日 焚場及土臺上部築造目塗外板及空氣拔取付ニ從事ス
 六月 四日 自然乾燥ヲ行フ
 六月 五日 自然乾燥ヲ行フ

機ノ構造

本乾燥機ノ構造ハ先ツ地ヲ穿チテ地形ヲ行ヒ之レニ割栗石ヲ入レ次ニコンクリートヲ入レ敷煉瓦ヲ施コシ煉瓦積ヲ行ヒ之レニ鐵板ヲ敷キ込ミ其上部ニ再ビ煉瓦積ヲ行ヒ鐵板以下ヲ火炎ノ通過路トシ鐵板上ヲ熱氣室トセリ而シテ其ノ上ニ木製乾燥室ヲ据エ一方ノ焚口ヨリ焚キタル火烟ハ鐵板下ヲ通過シテ他方ノ烟突ニ出ヅ此際火道ヲ通過スル火烟ハ上部ノ鐵板ヲ熱シ熱セラレタル鐵板ハ熱氣室ノ空氣ヲ熱シ熱セラレタル空氣ハ乾室ノ一側ヨリ入りテ各乾梓ヲ入レタル棚ヲ通過シテ他側ノ熱氣排出孔ヨリ排出管ヲ通過シテ連絡セラレタル烟突ニ出ヅ而シテ乾燥室ハ間口五尺奥行六尺高サ六尺ニシテ挿入梓數三十枚一梓ノ容量ハ蝦三舛乃至六舛トス本機ハ特ニ熱鐵板ノ下火道ノ中途ニ空氣送入管ヲ具ヘ自然送氣ニヨリ一度烟化セントスル火焰ヲ再ビ盛ナル火焰ナラシメ鐵板ヲ平均ニ熱セシムル様セルト又熱鐵板ノ上部ニ冷氣送入孔ヲ設ケ適宜ニ開閉シテ乾室内ノ溫度ノ調節ヲ計ルト共ニ熱氣交換ヲ迅速ナラシメ得タルト、梓ノ配列ヲ斜面ナラシメ以テ熱氣分配板ヲ用ヒズシテ熱氣ヲ平均ニ分配セシメ之レニ挿梓シテ間隙利用ノ途ヲ講シタルトニアリ

機ノ築造費

本機ハ部分購入ノ法ニヨリ直營ヲ以テ之ヲ行ヘルモノニシテ之レニ使用セル材料費人夫賃等ヲ通算スレバ左ノ如シ

記

品名	數量	單價	金額
杉 四寸角二間物	拾本	一、〇八〇	一〇、八〇〇
杉 六分板	五坪	二、五〇〇	一二、五〇〇
杉 八分板	參坪	二、七五〇	八、二五〇
貫 拾五丁	參坪	二、五〇〇	三、七五〇
子 參坪	參坪	四、一〇〇	一二、三〇〇

鐵板	一枚	一三、二〇〇	一三、二〇〇
煙突	一本	一九、六〇〇	一九、六〇〇
三分ボルト	六十本	〇、三五〇	二、一〇〇
金網	九十尺	二、〇〇〇	一八、〇〇〇
生子	二十枚	九〇〇	二〇、七〇〇
ロストル	九本	三〇〇	二、七〇〇
ロストル	二本	二五〇	二、五〇〇
焚口	一個	九〇〇	九〇〇
焚口	一個	五〇〇	五〇〇
蝶番	七十二枚	〇、三五〇	二、五二〇
アフリ止	四十個	〇、二〇〇	八〇〇
引角	三十四個	〇、一五〇	五、一〇〇
鐵管	三本	一、三〇〇	三、九〇〇
十番	三本	一、六〇〇	四、八〇〇
硝子	一貫五百匁	〇、五五〇	八、二五〇
煉瓦	三千五百枚	一、〇〇〇	三、三〇〇
セメント	四斗	七〇〇	二、八〇〇
石灰	十七俵	一八〇	三、〇六〇

バ	四十荷	〇、二五	一、〇〇〇
砂	四十荷	〇、二五	一、〇〇〇
釘	參貫匁	七〇〇	二、一〇〇
錫	百匁	九〇〇	九〇〇
大工	六十三人	九〇〇	五六、七〇〇
左官	十四人	九〇〇	一二、六〇〇
鉢力	十人	九〇〇	九、〇〇〇
左官	十四人	六〇〇	八、四〇〇
運搬	計	六〇〇	七、〇三〇
合	計	二七五	二七五、五三五

機ノ特長

本機ノ特長ト稱ス可キ諸点ヲ列記スレバ左ノ如シ

- 一、ロユトル面ヲ細長トシ以テ石炭ノ燃燒ヲ完全ナラシメシ事
- 一、火道ヲ屈曲セシメ以テ其通過路ヲ長カラシメ被熱面積ヲ大ニ且ツ其被熱ヲ可及的平均ナラシメシ事
- 一、鐵管ヲ焚口下面ヨリ烟道中央ニ導キテ開孔セシメ自然通風ニヨリテ烟道ニ空氣ヲ送り烟化セントスル焰ヲ再度盛ニ焰化セシムル裝置ヲナセリ

- 一、熱鐵板上ニ砂ヲ適度ニ盛リテ砂浴トナシ被熱ノ不平均ヲ防キテ均一ナラシメ又其赤熱ニヨリテ來ス可キ火災ノ恐ヲナクシ且ツ蓄熱量ヲ大ナラシメタリ
- 一、乾室内部ヲトタン板張トシ其トタン板張ト外部木材トノ間ニ一寸ノ保温空間ヲ作り熱氣ノ逃逸ヲ防クト共ニ蓄熱及放射ノ面ヲ多カラシメ特ニ所要ノ部分ニハ浪形トタン板ヲ使用シ放射蓄熱面積ヲ擴大ナラシメシコト
- 一、鐵板上部ノ煉瓦積ニ五ヶ所ノ冷氣送入孔ヲ作り之レヲ開閉調節シテ冷氣ヲ適度ニ送入シ別項ノ排氣管ト相俟ツテ熱氣ノ交換及ビ排氣ヲ迅速完全ナラシメシ事
- 一、乾枳棚ノ配置ヲ斜面ナラシメ且其ノ間隔ヲ適度ニ大小ナラシメ熱氣分配板ヲ使用セズシテ熱氣ヲ適當ニ分配スルヲ得ベキ事且同時ニ乾枳容量ヲ大ナラシメシ事
- 一、排氣管ヲ烟突ニ連結セシメ烟ノ自然通風力ヲ利用シ含濕熱氣ノ排出ヲ迅速完全ナラシメタル事且ツ排氣管ニ調節板ヲ附シテ其熱氣ノ無益ニ逃失スルヲ防キ適度ニ調節スル事ヲ得シメシ事
- 一、乾枳取出口ヲ可及的小ナラシメ熱氣ノ逃失ヲ防キシ事
- 一、戸扉ヲ逆ニ附シ以テ乾枳取入ヲ便ナラシメシ事
- 一、乾枳ヲ金網張トシ熱氣ノ通過ヲ便ニシ且ツ放熱ノ便ヲ計リシ事

機ノ使用法

本機ヲ使用セントセバ先ヅ最初ニ排氣管ノ調節板冷氣送入孔及各扉ヲ密閉シ烟道ダンパー及ビ煙道送氣管ヲ全開シテ点火シ室温ヲ華氏百四十度内外ニ上昇セシメ以テ原料ヲ收容シ後排氣管調節板及送氣孔ヲ適度ニ開放スル時ハ一時室温下降スルガ故熱度ノ上昇ヲ計ルガ爲焚火量ヲ増加ス而シテ溫度適當ナルニ至レバ爾後ハ只室温ノ下降セサル様時々續炭ヲ行フニ止メ室温餘リニ上昇又ハ下降セル時ハ煙道送氣管排氣管ノ調節板及ビ冷氣送入孔ヲ適度ニ開閉シ以テ室温ヲ調節ス又室内ノ含濕氣ノ排出迅速ヲ欠ク時ハ冷氣送入孔ヲ適度ニ開閉シテ之レヲ促スモノトス而シテ機ノ使用ヲ終ラントスル際ニハ先ヅ炭ヲ止メ烟道送氣孔ヲ密閉シ而後全部ノ戸扉及調節板ヲ全開シテ室温ノ冷却ヲ計リ以テ火災ノ危険ヲナカラシム若シ深夜終業シ翌早朝ヨリ使用セントセバ炭ヲ落サズ各戸扉調節板ヲ密閉シテ室温ノ下降ヲ防ギ以テ翌朝使用ノ際ニ於ケル昇温ニ便スルヲ可トス

試驗日誌

十月十四日 午前中ニ小破修繕ヲ完了シ午後零時四十五分ヨリ焚火ヲ行ヒ第一回乾燥試驗ヲ行ヒ午後六時止火ヲ行フ

十月十五日 午前七時點火ヲ行ヒ試驗ヲ施行シ午後九時四十分止火ス

十月十六日 午前四時三十分點火第三回試驗ヲ施行シ午後八時止火ス

十月十七日 午前六時點火第四回試驗ニ從事セルニ暴風雨ノ爲周圍ヨリ強冷風盛ニ吹込ミ乾室ノ右

側即チ直接海ニ面セル部分ハ圍甚ダ不完全ナル爲全ク昇温セズ遂ニ試驗ヲ中止スルノ
已ムヲ得ザルニ至リ午後一時止火シ鐵板上ニ砂ヲ盛り砂浴トシ修繕ヲ行フ

十月十八日 午前一時點火ヲ行ヒ乾燥ニ從事シ午前七時ヨリ試驗ニ從事シ午後一時半止火ヲ行ヒ不

完全ナル部分ノ修繕ヲナシ午後三時半ヨリ點火昇温試驗ヲ施行ス

試驗成績

本機ハ本年六月竣工セルモノニシテ直チニ効率試驗ニ從事セントシタレモ業務ノ都合上引續キ試驗
ヲ施行スル能ハサリシヲ以テ止ムナク漁季ニ於テ之レガ効率試驗ヲ施行セリ

第一回試驗ニ於テハ約二時間ニシテ所要温度ニ上昇スルヲ得シカバ直チニ其日水揚蒸熱セル原料ヲ
挿入シ乾燥ニ從事セリ而シテ一回一石ノ原料ヲ乾燥スルニ四十五度以上五十度以下ナレバ三十分間
ニシテ約二日ノ保存ニ堪エ得ル乾品ヲ得五十度以上ナレバ二十分前後ニテ之レト同様ノ成績ヲ得タ
リ即チ該試驗ニヨレバ適温ハ五十度以上ナルヲ知ル此日乾燥機ヲ使用スルヲ四時間此上リ石數八石
ニシテ炭量七十斤ヲ消費セリ第二回試驗ニ於テハ午前七時點火シ二時間ニテ四十五度ニ達シタルヲ
以テ原料ヲ挿入シ同シク三十分ニテ適度ニ乾燥セシムルヲ得タリ然ニ午後ニ至リ室温五十五度以
上ヲ示スニ至リシヲ以テ此温度ニテ試驗ヲ續行セルニ前同様ノ乾度ヲ與フルニハ約十五分間ニテ充

分ナルベク若シ卅分間乾燥スレバ三四日ノ保存ニ堪ユベク一時間半繼續スレバ略乾了スルヲ得而シ
テ右十五分間ノ乾燥ニ於テハ一側ノ乾梓ニ原料ヲ充填シ其際取出シタル原料ヲ莖上ニ展布シ了レバ
既ニ他側ノ原料ヲ取出スベキ時期ニ達ス斯ノ如ク左右兩側ヲ交互ニ取出シ取入レニ從事シ其間全ク
余暇ナキナリ故ニ降雨ニ際シ多量ノ原料ヲ水揚ケセル際ニ於テハ如斯ク十五分間ノ乾燥ヲ施コシ翌
日ノ晴天ヲ待ツヲ得策トス若シ又兩三日間ノ天候全ク見込無キ時ハ三十分間ノ乾燥ヲ施スヲ可トス
此日ノ焚火時間十四時間四十分ニシテ使用時間十二時間四十分ナリ此ノ上リ石數二十四石使用炭量
百二十斤ナリ

第三回使用試驗ハ午前四時半點火シ午前六時ヨリ午後八時迄使用セリ此焚火時間十五時間半使用時
間十四時間ニシテ上リ石數二十八石使用石炭百五十斤ナリ

第四回使用試驗此日ハ非常ノ暴風雨ニシテ強風全ク乾室ニ吹込ミ焚火時間三時間ニ至ルモ右側ノ風
ニ向ヘル部分ハ全ク昇温セズ僅ニ他側ノミ昇温セルヲ以テ該側ノミヲ使用セルモ其成績不良ニシテ
三十分ノ乾燥ニテ漸ク普通ノ際ニ於ケル十五分間乾燥ト同様ノ乾度ヲ得タルニ過ギズ焚火時間七時
間ニシテ八十斤ノ石炭ヲ使用シ上リ石數三十石五斗ニ止マレリ之レ全ク乾室周圍ニ完全ナル圍塀ノア
ラザリシニ起因ス

即チ各不完全ト認メシ部分ノ修繕ヲ加ヘ且ツ下部ノ熱鐵板上ニ砂ヲ適當ニ撒布シ以テ砂浴トシ鐵面

ヨリ放射スル熱ノ不均一ナルヲ防ギ且ツ該熱鐵板ノ耐久保護ヲ行ヒ尙又鐵板ノ熱ノ不均一ヨリ來ル乾室木材部ノ危險ヲ防遏セリ

第五回使用試驗午前一時ヨリ焚火ヲ行ヒ午前二時半ヨリ使用シ午前七時ヨリ試驗ニ從事セリ然ルニ前日ノ改良修繕ニヨル結果甚ダ良好ニシテ焚火ヲ充分ニ行ヒ得ルノミナラズ諸部均一ナル昇温ヲ來シ保温甚ダ良好ニシテ全試驗中ヲ通ジ好適溫度タル五十五度以上六十三度以内ノ溫度ヲ保チ得タル爲全テ十五分間ノ乾燥ニテ比較的良好ナル乾度ヲ得タリ
此焚火時間十二時間半ニシテ使用時間十一時間其間ニ三十石ノ原料ヲ處理スルヲ得タリ此ノ使用炭量百八十斤ナリ

機ノ効率

本機ヲ以テ三十分間乾燥セルモノハ能ク兩三日ノ保存ニ堪ユ故ニ二十四時間中二十時間使用シ得ルモノトシ一回一石上リトシテ計算スレバ一日四十石ヲ乾燥スル事充分ナリ
一回二十分上リトシテ只其日及其翌日ノ保存ニ堪ユル乾燥ナラシムル時ハ二十時間働キニテ六十石ノ原料ヲ處理シ得可キ理ナリ

而シテ兩者ヲ比較スレバ前者ニヨリテ處理スル事最安全ニシテ且ツ有利ナルハ明ナル事トス何レニシテモ焚火シ初メテヨリ三四時間後即チ其ノ機ノ蓄熱及放射充分ナルニ至リ其効果益々顯著ナルモノナリ

用炭量試驗

試驗回数	總焚火時間	石炭使用量
一回	六時間十五分	七十二斤
二回	十四時間四十分	百二十斤
三回	十五時間三十分	百五十斤
四回	七時間	八十五斤
五回	十二時間三十分	百八十斤
計	五十五時間五十五分	六百斤

故ニ右石炭使用量ヨリ計算スレバ二十四時間引續キ焚火スルモノトシテ其用炭量二百五十七斤余ニ當ルノ理ナレ石炭ヲ多量ニ消費スルハ寧ロ乾室ノ適温ニ昇温スル迄ノ間ニシテ而後ハ只保温繼火ヲナスニ止マルモノナルガ故ニ前記用炭量ヨリモ尙少量ノ石炭ニテ足ル可キナリ

機ノ備

本機ハ其特設鐵管ノ裝置ニヨリ烟化セントスル焰ヲ再ビ鐵板下ニ於テ火焰化セシムル特長ヲ有スルガ故熱鐵板ハ充分ニ赤熱スルヲ得レ石鐵管ノ配置分布的ナラズ一ヶ所ナリシト其數少ナカリシ爲鐵

板ハ其一部分強熱セララル、ノ缺点アリシモ熱鐵板上ニ適宜ニ細砂ヲ盛リ砂浴トナスコトニ依リテ此
 缺点ヲ補フコトヲ得タリ而シテ乾梓棚ハ之ヲ主棚補棚ノ二部ニ分テテ使用セルニ主棚ハ最下部ヨリ
 三段最上部ヨリ三段ノ乾燥最モ良好ニシテ中央ノ四段少シク乾燥遅延スルノ弊アリキ而シテ補棚ハ
 反ツテ全部全様ニ乾燥良好ナリキ

第一回乾燥機使用成績表

十月十四日

雨天

點火時 午後零時四十五分
 止火時 午後六時

時間各項	乾燥室溫度		排氣ダ ンノ 状態	冷氣送 入ノ 状態	備考
	右	左			
午後零時四十五分	二四、〇 ^c	二四、〇 ^c	閉	閉	原料 挿入
一時十五分	二七、五	二八、〇	閉	閉	
一時四十五分	三六、五	三六、五	開	開	
二時	四一、〇	四一、〇	開	開	
二時十分	四五、〇	四五、〇	全	全	
二時三十五分	五二、〇	五二、五	全	全	
二時四十五分	四九、五	四九、〇	全	全	
三時五十分	四五、〇	四五、〇	全	全	

焚火時間 六時間十五分
 石炭使用量 七十斤
 人夫 二人
 乳燥石數 八石

第二回乾燥機使用成績表

十月十五日

雨天

點火時 午前七時
 止火時 午後九時四十分

時間各項	乾燥室溫度		排氣ダ ンノ 状態	冷氣送 入ノ 状態	備考
	右	左			
午前七時	二五、〇 ^c	二五、〇 ^c	閉	閉	
七時半	二八、五	二八、五	全	全	

點火時 午前四時半
 止火時 午後八時

第三回乾燥機使用成績表

十月十六日

雨天

焚火時間 十四時四十分
 石炭使用量 百二十斤
 人夫 二人
 乾燥石數 二十四石

四時十分	六、七、〇	六、七、〇	全	全
四時十分	六、五、〇	六、五、〇	全	全
五時十分	五、三、〇	五、三、〇	全	全
六時十分	六、〇、〇	六、〇、〇	全	全
七時十分	五、五、〇	五、五、〇	全	全
七時四十分	五、三、〇	五、三、〇	全	全
八時十分	五、二、〇	五、二、〇	全	全
八時四十分	五、四、〇	五、三、〇	全	全
九時十分	五、〇、〇	五、一、〇	全	全
九時四十分	五、〇、〇	五、一、〇	全	全

八時	三六、〇	三六、〇	閉	閉
八時半	四一、五	四一、〇	開	閉
九時	四五、〇	四五、〇	全	全
九時十五分	四三、〇	四四、〇	全	全
九時四十五分	四五、〇	四五、〇	全	全
十時十五分	五一、五	五一、五	全	全
十時四十五分	五三、〇	五二、〇	全	全
十一時	五一、〇	五一、〇	全	全
十一時二十五分	六二、〇	六二、〇	全	全
十一時四十分	五二、〇	五二、〇	全	全
十二時十分	五三、〇	五二、五	全	全
十二時三十分	五二、五	五二、五	全	全
午後一時	六五、〇	六五、〇	全	全
一時二十分	五七、〇	五七、〇	全	全
二時	六三、〇	六三、〇	全	全
二時五分	六三、〇	六三、〇	全	全
三時	六三、〇	六三、〇	全	全
三時半	六五、〇	六四、〇	全	全

焚火時間
 石炭使用量
 人夫
 乾燥石數

十五時間半
 百五十斤
 二人
 二十八石

八	七	六	五	五	四	四	三	三	二	二	一	一	午後 零	十
			時		時		時		時		時		時	二
時	時	時	半	時	半	時	半	時	半	時	半	時	半	時
五五、〇	六〇、〇	六二、〇	五九、〇	五六、〇	五七、〇	五八、〇	五三、〇	五五、〇	五三、〇	五二、〇	四五、〇	五〇、〇	四九、〇	五一、〇
五五、〇	六〇、〇	六二、〇	五八、〇	五五、〇	五七、〇	五八、〇	五三、〇	五五、〇	五二、〇	五二、〇	四六、〇	五〇、〇	四九、〇	五一、〇
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

十	十	十	十	九	九	八	八	七	七	六	六	六	五	五	午前 四
時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時
半	時	半	時	半	時	半	時	半	時	半	分	時	半	時	半
五二、〇	五二、〇	五〇、〇	四九、〇	五〇、〇	五二、〇	五五、〇	五四、〇	五二、〇	五三、〇	五二、〇	四八、〇	四八、〇	四二、〇	三〇、〇	二六、〇
五二、〇	五一、〇	五〇、〇	四九、〇	五〇、〇	五二、〇	五五、〇	五四、〇	五二、〇	五三、〇	五二、〇	四八、〇	四八、〇	四二、〇	三〇、〇	二六、〇
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	開	全	全	全	閉
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	開	全	全	全	閉

第四次乾燥機使用成績表
 點火時 午前六時
 止火時 午後一時
 十月十七日

1011

時	各	間	項	乾室温度		排氣ダ ンバ ノ状態	冷氣送 入ノ 開閉	備考
				右	左			
午前六	六	時	半	二五、〇	二五、〇	閉	閉	暴風ノ爲強風全ク乾室ヲ通 過シ風ニ向ヘル右室ノ如キ ハ全ク昇温セズ只僅ニ一方 ノミヲ使用セルガ遂ニ使用 ヲ中止シテ修理ヲ行フ
七	七	時	半	二八、〇	二八、〇	全	全	
八	八	時	半	三五、〇	四五、〇	全	全	
九	九	時	半	四二、〇	四七、〇	全	全	
十	十	時	半	四四、〇	四九、〇	全	全	
十一	十一	時	半	四四、〇	五三、〇	全	全	
十二	十二	時	半	四四、〇	五五、〇	全	全	
午後零	一	時	半	四五、〇	五九、〇	全	全	
午後一	二	時	半	四三、〇	五八、〇	全	全	

焚火時間 七時間
 石炭使用量 八十斤
 人夫 二人
 乾燥石數 參石五斗

第五次乾燥機使用成績表
 十月十八日

點火時 午前一時
 止火時 午後一時半
 但午前七時ヨリ試験ニ從事ス

時	各	間	項	乾室温度		排氣ダ ンバ ノ状態	冷氣送 入ノ 開閉	備考
				右	左			
午前七	七	時	半	五三、〇	五三、〇	開	開	乾燥ハ全テ十五分上リニテ 二十分ニテ一回交替
八	八	時	半	五七、〇	五七、〇	全	全	
九	九	時	半	五六、〇	五七、〇	全	全	
十	十	時	半	五九、〇	五九、〇	全	全	
十一	十一	時	半	六二、〇	六一、〇	全	全	

1013

午後零時	十一時	十一時	十一時	十一時	十一時
一時	一時	一時	一時	一時	一時
一時	一時	一時	一時	一時	一時
六三、〇	五九、〇	六三、〇	六一、〇	六〇、〇	五九、〇
六三、〇	五九、〇	六三、〇	六一、〇	六〇、〇	五九、〇
全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全

焚火時間 十二時間半
 石炭使用量 百八十斤
 人夫 二人
 乾燥石數 四十石

第六回乾燥機使用成績表

十月十八日 雨天

時間	項目	右	左	排氣ダ ンパー ノ状態	冷氣送入 孔ノ開閉	備考
----	----	---	---	-------------------	--------------	----

最短時間昇温試験
 點火時 午後三時半
 止火時 午後五時

午後三時	三時四十五分	四時	四時十五分	四時十五分	四時十五分	五時
二七、〇度	三二、〇	四〇、〇	四四、〇	五三、〇	五九、〇	六二、〇
二七、〇度	三二、〇	四〇、〇	四五、〇	五三、〇	五九、〇	六三、〇
閉	全	全	全	全	全	全
閉	全	全	全	全	全	全

本試験ニヨルニ一時半ニシテ完全ニ昇温スルヲ得タルモ全ク冷却セル際完全ニ昇温スルニハ二時間ヲ要スルト見レバ充分ナリ

鹽藏鱈製造移出試驗

一〇六

緒言

近時本縣沿岸ニ來游スル大羽鱈ハ年ト共ニ夥シク増加シ漁獲ノ方法モ亦大ニ進歩セルモノアリト雖
漁獲後ノ處理加製ノ方法ニ至リテハ未ダ全ク漁獲ト相伴ハズシテ何等加製ノ方法ヲ試ムルモノナク
單ニ之レヲ鮮賣スルカ或ハ海濱ノ砂上ニ丸乾シテ僅カニ腐敗ヲ防クニ止マリ折角ノ多獲モ辛ウシテ
一家ノ口ヲ糊スルニ過キサレノ悲境ニアルハ誠ニ悲ム可キ有様ト云ハサル可カラズ於此本場ハ一時
的救濟策トシテ曩ニハ粕製造ノ方法ヲ教導シタルモ該品ハ僅カニ腐敗ヲ防止シテ損失ヲ免カル、ヲ
得ルニ止マリ利トスル所少ナキヲ以テ更ニ之ヲ食料品ニ化製シ新切開乾試驗ヲ施行シテ其方法ヲ垂
示セシモ該製品ガ本縣一般ニ全ク嗜好ナキト新切ナル製品ノ生乾價値トヲ認ムル者ナキトノ結果近
ク販路ヲ求ムルヲ難ク殊ニ其製造工程ニ比較的多クノ手數ヲ要シ途ニ一般ニ普及スルヲ能ハズシテ
終リヌ右ノ如クナルヲ以テ本場ハ更ニ進ンデ最モ手數ヲ要セザル製品ニシテ且ツ多大ノ販路ヲ有ス
ルモノニ加製スルニ如カズト思惟シ本年度ニ於テハ特ニ輸出向鹽藏鱈製造試驗ヲ施行シ之レガ生産
費ヲ調査スルト共ニ輸出版路及ビ販賣時期ヲ調査シ併セテ需用者ノ嗜好如何ヲモ調査セント欲シ縣
下宗像郡大島村ニ於テ之レガ試驗ヲ行ヒタリ

從業日誌 (大正三年)

三月十六日 午前二時漁船歸港ス第一回ノ購入ノ事トテ購入ニ頗ル時間ヲ要シ午前五時ニ至リテ漸
ク決シ午前六時ヨリ製造ニ從事セリ購入尾數一萬四千二百尾ニシテ一尾ノ重量十七匁ヨリ三十
五匁ノ間ニアリ比較的小形ノモノ多キハ既ニ漁期ノ終リニ近ツキシニ依ル用鹽ハ魚百尾ニ對
シ一舛ヲ標準トシ莖上ニ加鹽シ莖ノ兩端ヲ支持シテ數回上下前後ニ搖リ動カシ以テ完全ニ加
鹽セシメ後之ヲ大桶中ニ漬込ミ時々其魚形ヲ正シテ桶ニ充タシム該桶ハ網染用ニ使用スルコガ
イト稱スル巾三尺長サ六尺深サ約三尺ノ小判形ヲナセリ先ツ桶ノ底ニ薄ク鹽ヲ敷キテ後漬込ミ
タリ如斯クニシテ全部漬込テ終リタルモノハ上層ニ撒鹽ヲ行ヒ全テ魚体ヲ蔽ハシム用鹽量三百
十四斤之ニ莖ヲ被ヒ其上部ニ小石ヲ上セテ適度ノ壓ヲ加フ

三月十七日 漁船ノ歸港午前二時漁獲物一萬一千尾午前三時ヨリ直チニ鹽藏ニ從事シ午前六時終了
ス此用鹽量二百五十斤其儘被蓋加壓ヲ施シ放置ス

三月十八日 午前零時漁船歸港漁獲物一萬二千餘尾アリシモ魚体概シテ傷メルト降雨ノ爲魚体ハ漁
網ニ吊カレルマ、雨水ニ打タレ軟化セルヲ以テ其中ノ最良ナルモノ五千尾ヲ購入シ午前二時ヨ
リ鹽漬ニ從事シ午前四時終了セリ本回ハ作業ノ都合ト容器ノ都合トニヨリ之レヲ海岸ニ引上ケ
タル大形漁船ノ活間ヲ利用シ積込ミ其儘放置ス此用鹽量百三十斤

一〇七

三月十九日 第一回第二回分共ニ漬込ノ儘放置ス

一〇八

三月廿日 昨朝漬込ミタル漁船ノ活間ノ栓不完全ナリシ爲メ鹽汁ハ魚体ヲ蔽フニ至ラサルヲ以テ午前八時雨止ヲ待ツテ桶ニ漬換ヘテ行ヒタリ然ルニ鹽汁魚体ヲ蔽ハサリシ結果幾分軟化セルヲ以テ特ニ魚層間ニ加鹽ヲ行フ、終了午後零時其用鹽量五十斤ナリキ

三月二十一日 第一回ニ鹽漬ヲ行ヒタル原料ヲ該鹽汁中ニテ洗滌シ展乾箱詰ニ從事ス展乾ハ地上ニ展ケタル簀上ニ並べ日乾ヲ施セリ洗滌ハ午前七時ヨリ午前十二時間ニ終了セリ而シテ此日風頗ル強カリシ爲メ午前十二時ニハ最初ニ展乾セルモノ大部分上乾キセルヲ以テ午後一時半ヨリ箱詰ヲ行ヒシニ一箱二人掛リニテ三十五分乃至四十分ヲ要シ午後六時半箱詰ヲ終了シ一箱ハ約一千尾前後ヲ容レ得タルモ少シク乾燥不足ノ決果暫時ニシテ鹽汁滴トシ合鹽ヲ溶解シ且ツ歩減多カリキ(但シ合鹽ハ完成迄ニ一箱十斤ヲ要セリ)

三月二十二日 午前六時ヨリ第二回漬込原料ノ洗滌展乾ニ從事セルニ全部洗ヒ了リタル頃天候急變シ沛然トシテ降雨來リタルヲ以テ止ムヲ得ズ取リ込ミヲ行ヒタルモ何時晴ル可シトモ思ハレズ加フルニ上乾キモセザル原料ヲ其儘取込ム可キ納屋等ナキヲ以テ再ビ元トノ鹽汁中ニ投入晴天ヲ待テリ

三月二十三日 晴天トナリタルヲ以テ午前六時ヨリ前日カコヒタル原料ノ洗滌展乾ニ從事ス今度ハ

前回ノ乾度ニ鑑ミ一回上下轉換シテ終日乾燥ヲ行ヒ午後六時取入レ乾キタル桶中ニ圍フ

三月二十四日 午前六時ヨリ第三回原料ノ洗滌展乾ニ從事シ午後一時ヨリ第二回原料ノ箱詰ニ從事ス此日曇天ノ爲第三回ノ乾燥頗不良ナルヲ以テ其儘圍ヒテ尙ホ乾燥ヲ繼續セント欲ス

三月二十五日 漁船午前零時歸港原料八千八百尾ヲ購入シ午前一時ヨリ第四回鹽漬ニ從事ス此用鹽量二百六斤ニシテ午前四時終了午前六時ヨリ第三回原料ノ再度ノ展乾ニ從事シ午後四時取入レ圍フ

三月二十六日 第三回原料ノ箱詰ニ從事ス午前七時始業午前十二時終業

三月二十七日 二十八日第四回原料鹽漬

三月二十九日 午前六時ヨリ洗滌展乾ニ從事シ午後一回上下轉換ヲ施シ午後六時終了乾桶中ニ圍フ

三月三十日 乾燥ヲ施ス前日ニ全シ且乾了セルモノヲ以テ製了箱ノ歩減ヲ補填ス午後六時終業

三月三十一日 午前七時ヨリ箱詰ヲ行ヒ鐵帶ヲ施シ製了ス其數參拾參箱午後六時終業全合鹽量三十三斤ナリキ

一〇九



一、生産費調査

一、原料鱈	三万九千尾代	(一尾貳厘五毛宛)	九拾七圓五拾錢
一、五等鹽	千二百八十斤代		參拾圓五拾錢
一、原料入古ビール箱	三十三個代	(一個參拾五錢 一個ノケヅリ賃參錢)	拾貳圓五拾四錢
一、鐵帶	六貫六百匁代	(一貫匁參拾五錢)	貳圓參拾壹錢
一、釘	二貫匁代	(一貫匁五拾錢)	壹圓
一、人夫賃	三十三人	(一人三十四錢)	拾壹圓貳拾貳錢
合計			百五拾五圓七錢

右生産費ヲ通覽スルニ人夫賃ヲ三分ノ二ニナシ得可ク鐵帶ヲ鐵線ニ換ユレバ一箱貳錢弱ニ箱ハ削リ賃共參拾錢ニテ購入スルヲ得可ク且ツ原料ハ一尾二厘以内ノ際之レヲ作製スルトセバ右ニヨル一箱四圓七拾錢弱ノ生産費ハ參圓八拾錢前後ヲ以テ作製シ得可キハ明カナリ

右ノ如ク容器トシテハ内部ニ區劃板ヲ有スルビール空箱ヲ削リテ使用シタルモノニシテ一箱ノ容量ハ平均約千七百七十尾其斤量約百四十五斤(風袋共七百七十斤内外)ナリキ而シテ箱ノ種類ニヨリ幾分ノ大小アルト魚形ノ不同トニヨリ容量及重量ニ於テ比較的大ナル差ヲ生セリ今其最大最少極限ヲ掲クレバ最少容量千八十六尾最大容量千二百七十八尾重量ニ於テハ最少百五十七斤最大百八十斤(風

袋共)ナリキ之レヲ長崎縣水産試験場ノ試験ノ結果ニ見ルニ平均九百余尾ヲ容レ其重量百三十斤(風袋ナシ)前後ナリシト云フニ比スレバ一箱ヲ充タスニ尾數ニ於テモ重量ニ於テモ多クヲ要セシハ之レ魚形ノ小ナリシニヨルハ明カナリ

販路調査

本年度試験ハ生憎ニモ鱈ノ盛漁期ニ於テ西北風連吹セル結果漁獲ナク爲ニ試験ヲ遲延スルノ不得已ニ至リ且經費ノ關係上僅カニ三十三個ヲ作製スルニ止マリシヲ以テ之レヲ需要地ノ各所ニ分配試賣スルヲ得ズ其試賣地ノ撰定ニ頗ル苦心セルモ從來支那輸出ナルコトハ各縣ノ試験場ニ於テ既ニ施行試験シ其ノ需要ノ廣大ニシテ確實ナルハ明カナリ只僅カニ生産費ト販賣時期ノ適否ニヨリ成功不成功ヲ見ルニ止マルノ域マデ進メルヲ以テ本場ハ各試験場ガ比較的度外視セル朝鮮ニ於ケル需要ノ狀況時期等ノ調査ヲ行ハントシ之レヲ左記ノ二個所ニ輸送シ試賣ヲ委託セリ

- 朝鮮京城 日ノ丸水産株式會社 十七個
- 朝鮮京城 京城魚市場 十六個

之レガ輸送ノ方法ハ門司港ヨリ仁川港ニ舟便ヲ以テ輸送シ仁川ヨリ京城迄鐵道便ニヨリテ運搬セルモノナリ然ルニ時期既ニ遅ク鮮魚ノ出廻リ多ク且ツ各地ヨリ鹽魚類ノ多量聚集シ居リシヲ以テ鱈ノ如キハ全ク需用ナク且ツ暖氣ニ向フト雨季ニ於テ油燒ケ醃蒸センコトヲ恐レシ爲メ委託人ニ於テ之レ

ヲ拾賣リニスルノ不得已ニ至リシハ誠ニ遺憾ノ極ナリキ而シテ通例斤數賣トスルカ最モ高價ナル際ニハ尾數賣リトスルモノナルニ不拘本品ハ箱賣リノ悲境ヲ見ルニ至リ爲メニ收支計算上大ノ欠損ヲ來スニ至リシナリ

收支計算

日ノ丸水産株式會社賣上收支計算

收 入	鹽藏鱈十七箱賣上金	二八、九〇〇	一箱ニ付	一、七〇〇
	鹽藏用鹽戻稅	七、四一三八	一箱ニ付	、四三八三強
計		三六、三一二八		
支 出	鹽藏鱈十七箱生産費	七九、八八〇	一箱ニ付	四、七〇〇弱
	運賃但門司ヨリ仁川港迄	九、一八〇		
	運賃仁川ヨリ京城迄	四、五六〇		
	配 達 賃	〇、五一〇		
	稅 金	三、五六〇		

保管料

一、〇〇〇

口 錢

二、八九〇

計

一〇一、五八〇

差引損失

六五、二六六二

一箱ニ付 三、八三九余

京城魚市場賣上收支計算

收 入

鹽藏鱈十六箱賣上金

四一、六〇〇

一箱ニ付 二、六〇〇

鹽藏用鹽戻税

七、〇五四二

計

四八、六五四二

支 出

鹽藏鱈拾六箱生産費

七五、一九〇

一箱ニ付 四、七〇〇弱

運賃但シ門司ヨリ仁川迄

八、六四〇

運賃但シ仁川ヨリ京城迄

四、四五〇

配 達 賃

一、一二〇

税 金

六、三九〇

手 數 料

〇、七〇〇

口 錢

四、一六〇

計

一〇〇、六五〇

差引損失

五一、九九五八

一箱ニ付 三、二四九七

全部ヲ合セテノ收支計算

收 入

鹽藏鱈參拾參箱賣上金

七〇、五〇〇

鹽藏用戻税金

一四、四六八

計

八四、九六八

支 出

鹽藏鱈參拾參箱生産費

一五五、〇七〇

運賃總計

二六、八三〇

配 達 賃

一、六三〇

税 金

九、九五〇

手 數 料

〇、七〇〇

保管料 一、〇〇〇

口 七、〇五〇

計 二〇二、二三〇

差引損失 一一七、二六二 一箱ニ付 三、五五三余

但シ右ノ計算ハ鹽藏用鹽戻稅ヲ使用鹽百斤ニ付壹圓拾參錢宛下附サル可キモノトシテ計算セリ
尙ホ同一稅關ニ於テ日時ヲ異ニセル爲鑑定價格ニ差等ヲ生ジ從ツテ稅金ニモ差ヲ生ジタルハ甚ダ
不可思議ナレモ普通稅金ハ右ノ平均價格ト見レバ大差ナカル可シ

收支計算右ノ如クナリト雖然モ今各商店ヨリノ試賣品ニ對スル品評ニ見ルニ其魚形ニ鹽味ニ共ニ欠
点ナキモ時期ノ遲延セル爲鮮魚ニ壓倒セラレタルト夏期迄ノ保存品トシテハ鹽味稀薄ナルヲ以テ不
得已手離スニ至レリト稱セリ而シテ需用多キ時期ニ於ケル該品ノ價格ヲ聞クニ大羽繭約五百尾入一
樽ノ代價四圓乃至五圓最優等品六圓乃至七圓ヲ示スヲ普通トスト此ノ相場ニヨルキハ一箱少クモ拾
圓ヲ示ス可キハ容易ナル可キモ一度販出期ヲ失セバ本試驗ノ結果ノ如キ多大ナル損失ヲ招ク可キヲ
以テ此点ニ於テハ大ニ注意ヲ要ス

要之本試驗ヨリ見テモ本品製造販出ノ要旨ハ商略商機ニ於テ失敗ヲ招カザル様注意スルヲ專一トシ
生産費ノ如キハ少シク高價ニ上ルモ決シテ失敗ヲ招クコトナキハ明カナリ

蛭貝養殖試驗

一、大正元年度蒔付蛭經過及採收成績

大正元年度ニ於テ山門郡地先ニ五區ノ試驗地ヲ設定シ蛭貝養殖試驗ヲ施行シタル事ハ前年度報告ニ
記載シタル如クナルガ同年中ハ本場養殖場ニ於テモ亦當業者養殖場ニ於テモ一般ニ些少ノ被害ヲモ
見ルコトナク其生育狀況明治卅五六年ノ頃斯業ノ盛況ヲ呈セシ時代ニ比シテ敢テ遜色ナク極メテ良
好ナル經過ヲ示シタリ、然ルニ其ノ後大正二年六月ニ至リ右養殖場第一區及第二區附近ノ一區域ニ
被害起リタルヲ以テ同月兩區ハ之ヲ採收シタリ第三區四區及五區ハ當時ニ於テモ何等ノ被害ナク良
好ナル經過ヲ示シタルヲ以テ八月末ニ於テ全部採收セリ左ニ各區ニ付蒔付後ノ經過及採收成績ヲ記
述セントス

イ、第一區(五月早蒔試驗區)經過及採收成績

本區ハ蛭雅貝ノ被害ハ毎年梅雨期前後ニ起ルヲ例トスルモノナルガ故此ノ以前ニ採捕シ沖合ノ養殖
地ニ移植セバ其結果如何ナルベキカラ調査センガ爲メ西宮永村地先ニ於テ面積十坪ヲ劃シ大正元年
五月二十六日体長平均一寸〇五厘一舛入粒數一千四十三粒ノ種貝坪當一舛ノ割合ニテ蒔付セルモノ
ナリ

1、蒔付後ノ經過

蒔付後本年六月迄ハ被害ヲ見ルコトナク其ノ結果甚良好ナリシモ同月十日頃ニ至リ斃死スルモノ續出セシヲ以テ向後ノ經過ヲ調査スベキ材料トシテ一坪五合ヲ殘シ殘餘八坪五合ハ同月二十二日之ヲ採收シタルガ其成績ハ左ニ記スガ如シ而シテ上記ノ殘存セシメタルモノハ同月二十九日以後被害終絶シ其後無事經過シタルモ同年秋季ニ於ケル一般ノ養殖具被害ノ際十月五六日ノ頃ヨリ二十日頃迄ニ於テ生存具中約七割ノ斃死ヲ見ルニ至レリ

2、採收成績

本年六月二十二日養殖後滿一年一ヶ月ニシテ採收シタルモ前記ノ如ク六月中旬被害ニテ約半數ノ斃死ヲ見タル爲メ採收成績ハ良好ナルヲ得ザリキ採收坪數八坪五合ニ對シ採收總量三斗三升ニシテ一升ニ付六錢貳厘ニテ賣却シ採取賃ハ一升ニ付壹錢貳厘ヲ要シタリ今蒔付當時ト採收時トニ於ケル成長、増量ノ比較並ニ數ノ歩留等ヲ掲グレバ左ノ如シ

蒔付	體長	體高	體厚	體重	粒數	坪		個數	歩留
						容	量		
蒔付一寸四分八厘三分四厘					一、〇四三	一	升	一、〇四三	
採收二寸六分九厘八分五厘					五、六三	八合八勺		二、一七	二割一分弱

右ニ依リ結果ノ概要ヲ摘記スレバ左ノ如シ

一、成長度

蒔付後大正二年三月ニ至ル迄毎月測定セル成長度ハ前年度報告ニ記載セル如クナルガ其後ノ調査ハ左表ノ如シ

月別	日	殼長	殼高	殼厚	體重
四月	卅日	二、六二	〇、八一	〇、五三	六、三三
五月	廿九日	二、六六	〇、八四	〇、五五	六、八〇
六月	廿二日	二、六九	〇、八五	〇、五七	七、〇五

本區ニ於ケル蠶ヲ他ノ七八月頃蒔付ノモノニ比較スル時ハ其成長ノ極メテ著シキコトヲ知ルヲ得即今六月採收時ニ於ケル大サヲ第二區八月蒔ニ比較スル時ハ體長ニ於テ二分ニ厘體重ニ於テ一匁九分ノ増大ヲ示シ一升入粒數ニ於テ平均十七ヶ少ク即約一、三倍ノ増量ニシテ又第三區ノ八月蒔ニ比較スル時ハ體長ニ於テ三分八厘體重ニ於テ一匁七分ノ増大ヲ示シ一升入粒數ニ於テ十九個少ク即約一、三倍ノ増量ナリ即蒔付期日早キ程其生長ハ著キヲ知ルニ足ルナリ

尙六月二十二日採收時蠶、一升ヲ生剝トセル場合ニ於ケル肉量殼量及液汁量ノ割合ハ左ノ如シ

但二坪ニ付調査セル平均トス

一坪入粒數	重	肉	殼	液
五六ヶ	三九四匁〇	一六八匁七	一二〇匁六	一〇四匁七
割合		四割二八	三割〇六	二割六六

二、數ノ歩留及收納量

一坪一千四十三粒ノ蒔付ニ比シ二百七十七ヶヲ收納シ其歩留二割一步弱ニ當リ收納量ハ一坪ノ蒔付ニ對シ三坪八合八勺ヲ舉ゲタリ之ヨリ曩被害前六月一日本區ニ於テ五ヶ所ニ付キ一尺平方ノ生存個數ヲ算シタルニ其平均拾貳個アリ之ヲ以テ標準ト見做シ一坪ニ換算スル時ハ四六八個ニシテ之ヲ蒔付時ニ比スル時ハ歩留四割四分ニ當レリ然ラバ其後六月四日ヨリ二十日頃迄ニ至ル被害ニ於テ約半數ヲ斃死セシメタルモノト見ルヲ得ベキカ然レモ五月蒔ニ於ケルモノハ七八月頃蒔付ニ比シ歩留惡シキハ事實ナルガ如シ即第二區八月蒔ニ於テハ大正二年六月一日第一區ト同時調査ノ際歩留六割七歩ヲ示シ又同月全部採收ノ結果ハ平均二割九分一厘ヲ示セリ而テ蒔付數量ハ略ボ同一ナリ今兩者ヲ比較スル時ハ明ニ五月蒔ノ歩留劣レルヲ知ルヲ得ベシコハ五月ニ於テハ煙体尙未ダ纖弱ナルヲ以テ此

時代ノ移殖ハ海水比重其他生活狀態ノ變化ノ爲メ蒔付當時死滅スルモノ多キニ依ルベキカ、コハ尙繼續試験ヲ重テ研究ヲ要スベキ事項ナリトス

三、收支經濟

前記ノ如ク六月被害ニテ約半數ヲ斃死セシメタル爲收支經濟ヲ明ラカニスル事能ハザリシハ遺憾トスル所ナリシモ今左ニ實收ノ結果ニ基キ被害アリタル場合ノ成績トシテ一坪及一反歩ニ對スル收支經濟ヲ掲グ可シ

坪	支		出		入		差引純益
	壹	拾	拾	種	貳	養	
當	拾八錢	拾參錢四厘	拾參錢四厘	種貝一坪代	壹拾四錢	養成員三坪八合	六錢
反	拾八錢	拾參錢四厘	四厘	蒔付費	八匁	代一坪ニ付	
一	五拾四圓	四拾圓貳拾錢	四錢七厘	養成員三坪八合八勺	六錢貳厘	六錢貳厘	
步	參拾錢	拾四圓拾錢	拾四圓拾錢	養成員採取賃	七拾貳圓參拾錢	養成員賣却代	拾八圓

上記ノ如ク被害アリシト雖モ尙一反歩ニ對シ拾八圓ノ純益ヲ舉グルコトヲ得タリ

四、結論

之ヲ要スルニ收支經濟ハ種貝代ト養成員收納量ノ如何ニ關係スルコト大ニシテ種貝代ハ其採取ノ難易ニ依リ決シ收納量ハ貝ノ成長ト數ノ歩留トニ依リ定メラル、モノトス本試驗ノ結果五月早蒔ハ其成長ノ良好ナルハ之ヲ明カニスルコトヲ得又收支經濟ノ結果モ相當ノ收利アリシト雖モ歩留ノ如何ハ疑問トスル所ナリ種貝ノ經濟的使用ハ蟬養殖上尤モ肝要ナル所ナリ依テ今後被害アル場合及無キ場合ニ於テ天然發生場ニ於テ五月頃ヨリ七八月頃迄ニ於ケル歩減リノ率ト五月蒔付ノ結果ニヨル歩減リトノ關係ヲ調査講究スルニ非レバ未ダ以テ本法ヲ推獎スル事能ハズ尙繼續試驗ヲ重ネテ之ガ斷定ヲ期セントス

第二區(經濟試驗區)經過及採收成績

本區ハ經濟試驗ヲ主要ナル目的トシ西宮永村地先ニ於テ面積參百坪ヲ割シ大正元年八月上旬ヨリ中旬迄ノ間ニ於テ體長一寸五分三厘一舛粒數三百五十個ノ種貝坪參舛ノ割合ヲ以テ蒔付セルモノナリ

1、蒔付後ノ經過

蒔付後本年六月迄ハ何等被害ヲモ見ズ成績極メテ良好ナリシモ第一區ト同様同月四日頃ヨリ斃死ノ端ヲ發シ其勢止ル所ヲ知ラザルノ状態ナリシヲ以テ向後ノ經過ヲ講究スベキ材料トシテ拾五坪ヲ殘シ殘餘貳百八拾五坪ハ六月十七日ヨリ同月二十二日迄ノ期間ニ於テ之ヲ採收シタリ右殘存貝ハ同月

二十九日以後斃死状態終息シ其後健全ナル生育ヲ遂ゲツ、アリシモ同年秋季ニ於ケル被害ノ際十月五日ヨリ二十日頃迄ニ於テ殘存貝ノ約六割ヲ死滅セシムルニ至レリ今六月採收ノ成績ヲ掲グレバ左ノ如シ

2、採收成績

蟬採收ハ貝ノ尤モ肥大スベキ八日頃ニ於テスルヲ有利トナスモ前記ノ如ク本區ハ本年六月上旬ヨリ被害ノ爲メ斃死續出スルニ至リシヲ以テ同月十七日ヨリ二十二日迄ノ間ニ於テ採收シタルガ其結果ハ被害ノ爲メ甚ダシク良好ナル能ハザリシモ然カモ相當ノ成績ハ收ムル事ヲ得タリ

而テ當初蒔付ノ際ハ前年度報告ニ記セル如ク六區劃ニ分チタリト雖モ其後區劃不明トナリ採收ノ際ハ混同スルニ至レリ採收總坪數二百八十五坪ニ對シ收納總量拾壹石六斗二舛ニシテ一舛ニ付五錢七厘ヲ以テ賣却シ採取賃ハ一舛ニ付壹錢貳厘ヲ要シタリ今蒔付當時ト收納時トニ於ケル平均ノ成長增量ノ比較並ニ歩留等ヲ掲グレバ左表ノ如シ

蒔付	體長	體高	體厚	體重	坪		當
					粒數	容量	
一寸五分三厘	〇、四九	—	—	—	三五〇ケ	三舛	一、〇五〇ケ

採收	二寸四分二厘	〇、七六	〇、五一	五、一四	七三ケ	四舛二合弱	三〇六ケ	二割九分一厘
----	--------	------	------	------	-----	-------	------	--------

一二四

右ニ依リ結果ノ概要ヲ摘記スレバ左ノ如シ

一、成長度

蒔付後大正二年三月ニ至ル各月ノ成長度ハ前年報告書ニ記載セルガ其ノ後ノ調査ヲ示セバ左ノ如シ

月別	殻	長	殻	高	殻	厚	体	重
四月卅日	二、三二			〇、七一		〇、四八		五、三八
五月廿九日	二、四〇			〇、七六		〇、五〇		五、八五
六月廿二日	二、四二			〇、七六		〇、五一		五、一四

而テ六月二十二日採收時ニ於ケル煙ニ付生剝ノ場合一舛ニ於ケル肉量、殻量、及液汁量ノ割合ヲ示セバ次ノ如シ、但二舛ニ付調査セル平均トス

一舛ノ粒數	同上重量	全肉量	同殻量	同液汁量
-------	------	-----	-----	------

割合	七三ケ	三七九、六	一六二、九	一四、一	一〇二、六
割合			四、二九	三、〇一	二、七〇

二、數ノ歩留及收納量

平均坪當收納量ハ四舛一合弱歩留二割七分余ナリシモ良好ナル個所ハ收納ハ收納量坪當六舛三合歩留數四割二分余ニ達セリ然レ共中央部ニテ尤モ斃死多カリシ個所ハ坪當收納二舛歩留數一割三分余リニ過ギザルキ而テ本年六月一日被害以前ニ於テ八ヶ所ニ付キ壹尺平方ノ生存個數ヲ算シ其平均數ヲ以テ概要標準ト見做シ蒔付當時ニ比シ生存率ヲ調査セル結果ハ一尺平方平均二十個一坪ニ通算シ七百二十ヶニシテ之ヲ蒔付時ニ比較スル時ハ歩留六割六分弱ニ當レリ即六月四日以後ニ於ケル被害ノ爲約半數ヲ失ヒタルヲ知ルヲ得ベシ

三、收支經濟

前記ノ如ク本年六月採收時期ニ先チ被害ニテ約半數ヲ斃死セシメタル爲其收支經濟ヲ明ニスル能ハザリシハ尤モ遺憾トスル所ニシテ若シ六月被害以前ニ採收シタルモノトセバ約二倍ノ收納量ヲ得タルナルベシト雖モ今被害アリタル場合ノ成績トシテ一反歩ニ對スル收支經濟ヲ掲グレバ左ノ如シ

支	出	收	入	純益
---	---	---	---	----

一二五

一	反	五十圓	參拾六圓	參拾壹圓五拾錢	一種具九石代	六拾九圓七拾壹錢	拾九圓
步		六拾八錢	四圓五拾錢	四圓五拾錢	一舛ニ付參錢五厘	養成具拾貳石貳斗	參錢
			拾四圓六拾八錢	養成具十二石二斗三舛分	一舛ニ付	參舛代	
				壹錢貳厘	壹舛ニ付五錢七厘		

本年ハ支那革命戰亂ノ影響ヲ被リ蠶貝ノ價格極メテ安直ニシテ且採收時期早ク体充分肥大スルニ至ラザリシ爲メ一層廉價ニシテ尙被害ノ爲メ約半數ヲ斃死セシメタルニ係ラズ一反歩ニ對シ拾九圓二錢ノ純益ヲ擧グルコトヲ得タリ

第三區第四區第五區經過及採收成績

本區ハ土質ト種貝蒔付量トニヨル成長度歩留數及收支經濟ノ關係ヲ究ムル目的ヲ以テ山門郡兩開村地先ニ土質ヲ異ニセル三區域ヲ撰ビ一區ヲ五十坪宛トシ尙各區ヲ五小區域ニ區分シ八月下旬ニ於テ種貝坪當一舛二舛三舛四舛及五舛ノ蒔付ヲナシタルモノナリ

1、蒔付後ノ經過

蒔付後ノ經過順當ニシテ其年秋季ニ於テモ些ノ被害ナク又翌年六月、上記第一區及第二區被害ノ際ニ於テモ其ノ地區僅々的百間ヲ離レ居リシノミナルニ係ラズ些ノ被害ヲモ認メズ無事經過シタリ仍テ八月下旬養殖後滿一ケ年ニシテ採收シタリ

2、採收成績

全部採收シタル結果左表ノ如シ

三割八六	三割三四	三割七一
拾錢五厘	拾四錢	拾七錢五厘
七厘五毛	壹錢	壹錢貳厘五毛
七錢九厘	八錢六厘	拾壹錢貳厘
九錢貳厘	貳拾參錢六厘	參拾錢
壹錢五厘	參拾七錢四厘	五拾參錢八厘
貳錢參厘	拾參錢八厘	貳拾貳錢八厘
六割九分	六割三分	八割一分

第五區

大正元年八月二十七日蒔付
大正二年八月二十九日採收

第參區

大正元年八月二十九日蒔付
大正二年八月三十日採收

備考	一坪收支經濟										蒔付時採取時於體(平均)比較										養殖場位置	土質	面	坪當蒔付量								
	益		入收		支						收		採		蒔																	
	純益	支對	養成代	養成代	計	採成貨	養成費	種貝代	種貝代	步溜	蒔付時ニ比シ減數	全割合	蒔付時ニ比シ増量	總個數	總量	蒔	總個數	總量	重一升ノ	個一升數入					體重	體厚	體高	體長	個一升數入	體重	體高	體長
一、種貝代ハ一升ニ付參錢五厘、蒔付費一升ニ付貳厘五毛トス	七割七分	八錢五毛	拾八錢八厘	拾八錢八厘	拾錢七厘五毛	七錢	貳厘五毛	參錢五厘	四割四九	一、九三〇ケ	三、四九倍	二升四合九勺	一、五七〇ケ	三斗四升九合	三、五〇〇ケ	一斗	三六六匁	五〇ケ	七五〇	〇、六二〇	〇、八二二	〇、六二〇	〇、八二二	二、六六	三五〇ケ	一、四〇	〇、五〇	一、五二	長榮開西北角ヨリ 長榮開、明治開境界ヨリ 二百十五度 二百三十八度	四三〇	拾坪	壹升蒔
二、採收賃金ハ一升ニ付一升蒔貳錢二升蒔壹錢五厘、三升蒔壹錢參厘、四升蒔壹錢貳厘、五升蒔壹錢壹厘トス	九割七分	拾五錢	參拾壹錢壹厘	參拾壹錢壹厘	八錢六厘	五厘	七厘	七錢	四割六〇	四、二八〇ケ	二、八八倍	三斗七升五合	三、二二〇ケ	五斗七升五合	七、〇〇〇ケ	二斗	三八五匁	五六ケ	七二二	〇、五九〇	〇、八一五	〇、五九〇	〇、八一五	二、六三一	全	全	全	全	長榮開西北角ヨリ 長榮開、明治開境界ヨリ 二百十五度 二百三十八度	四五〇	拾坪	貳升蒔
三、養成貝賣却代ハ一升ニ付五區ノモノハ五錢四厘、參區及四區ノモノハ五錢貳厘トス	八割四分	拾八錢八厘五毛	參拾九錢六厘	參拾九錢六厘	九錢五厘	七厘五毛	拾錢五厘	拾錢五厘	三割九一	六、三九〇ケ	二、四八倍	四斗二升四合	四、一〇〇ケ	七斗三升四合	一〇、五〇〇ケ	三斗	三七五匁	五六ケ	六八五	〇、六一五	〇、八〇八	〇、六一五	〇、八〇八	二、六二二	全	全	全	全	長榮開西北角ヨリ 長榮開、明治開境界ヨリ 二百十五度 二百三十八度	五七〇	拾坪	參升蒔
	八割六分	貳拾錢六厘	四拾五錢八厘	四拾五錢八厘	拾錢貳厘	壹錢	拾四錢	拾四錢	三割四五	九、一六一ケ	二、一二倍	四斗二升九合六勺	四、八三九ケ	八斗四升九合	一四、〇〇〇ケ	四斗	三七〇匁	五七ケ	六四四	〇、五九三	〇、七九九	〇、五九三	〇、七九九	二、六〇〇	全	全	全	全	長榮開西北角ヨリ 長榮開、明治開境界ヨリ 二百十五度 二百三十八度	七〇	拾坪	四升蒔
	十割一分	貳拾五錢八厘五毛	六拾壹錢	六拾壹錢	拾貳錢四厘	壹錢貳厘五毛	十七錢五厘	十七錢五厘	三割四三	一一、三九八ケ	二、二六倍	三升二斗	六、一〇二ケ	一石一斗三升	一七、五〇〇ケ	五斗	三七三匁	五四ケ	七二二	〇、六〇八	〇、八一〇	〇、六〇八	〇、八一〇	二、六一三	全	全	全	全	長榮開西北角ヨリ 長榮開、明治開境界ヨリ 二百十五度 二百三十八度	七五	拾坪	五升蒔
	六割六分	六錢參厘	拾六錢四厘	拾六錢四厘	六錢參厘	貳厘五毛	參錢五厘	參錢五厘	五割三八	一、七三四ケ	三、一五倍	二斗一升五合	二、一〇一ケ	三斗一升五合	三、七五〇ケ	一斗	三七五匁	六四ケ	五九三	〇、五六〇	〇、七七五	〇、五六〇	〇、七七五	二、四七六	三七五ケ	一、三八	〇、四四	一、三四	長榮開西北角ヨリ 長榮開、明治開境界ヨリ 二百十五度 二百三十八度	四五	拾坪	壹升蒔
	四割八分	五錢七厘	拾八錢六厘	拾八錢六厘	拾貳錢九厘	五厘	七錢	七錢	三割一四	五、一四四ケ	一、七九倍	一斗五升七合	二、三五六ケ	三斗五升七合	七、五〇〇ケ	二斗	三六六匁	六六ケ	五四三	〇、五三四	〇、七五六	〇、五三四	〇、七五六	二、四二六	全	全	全	全	長榮開西北角ヨリ 長榮開、明治開境界ヨリ 二百十五度 二百三十八度	四五	拾坪	貳升蒔
	三割七分	五錢六厘	貳拾貳錢六厘	貳拾貳錢六厘	拾七錢	七厘五毛	拾錢五厘	拾錢五厘	二割五一	八、四二三ケ	一、四八倍	一斗三升五合	二、八二七ケ	四斗三升五合	一一、五〇〇ケ	三斗	三六四匁	六五ケ	五八三	〇、五五四	〇、七八八	〇、五五四	〇、七八八	二、四四〇	全	全	全	全	長榮開西北角ヨリ 長榮開、明治開境界ヨリ 二百十五度 二百三十八度	四五	拾坪	參升蒔
	一割三分	五錢	貳拾七錢	貳拾七錢	六錢貳厘	壹錢	拾四錢	拾四錢	二割三二	一一、五一四ケ	一、三〇倍	一斗二升四斗	三、四八四ケ	五斗二升九斗	一五、〇〇〇ケ	四斗	三七九匁	六七ケ	五四六	〇、五四九	〇、七六三	〇、五四九	〇、七六三	二、四一四	全	全	全	全	長榮開西北角ヨリ 長榮開、明治開境界ヨリ 二百十五度 二百三十八度	五五	拾坪	四升蒔
	七割三分	貳拾錢壹厘	四拾九錢四厘	四拾九錢四厘	九錢參厘	拾錢五厘	十七錢五厘	十七錢五厘	三割三四	一一、四八〇ケ	一、九〇倍	一斗	六、二七〇ケ	五斗五升一斗五	一八、七五〇ケ	五斗	三七九匁	六六ケ	五六四	〇、五六〇	〇、七六二	〇、五六〇	〇、七六二	二、四三五	全	全	全	全	長榮開西北角ヨリ 長榮開、明治開境界ヨリ 二百十五度 二百三十八度	二六	拾坪	五升蒔
	二	壹	八	八	六	貳	參	參	二	二	一	五	三	五	三	一	一	一	〇	〇	〇	〇	二	三	一	〇	一	長	長	拾	壹	

備考
一、種貝代ハ一升ニ付參錢五厘、蒔付費一升ニ付貳厘五毛トス
二、採收賃金ハ一升ニ付一升蒔貳錢二升蒔壹錢五厘、三升蒔壹錢參厘、四升蒔壹錢貳厘、五升蒔壹錢壹厘トス
三、養成貝賣却代ハ一升ニ付五區ノモノハ五錢四厘、參區及四區ノモノハ五錢貳厘トス

一、成長度

時付後大正二年三月ニ至ル迄毎月測定セル成長度ハ前年度報告ニ記載セル如クナルガ其後ノ調査左
表ノ如シ

第五區
壹升蒔

月事 日	項	体	長	体	高	体	厚	体	重
五月三十日			二、三一		〇、六五		〇、五四		五、〇二
六月二十九日			二、四八		〇、七〇		〇、五五		五、九〇
七月三十一日			二、六四		〇、七五		〇、五七		六、六〇
八月二十九日			二、六六		〇、八二		〇、六二		七、五〇

同
二升蒔

月事 日	項	体	長	体	高	体	厚	体	重
五月三十日			二、四一		〇、七六		〇、五七		五、三

六月二十九日	二、四九	〇、七七	〇、五七	五、九
七月三十一日	二、五八	〇、八〇	〇、五八	六、五
八月二十九日	二、六三	〇、八二	〇、五九	七、二

同 三升蒔

一一八

五月三十日	二、三〇	〇、七三	〇、五二	五、五
六月二十九日	二、四〇	〇、七五	〇、五三	五、八
七月三十一日	二、四六	〇、七八	〇、五三	六、〇
八月二十九日	二、六二	〇、八一	〇、六二	六、九

同 四升蒔

五月三十日	二、二五	〇、六九	〇、五二	四、九
六月二十九日	二、三八	〇、七〇	〇、五〇	五、三

七月三十一日	二、三八	〇、七六	〇、五三	五、七
八月二十九日	二、六〇	〇、八〇	〇、五九	六、四

同 五升蒔

五月三十日	二、二五	〇、七〇	〇、五一	四、九
六月二十九日	二、三〇	〇、七四	〇、五二	五、二
七月三十一日	二、三七	〇、八二	〇、五三	五、九
八月二十九日	二、六一	〇、八一	〇、六一	七、二

同 第四區 一升蒔

五月三十日	二、二七	〇、七一	〇、四九	四、七二
六月二十九日	二、四〇	〇、七五	〇、五一	五、二〇
七月三十一日	二、五八	〇、八五	〇、五三	六、一

一一九

八月二十九日	二、四九	〇、七八	〇、五七	六、一
--------	------	------	------	-----

同
二升蒔

五月三十日	二、一六	〇、六九	〇、四八	四、一四
六月二十九日	二、二〇	〇、七〇	〇、四九	四、八〇
七月三十一日	二、二九	〇、七二	〇、五一	五、一
八月二十九日	二、五三	〇、七九	〇、五七	六、四

同
三升蒔

五月三十日	二、一八	〇、六九	〇、四四	四、三
六月二十九日	二、二〇	〇、七〇	〇、四五	四、四
七月三十一日	二、三六	〇、七二	〇、四九	四、六
八月二十九日	二、四七	〇、七六	〇、五六	六、〇

同

四升蒔

五月三十日	二、一七	〇、六八	〇、四五	四、二
六月二十九日	二、二〇	〇、七〇	〇、四六	四、四
七月三十一日	二、三〇	〇、七二	〇、四八	四、五
八月二十九日	二、四〇	〇、七五	〇、五三	五、五

同

五升蒔

五月三十日	二、二〇	〇、六八	〇、四四	四、二
六月二十九日	二、二三	〇、七〇	〇、四七	四、五
七月三十一日	二、二九	〇、七三	〇、四九	四、七
八月二十九日	二、五〇	〇、七七	〇、五五	六、二

而シテ各區ノ成長ヲ比較スルニ左ノ如キ結果ヲ見ル

(A) 土質ト成長度トノ關係

各區中成長最モ良好ナリシハ第五區ニシテ第三區之ニ亞ギ第四區尤モ不良ナリ然レモ第三區ト第四區トニ於テハ大ナル差異ナシ蒔付種介ノ大サハ第五區及四區ハ同大ニシテ平均体長一寸五分二厘体重一匁四〇一升入粒數三百五十個ナリシガ採收時第五區ニ於ケルモノハ平均体長二寸六分二厘体重七匁〇四一升入粒數五五個トナリ蒔付當時ノ約六倍四ノ大サヲ示シ第四區ニ於ケルモノハ平均体長二寸四分八厘体重六匁〇四一升入粒數六四個トナリ即五倍四ノ成長ヲ示セリ第三區ニ於ケルモノハ蒔付當時種介稍小ニシテ平均体長一寸三分四厘体重一匁三八一升入粒數三百七十五個ナリシガ採收時ニハ平均体長二寸四分四厘体重五匁六六一升入粒數六五個トナリ蒔付當時ニ比シ五倍七ノ成長ヲ示セリ即第四區ニ於ケルモノハ第五區ニ比シ一升入粒數ニ於テ九個多シ第三區ノモノハ蒔付種介稍小ニシテ而モ第四區ト殆ド大差ナキ成長ヲ遂ゲタルヲ以テ見レバ第四區ニ比シテ成長良好ナリシヲ推定スルヲ得ベシ

又第五區産ノ蠶ハ介殼大ナルノミナラズ外面黄色ヲ呈シ美ニシテ介殼ハ薄ク能ク肥大セルモ第四區及第三區ニ於ケルモノハ介殼外面稍薄黒クシテ厚シ、左ニ各區ノ蠶ニ付生剝ノ場合ニ於ケル肉量、介殼及液汁量ヲ記シテ此關係ヲ示スベシ

區	一升入個數	全重量	肉量	介殼量	液汁量
第五區	五〇ケ	三八二、五匁	(四割九分五厘) 一八九、〇匁	(二割五分一厘) 九六、〇匁	(二割五分四厘) 九七、五匁
第三區	六六ケ	三七三、一匁	(四割八分四厘) 一七二、〇匁	(二割八分二厘) 一〇五、五匁	(二割三分四厘) 九五、六匁
第四區	六三ケ	三七四、〇匁	(四割八分四厘) 八一、〇匁	(二割九分六厘) 一一〇、六匁	(二割二分) 八二、四匁

又現品拂下後製造人が煮熟シテ剝身トシタル結果ハ肉量生介一升入付第五區ノモノハ百二十一匁第三區ノモノハ百十七匁第四區ノモノハ百十八匁ヲ擧ゲタリ

之ヲ要スルニ成長ハ土質ト密接ナル關係ヲ有シ第五區ノ如キ土質ハ尤モ良好ニシテ砂質ヲ加フルニ從ヒ成長ヲ減ズルモノトス

(B) 蒔付量ト成長度トノ關係

各土質ニ於テ坪當蒔付量一升入即三百五十粒ヨリ五升入即一千七八百粒迄ニ於テハ厚蒔キハ薄蒔キニ比シ稍成長不良ナルガ如クナレモ其差微々タリ

二、蒔付量ト收納量トノ關係

(A) 土質ト數ノ歩留トノ關係

第五區ハ害敵ニ襲ハル、ト少カリシニ比シ第三區亞デ第四區ハ「ちわらすば」ノ爲メ食害セラレ各區共其程度ヲ異ニシ等シク同狀態ノ下ニ非ザリシ爲メ歩留ガ土質ニヨリ差異アルヤ否ヤヲ比較スルヲ能ハズ

(B) 蒔付量ト歩留數トノ關係

歩留ハ各區トモ蒔付數量少キ程良好ニシテ多キニ從ヒ不良ナリ此現象ハ第五區亞デ第三區ニ於テ尤モ模範的ニ示サレタリ即第五區ニ於テハ一升蒔ハ四割四分九厘強ニシテ漸次蒔付量ヲ増スニ從ヒテ減ジ二升蒔ハ四割六分、三升蒔ハ三割九分一厘、四升蒔三割四分五厘ヲ示シ五升蒔ハ三割四分三厘ナリ又第三區ニ於テハ一升蒔ハ五割三分九厘ニシテ五升蒔ハ三割五分一厘ナリ但本區ニ於テ二升蒔三升蒔及四升蒔ノ五升蒔ニ比シ歩留不良ナリシハ同場所ニ於テ害敵「ちわらすば」ノ棲息多カリシニヨルモノトス而モ右ニ於テモ猶歩留ハ蒔付數量ニ反比例スルノ事實ヲ示セリ第四區モ亦「ちわらすば」ノ被害狀態不同ナリシ爲メ順序的成績ヲ示サズ三升蒔尤モ良好ニシテ三割四分八厘ヲ示シ一升及二升蒔ハ却テ不良ニ五升蒔ハ比較的良好ナリキ又各區ニ於テ一般ニ四升蒔ノ成績比較的不良ニシテ五升蒔良好ナリシモ同様害敵ノ多寡ニ基キ起リタル結果ナリトス

(C) 收納量

收納量ハ蠶體ノ成長歩留及坪當蒔付量ノ三者ニヨリ定マルモノニシテ之等ハ前述セルガ如クナルヲ以テ各區中收納量尤モ多キハ第五區ナルハ明ナル所ナリ又單ニ坪當收納量ヨリ見ル時ハ各區共一升蒔最モ少ク蒔付數量ヲ増スニ從ヒ多ク五升蒔ニ於テ尤モ多量ナリ

然レモ蒔付量ニ對スル増量割合ヨリ見ル時ハ歩留良好ナル一升蒔ニ於テ最モ多ク蒔付數量ヲ増スニ從ヒ漸次減シ五升蒔ニ於テ最モ少シ此關係ヲ最モ良ク示シタルハ第五區ニシテ即坪當一升蒔ニ於テハ收納量三升四合九勺即増量割合三、五倍弱ニシテ五升蒔ハ蒔付收納一斗一升三合ニシテ増量割合二、二六倍ニ當リ而シテ本區ノ平均増量ハ二、七倍トス第三區ニ於テハ増量平均ハ一、九二倍ニシテ最多ハ全ク一升蒔ニシテ其收納三升一合五勺ヲ示シ五升蒔ハ九升五合トナリ其ノ割合一、九倍ニ當レリ二升三升及四升蒔ハ前述セル如ク害敵ノ爲メ歩留惡ク爲ニ順序的關係ヲ見ルヲ得ズ第四區モ亦同様ニシテ一升及二升蒔ハ不良ニ五升及三升蒔ハ略ボ同割合ニテ何レモ蒔付量ノ二倍余ニ達セリ平均増量ハ約二倍トス

三、収支經濟

種介代金ハ一升ニ付三錢五厘蒔付費ハ二厘五毛計三錢七厘五毛ニシテ採取賃金ハ一升ニ付一升蒔ハ二錢二升蒔ハ一錢五厘三升蒔ハ一錢三厘四升蒔ハ一錢二厘五升蒔ハ一錢一厘トス又採取員賣却代ハ第五區ノモノハ品質優良ナル爲五錢四厘第三區及第四區ノモノハ五錢二厘ナリ元來蠶生具價格ハ繻

詰製造原料タルト乾製タルトヲ問ハズ總テ長崎ニ於ケル干煙ノ相場ニ基ケル本年ハ支那ニ於ケル革命騒亂ノ結果賣行悪シク甚ダ安唱ニシテ爲ニ生員モ例年ニ比シ頗ル廉ナリキ

(A) 第五區

坪當收納代金ノ尤モ少額ナルハ一升時十八錢八厘ニシテ漸次時付數量ヲ増スニ從ヒ増加シ二升時三十一錢一厘三升時三十九錢六厘四升時四十五錢八厘五升時ニ於テハ六拾壹錢ヲ擧ゲタリ然レモ資金即時付種員代及時付費ニ對スル割合ヨリ見ル時ハ一升時最モ良好ニシテ五十二割強ニ達シ時付數量ヲ増加スルニ從ヒテ漸減シ五升時ハ卅四割ナリ、又坪當純益モ右ト全様ニシテ單ニ坪當ヨリ云フ時ハ一升時ハ八錢ニシテ最モ少ク漸時時付數量ヲ増スニ從ヒ増加シ二升時十五錢三升時十八錢八厘四升時二十錢六厘ヲ示シ而テ五升時ハ二十九錢八厘余ニシテ最多ナリ然レモ資金ニ對スル割合ヨリ云フ時ハ之ト反對ニ一升時ハ約二十三割ヲ占メ最モ多ク五升時ハ十七割ニ當レリ

(B) 第四區

坪當時付量トノ關係ハ五區ト同様ナリ即坪當收納代金ハ一升時ノ拾六錢四厘ヲ最少トシ時付數量ヲ増スニ從フテ加ハリ二升時拾八錢六厘三升時三十二錢六厘四升時二十七錢ヲ示シ而シテ五升時ハ四十九錢四厘ニシテ最多ナリ然レモ資金ニ對スル割合ハ之ト反對ニ一升時尤モ良好ニシテ四十六割ニ達シ五升時ハ減ジテ二十七割ナリ

坪當純益モ同ク單ニ取得金額ヨリ見ル時ハ一升時ハ六錢三厘二升時五錢七厘三升時五錢六厘四升時五錢ヲ示シ而テ五升時二十一錢一厘ニシテ最モ多シ但資金ニ對スル割合ハ一升時ハ十八割ニシテ最多ニ五升時ハ下テ十一割六分ニ當レリ

(C) 第三區

五升時尤モ良好ナル成績ヲ示シ坪當收納五十二錢八厘ニシテ資金ノ二十九割ニ達シ四升時三十七錢四厘三升時三十一錢五厘四升時十九錢二厘ヲ示シ一升時ハ害敵ノ爲メ尤モ惡シク坪當八錢一厘ニシテ資金ノ二十二割ニ當レリ坪當純益ハ五升時二十二錢八厘ヲ最多トシ資金ノ十三割一分ニ及ビ四升時十三錢八厘三升時十二錢三厘二升時六錢一厘ヲ示シ一升時ハ壹錢貳厘ニシテ資金ノ三割八分ニ當レリ

之ヲ要スルニ第四區ハ害敵關係ノ爲メ順序的成績ヲ示サザリシモ順調ナリセバ何レモ第五區ニ於ケルガ如クナルベキハ推察シ得ル所ニシテ即第三區ハ一升時及五升時ヲ以テ標準トシ第四區ハ五升時ヲ以テ標準トシ第五區ニ準ジテ其成績ヲ推測シ得ベシ以上ノ成績ニヨリ之ヲ見ルニ坪當所得ヲ多カラシメンニハ厚時スルヲ良シトスレモ數ノ歩留ハ時付數量厚キニ應ジテ不良ナルヲ以テ種員ヲ基礎トシテ論ズル時ハ結局利益ヲ擧グルヲ少シ而シテ尤モ有利ナルハ坪當千個内外即一升三百三十粒内外ノ種員トスル時ハ坪當三升ノ割合ヲ以テ時付スルニアリ

四、摘要

本試驗ニヨリ得タル成績ノ概要ヲ摘記スレバ左ノ如シ

- 一、成長ハ土質ト頗ル密接ナル關係アリ第五區ノ如キ地下三尺位迄ハ泥七分細砂三分ノ割合ノ地尤モ良好ニシテ砂質若クバ介殼片等ヲ加フルニ從ヒテ生長鈍ナリ坪當三百五十粒(一升)乃至一千八百粒(五升)迄ニ於テハ厚蒔キハ薄蒔キニ比シ稍成長劣ルガ如クナレモ其差微々タリ
- 二、歩留ガ土質ニヨリ差異アリヤ否ヤハ試驗各區ガ害敵ニ遭ヒタル程度ヲ異ニシ同狀態ノ下ニ非リシ爲メ未ダ斷言スル能ハズ歩留ト蒔付量トノ關係ハ最モ著シク各土質ニ於テ坪當一升三百五十粒蒔最モ良好ニシテ蒔付數量ヲ増スニ從ヒ步減リ多シ
- 三、坪當收納量ハ貝ノ成長ト數ノ歩留トニ關係シ成長ハ蒔付種貝ノ大サ蒔付時期及土質ノ如何ニヨリ決シ歩留ハ蒔付種貝ノ健否ト蒔付數量トニヨリ定メラルレモ平均坪當一升蒔付ニ於テハ約二倍二升及三升蒔ニテハ二倍半四升及五升蒔ニテハ二倍弱ナリ而テ第五區ノ如キ良好ナル土質ナレバ尙以上ノ生産ヲ舉ゲ得ルモノトス
- 四、収支經濟何レノ土質ニ於テモ坪當收納量ハ蒔付數量多キニ從ヒ多ク之ニ伴ヒ坪當收納金額モ一升蒔尤モ少ク蒔付數量ヲ増スニ從ヒテ多キヲ示シ五升蒔ニ於テ尤モ多額ナリ然レモ歩留ハ蒔付數量多キ程不良ナルガ故資金ニ對スル割合ハ一升蒔尤モ良好ニシテ五升蒔最モ少シ而テ坪當純益ニ至リテモ同様ノ關係ヲ有セリ斯ク一見利益多キガ如ク見ユルヲ以テ當業者ハ多ク厚蒔キヲナセテ種貝ノ經濟的利用ヲ根本トシテ考フル時ハ結局ハ利益少キヲ知り得ベシ、然レモ一升三百五十粒入内外ノ種貝坪當一升蒔ニテハ不幸ニシテ斃死多ク爲メニ著ルシク稀薄トナル時ニハ採取賃ヲ多ク要シ不利ヲ醸スコト無キニ非ズ故ニ尤モ有利ナル蒔付量ハ坪當八百個乃至千二百個トス仍テ當業者ハ蒔付ノ際之ヲ標準トシ種貝一升入粒數ヲ算シ相當蒔量ノ蒔付ヲナスベキナリ

斯クシテ所謂被害サヘ無クバ本年ノ如キ支那革命騷亂ノ影響ノ爲生貝ノ價格甚ダ廉ナル場合ニ於テモ尙坪當純益ハ資金ニ對シ上等地ニテ十八割中等地ニテ十三割ヲ舉グル事容易ナリ今第五區ニ於ケル成績ニ付一反歩ニ換算セル收支經濟表ヲ左ニ掲ゲテ斯業ノ如何ニ有利有望ナルカラ示ス可シ(但シ地代ヲ算入セズ)

一升蒔一反步經濟

支 出		收 入		純 益	
拾壹圓	種貝三石代	五拾六圓五拾參錢		貳拾四圓	
貳拾五錢	一升ニ付	八厘		參拾四錢八厘	
拾圓五拾錢	七拾五錢	養成員			
參拾貳圓	參拾五錢	十石四斗七升代			
九拾四錢	九拾四錢	一升ニ付五錢四厘			
	採取賃				
	一升ニ付				
	貳錢				

二舛蒔一反步經濟

支	出	收	純
四拾八圓 參拾七錢 五厘 貳拾貳圓 五拾錢 壹圓五拾錢 蒔付費 養成員 十七石二斗五舛 採取賃 一舛二付 壹錢五厘	種貝六石代 一舛二付 參錢五厘 九拾參圓拾五錢 養成員 十七石二斗五舛代 一舛二付五錢四厘	四拾四圓 七拾七錢五厘	益

三舛蒔一反步經濟

支	出	收	純
六拾貳圓 參拾七錢 六厘 參拾參圓 七拾五錢 貳圓貳拾五錢 蒔付費 養成員貳拾貳石貳舛 採取賃 一舛二付壹錢參厘	種貝九石代 一舛二付參錢五厘 百拾八圓九拾錢八厘 養成員貳拾貳石貳舛代 一舛二付五錢四厘	五拾六圓五拾參錢 五拾六圓 五拾錢 貳拾八圓六厘 拾貳錢六厘	益

四升蒔一反步經濟

支	出	收	純
七拾五圓 五拾六錢 四厘 四拾五圓 參拾圓五拾 六錢四厘 四拾貳圓 一升二付 參錢五厘 參圓 蒔付費 養成員二十五石四斗七升 採取賃 一升二付壹錢貳厘	種貝十二石代 一升二付 參錢五厘 百參拾七圓五拾參錢八厘 養成員二十五石四斗七升代 一升二付五錢四厘	六拾壹圓 九拾七錢四厘	益

五升蒔一反步經濟

支	出	收	純
九拾參圓 五拾四錢 五拾六圓 貳拾五錢 參拾七圓 貳拾九錢 五拾貳圓五拾錢 一升二付參錢五厘 參圓七拾五錢 種貝蒔付費 養成員三十三石九斗 採取賃 一升二付壹錢壹厘	種貝十五石代 一升二付參錢五厘 百八拾參圓六錢 養成員三十三石九斗代 一升二付五錢四厘	九拾圓二十七錢 八十五圓五拾貳錢	益

二、大正元年度蟬蒔付囑托試驗採収成績

蟬養殖經濟ノ關係ヲ講究センガ爲メ前年山門郡獎勵協會ニ對シ之ガ試驗ヲ囑托施行セシコトハ同年度報告ニ記載シタル如クナルガ左ニ採収成績ヲ記述スベシ

イ、蒔付後ノ經遇及採収成績

蒔付後同年秋季ニ於テモ何等ノ被害ヲモ見ル事無ク經過極メテ良好ナリシモ同養殖場ハ大正元年蒔付本場養殖場第二區ト隣接シ居リ大正二年六月ニ於テ同地區被害時期ニ際シ同様罹災シ六月四日頃ヨリ斃死ヲ見ルニ至リ其勢停止スル所ヲ知ラザリシヲ以テ同月七日ヨリ採収ニ着手シ同月二十二日迄ニ於テ二百六十六坪ヨリ十六石七斗六升五合ヲ擧ゲタリ然ルニ二十七日ヨリハ小潮ニテ養殖場干出スルニ至ラザリシヲ以テ放置シ越エテ二十九日ニ至リ干出セシカバ調査シタルニ被害終熄セシヲ認メシヲ以テ其儘殘存セシメ八月二十九日ヨリ九月二日迄ニ於テ殘餘二百坪ノ採取ヲ行ヒタルニ總量十一石七斗六升ヲ擧ゲ得タリ左ニ採収成績ヲ表示ス可シ

蒔付	年月日	體長	體高	體厚	體重	一升入粒數	面積	數量
大正二年七月三十一日ヨリ八月十五日迄		一、五三寸	〇、四四寸	—	一、一六匁	三七〇ケ	五六六坪	一五石七斗

採收	自	至	體長	體高	體厚	體重	一升入粒數	面積	數量
全	日	日	二、四一	〇、七五	〇、五一	五、二〇	七四ケ	三六六坪	一六石七斗五升五合
	自	至	二、四八	〇、八〇	〇、五六	七、〇	五四	二〇〇	一石七斗六升
	日	日							
	至	至							
	日	日							
	日	日							

ロ、收支經濟

養殖場面積五百六十六坪ニ對スル收支經濟ヲ掲グレバ左ノ如シ

支	出	收	入	純益
一金九拾參圓七拾五錢 內 譯 金五拾參圓貳拾錢 金參圓四拾七錢 金參拾七圓八錢	種貝十五石二斗代 一升ニ付參錢五厘 蒔付費 養成貝廿八石五斗二升 五合一升ニ付壹錢參厘	一金百五拾七圓八拾八錢 養成貝賣却代 內九拾五圓五拾五錢八厘 六月中旬採取貝 十六石七斗六升五合 一升ニ付五錢七厘 金六拾貳圓參拾貳錢八厘 八月下旬採取貝 十一石七斗六升代 一升ニ付(五錢參厘)	一金六拾四圓 拾參錢	

又右ヲ一反歩ニ換算シタル經濟ヲ表示スレバ左ノ如シ

一反歩經濟

支	出	收	純益
四拾九圓五 拾九錢壹厘 貳拾九圓九 拾參錢五厘 拾九圓六拾 五錢六厘	二拾八圓 種貝八石三升代 拾錢五厘 一升ニ付參錢五厘 壹圓八拾參錢 蒔付費 養成貝十五石一斗二升採取費 一升ニ付 壹錢參厘	八拾四圓六拾七錢 貳厘 養成貝十五石一斗 二升賣却代 一升平均五錢六厘	參拾五圓八錢 壹厘

即被害ノ爲約半數ヲ斃死セシメタルニ係ラズ猶且一反歩ニ對シ生産額八拾四圓六拾七錢ヲ舉ゲ資金約參拾圓ト養成貝採取賃約拾九圓六拾五錢ヲ差引純益參拾五圓餘ヲ收メ得タリ

三、當業者養殖成績ノ一例

既ニ記セルガ如ク大正元年ニ於テハ輕ニ何等被害ヲモ見ルヲ無ク一般當業者養殖ノ成績モ極メテ佳良ナルヲ示シタリ就中山門郡西宮永村本場養殖場看守矢ヶ部鶴次ガ收メタル成績ノ如キハ其規模ハ極メテ小ナリシモ尤モ優良ナル結果ヲ收メ得タルヲ以テ今參考ノ爲メ右支經濟ノ概要ヲ左ニ摘記セントス

養殖場ハ西宮永村養殖場(長榮開堤防ヨリ約四百間ノ沖合)面積十一坪ニ對シ大正元年七月二十四日一升入粒數四百個ノモノ總量三斗ヲ蒔付ケ大正二年八月二十三日滿一年一ヶ月ニシテ採收シタルニ總石數一石一斗四升五合ヲ舉ゲ得タリ而テ其收支經濟ヲ掲グレバ左ノ如シ

支	出	收	純益
一金貳圓五拾七錢四厘 內 譯 金壹圓〇五錢 金拾五錢 金壹圓參拾七錢四厘	種貝三斗代一升ニ付 參錢五厘 蒔付費 養成貝一石一斗四升五合 採取賃一升ニ付壹錢貳厘	一金五圓八拾四錢 養成貝一石一斗四升五合 代一升ニ付五錢五厘	參圓貳拾六錢 七厘

之ヲ一反歩ニ換算スル時ハ次ノ如シ

支	出	收	純益
七拾圓拾錢 參拾貳圓 六拾參錢 參拾七圓四拾七錢貳厘	貳拾八圓 種貝八石一斗八升代 六拾參錢 一升ニ付參錢五厘 四圓 蒔付費 養成貝三十一石二斗 二升七分一升ニ付 壹錢壹厘	百五拾九圓貳拾五 錢八厘 養成貝三十一石二 斗二升七分代一升 ニ付五錢壹厘	八拾九圓拾五 錢七厘

備考、西宮永漁業組合蠶養殖場貸付料ハ一坪ニ付六厘ノ規定アレモ被害後徴收無キヲ以テ之ヲ算入セス。

即蒔付後何等ノ手數ヲ要セズ放置滿一年一ヶ月ニシテ蒔付種貝量ニ比シ三、八倍餘ノ增量ヲ示シ而テ養成貝價格ハ近年ニ於ケル最低價ナリシニモ係ラズ尙一反歩収入百五拾九圓貳拾五錢八厘ヲ舉ゲ之ニ對スル支出七拾圓拾錢ヲ差引純益八拾九圓拾五錢七厘ヲ收メ得タルモノニシテ恰モ其純益蒔付當時ノ資金ニ比シ二倍七三ニ當レリ右ハ即被害ニ遭遇セザル場合ニ於ケル養殖經濟ト見ルコトヲ得ベキモノナリ而テ蠶養殖ハ全部勞力ニ依ルノミナルヲ以テ當業ニシテ種貝採收、蒔付及養成貝採收等總ベテ自己ノ勞力ニノミ依ル時ハ利益一層多大ナルヲ致ス可シ以テ如何ニ養蠶業ノ有利有望ナルカラ認ムベク從ツテ被害救濟方法講究ノ如何ニ急務ナルカラ推知スベキナリ

四、大正二年蠶蒔付試驗

本年ニ於テハ五月ヨリ十月迄各月ニ亘リ比較的廣規模ニ土質ヲ異ニセル各地ニ蒔付ケヲナシ被害原因調査及救濟方法試驗ノ資料トナスト共ニ經濟試驗ヲモ併セ行フ計劃ノ下ニ山門郡地先ニ蒔付ヲ實施シタリ

イ、五月蒔付試驗

例年種貝ノ被害ハ梅雨期前後即五月下旬ヨリ六月中旬頃迄ニ起ルヲ例トス此ノ以前採捕シテ沖合養殖地ニ移殖スルノ可否ニ就キテハ昨年度始メテ試驗シタル所ニシテ其採收成績ハ前章記載シタル如クナルガ本年ハ一層規模ヲ擴張シテ蒔付ヲナシ其ノ得失ヲ講究スルコト、シタリ

1、養殖場位置

山門郡西宮永村地先沿岸堤防ヨリ約六百四十間ノ沖合ニ位シ明治開及長榮開境界ヨリ二百四十八、五度長榮開西南角ヨリ二百二十六度ノ位置トス

2、土質

土質ハ砂泥質ニシテ少量ノ介殼片ヲ混ズ其ノ割合次ノ如シ

細	砂	泥
表面	五〇%	五〇%
一尺五寸下	六五%	三五%

3、種貝採收及蒔付

種貝ハ第二禁漁區及明治開地先ヨリ採取シ「イ」「ロ」及「ハ」ノ三區ニ蒔付ヲ行ヘリ

(イ、ロ) 種貝採取地ハ第二禁漁區ニシテ五月二十日ヨリ二十二日ニ至ル三日間ニ平均体長八分二厘

一升入粒數一千六百個人ノモノヲ採收シ坪一升時百坪及八合時八十七坪五合ノ時付ヲナシタリ種貝
稚小纖弱ニシテ採捕容易ナラズ一人ノ採取量ハ作業時間四時間三十分ニシテ最多三升九合平均約一
升七合ヲ示セリ、
種貝大サ左ノ如シ

最 大	殼 長	殼 高	殼 厚	体 重	一升入粒數
一、〇三寸	〇、三五	〇、二二	〇、二一	〇、四二七	
最 小	〇、七〇	〇、二二	〇、一五	〇、一六〇	
平均(二十ヶ)	〇、八二	〇、二七	〇、一六	〇、一八七	一、六〇〇ヶ

(ハ) 明治開東南角地先ハ例年種貝多數發生ヲ見レ五六月頃ニ於テ必ず殆ド斃死シ盡スヲ例トスル
ヲ以テ此以前採捕シテ養殖場ニ移殖セバ其結果如何ナルベキカラ調査スル爲メ五月二十三日種貝二
升ヲ採捕シテ坪五合宛四坪ノ時付ヲナシタリ當地先種貝ハ第二禁漁區産ニ比シ成長不良ニシテ平均
体長六分一厘一升入粒數二千七百個ヲ算シ採捕極メテ困難ニシテ其採捕量ハ作業時間四時參拾分ニ
シテ最多二升平均六合ニ過ギザリキ
種貝ノ大サ左表ノ如シ

最 大	殼 長	殼 高	殼 厚	体 重	一升入粒數
〇、八〇寸	〇、二六	〇、一三	〇、一六		
最 小	〇、四五	〇、一五	〇、〇九	〇、〇三	
平均(二十ヶ)	〇、六一	〇、二一	〇、一二	〇、〇八	二、七〇〇ヶ

種貝採捕及時付狀況ヲ表示スレバ左ノ如シ

養殖場別	面積 種貝一 升入粒 付量	採取地 採取日 時	種付 時	種貝時付當時ノ氣象及海洋觀測(養殖場)										
				雨量	雲量	風向	風力	氣温	海面停滯水	土中水	土壌温度			
坪五	一、六〇ヶ	第一禁漁區	五月二十日 午前十一時 至午後五時	—	三	西南	軟	二四、三度	三、八度	二、七度	二、三度	一、六度	二、九度	二、八度
坪三〇	同	同	五月廿一日 午前十一時 至午後六時	—	六	西南	軟	二四、三度	三、〇度	二、三度	一、七度	一、六度	二、九度	二、八度
坪七、五	同	同	五月廿二日 午前十一時 至午後六時	—	一	西南	軟	二四、三度	三、七度	二、七度	一、八度	一、五度	二、九度	二、八度
坪二、二	同	同	五月廿三日 午前十一時 至午後六時	—	三	西南	軟	二四、三度	三、七度	二、七度	一、八度	一、五度	二、九度	二、八度

比重ハ攝氏十五度ニ換算セルモノニシテ一、〇ヲ異ス

4、蒔付後ノ經過

蒔付後廿日間ハ經過極メテ良好ナリシモ六月十日頃ヨリ斃死スルモノ續出シ十二月迄ニ於テ遂ニ一升蒔及八合蒔ニ於テハ約五割五合蒔ニ於テハ約二割ノ斃死ヲ見タリ本養殖場ハ昨年蒔付ノ第二區及第一區ニ接近シ同區ノ被害ト時期ヲ同シテ亦其厄ニ遭遇セルモノトス而シテ十三日以後斃死態終熄シ其後ノ經過ハ良好ナリシモ再ビ秋季ニ至リ一般養殖貝大被害ノ際十月四五日頃ヨリ廿日頃迄ニ於テ同様羅式シ生存貝中約七割ノ斃死ヲ見ルニ至レリ但廿日以内被害終熄シ其後ノ經過ハ良好ナリキ

5、成長度

蒔付後各月調査セル成長度左ノ如シ但二十個ノ平均トス

イ 區

調査月日	殻長	殻高	殻厚	体重	一升入粒數
五月二十日	〇、八二〇	〇、二七〇	〇、一六〇	〇、一八七	一千六百ヶ入
七月二日	一、三四五	〇、四三一	〇、二八八	〇、八九〇	
七月卅一日	一、六五九	〇、五三三	〇、三四九	一、六九三	
八月卅一日	二、一五〇	〇、六八〇	〇、四四〇	三、四一〇	
九月卅一日	二、一七二	〇、六八三	〇、四五九	三、六五〇	

調査月日	殻長	殻高	殻厚	体重	一升入粒數
十一月六日	二、二二〇	〇、六九四	〇、四五〇	三、六八〇	
十二月廿六日	二、二一〇	〇、七〇四	〇、四九八	四、二二六	
大正三年一月卅日	二、二九〇	〇、七二七	〇、七四八	四、三八〇	
二月廿六日	二、三六〇	〇、七三〇	〇、五〇七	四、八〇〇	
三月廿九日	二、四五〇	〇、七七三	〇、五五九	五、五九〇	

ハ 區

調査月日	殻長	殻高	殻厚	体重	一升入粒數
蒔付當時	〇、六一三	〇、二〇九	〇、一二〇	〇、〇八〇	二千七百ヶ入
五月二十三日	一、一八七	〇、三八九	〇、二六二	〇、六三一	
七月二日	一、六四二	〇、五二六	〇、三三八	一、六五九	
七月卅一日	二、〇〇九	〇、六四三	〇、四二八	三、〇五四	
八月卅一日	二、一六〇	〇、六六一	〇、四五七	三、四二六	
九月卅一日	二、一七〇	〇、六五〇	〇、四六〇	三、八四〇	
十一月六日	二、一八〇	〇、六九二	〇、四六〇	三、四七〇	
十二月廿七日	二、二六一	〇、七一一	〇、五七八	四、二〇〇	
大正三年一月卅日	二、三一〇	〇、七三〇	〇、五二六	四、八〇〇	
二月廿六日	二、四二〇	〇、七七七	〇、五六六	五、七四〇	
三月廿九日					

ロ、六月蒔付試験

1、養殖場位置

五月蒔付區ノ北方約百間ノ位置ニアリ明治長榮開境界ヨリ二百五十一度長榮開西南角ヨリ二百二十六度ノ位置トス

2、土質 五月蒔付區ト同シ

3、種貢採取及蒔付

六月廿一日ヨリ廿四日ニ至ル三日間ニ於テ第二禁漁區産稚貝平均体長一寸五厘一升入粒數八百三十粒ノモノヲ採取シ一坪ノ割合ヲ以テ九十四坪ニ蒔付ヲナシタリ種貝ハ著シク成長シ前月一升千七百粒入ノモノ一ヶ月ニシテ八百三十粒トナリ一人採捕量ハ作業時間四時間半ニテ最多七升六合平均四升三合ヲ示セリ

稚貝大サ次ノ如シ

最 大	最 小	平 均 (三十ヶ)
一、二八	〇、七四	一、〇五
〇、四〇	〇、二四	〇、三四
〇、二五	〇、一四	〇、二一
〇、七四	〇、一三	〇、四三
一升入粒數		八三〇ヶ

種貝蒔付後約十分ニシテ全部潜入シ盡セリ左ニ蒔付狀況ヲ表示スベシ (比重ハ攝氏十五度ニ換算シ一、〇ヲ略ス)

面積 種貝 一升 量	種貝 採取 地	種貝採取 月日時	種貝蒔付 日	種貝蒔付當時ノ氣象及海洋觀測 (養殖場)	
				雨 量	風向 風力
〇坪	第一區	六月廿一日 后一時三十分	同日 后四時三十分	—	西 軟
三坪	第二區	六月廿二日 后六時迄	同日 后六時一六分	—	南 和
三坪	第三區	六月廿四日 后三時三十分	同日 后六時一七時	—	南 軟
				溫度	濕面停滯水
				比重	土 中 水
				溫度	土 表 面
				一尺	土 壤 溫 度
				二尺	

4、蒔付後ノ經過

蒔付後經過佳ナリシモ同年秋季ニ於ケル被害ヲ免ル、一能ハズシテ十月四五日頃ヨリ二十日頃迄ニ於テ約六割以上ノ斃死ヲ見ルニ至レリ然レモ他ノ養殖區ニ比シ其ノ程度尤モ輕カリキ而テ二十日以後ハ被害終熄シ以後健全ニ成育シツ、アリ

5、成長度

3、蒔付後ノ經過

蒔付後ノ經過良好ナリシモ秋季被害ノ際十月三四日頃ヨリ斃死シ初メ同月二十日頃迄ニ於テ約六割ヲ斃スニ至レリ而テ本區附近ハ前記五六月蒔ニ比シ被害ノ程度激甚ナリキ

4、成長度

各月二十ケニ付調査セル平均成長度左ノ如シ

蒔付當時	殼長	殼高	殼厚	體長	一升入粒數
七月 六日	一、二九〇	〇、四一〇	〇、二五〇	〇、六八八	五三二ケ
七月 卅一日	一、五四七	〇、四八八	〇、三〇九	一、三〇五	
八月 卅一日	一、八四〇	〇、六一〇	〇、三八六	二、三七〇	
九月 卅日	二、一六五	〇、六五〇	〇、四二〇	三、二八一	
十一月 六日	二、一七二	〇、六四〇	〇、四一五	三、二九八	
十二月 廿七日	二、〇八五	〇、六五三	〇、四二二	三、四二一	
三年一月 廿九日	二、二二〇	〇、七〇六	〇、四五〇	三、九〇〇	
二月 廿六日	二、二六七	〇、七一〇	〇、四七〇	四、一〇〇	
三月 廿九日	二、二八〇	〇、七二二	〇、五一二	四、六九〇	

二、七月中旬蒔付試驗

1、養殖場位置

西宮永村地先沿岸ヨリ約 間ノ沖合ニシテ長榮明治兩開ノ境界ヨリ二百二十五度長榮開西北角ヨリ二百五十二度ノ位置トス

2、土質

表面	細砂	泥
二尺下	三五	六五
	四五	五五

3、種貝採取及蒔付

七月十六日ヨリ七月二十一日ニ至ル間ニ於テ第二禁漁區産種貝平均體長一寸三分三厘一升入粒數四百四十個ノモノヲ採取シ一坪二升蒔百七十坪三升蒔百五十坪四升蒔八十坪ノ蒔付ヲナシタリ種貝ハ前回ニ比シ著ルシク成長シ一升入四百四十粒入トナリ作業時間四時間ニテ一人最多一斗三升平均九升入外ノ採取量ヲ示セリ

蒔付種貝ノ大サ左ノ如シ

殼長	殼高	殼厚	體重	一升入粒數
----	----	----	----	-------

平均(二十ヶ)	最 小	最 大
一、三三三	一、〇〇〇	一、六〇〇
〇、四〇〇	〇、三三三	〇、四九九
〇、二七	〇、一八	〇、三三二
〇、八	〇、二九三	一、一四六

蒔付狀況ヲ表示スレバ左ノ如シ(比重ハ攝氏十五度ニ換算シ、〇ヲ略ス)

養殖場	面積	種貝採取日	種貝採取時	種貝採取及蒔付當時氣象及海洋觀測表	
				雨量	風力
イ 坪	一、〇〇〇	七月十六日	午後一時	軟南	三、〇度
ロ 坪	一、〇〇〇	七月十七日	午後二時	軟西	三、五度
ハ 坪	一、〇〇〇	七月十八日	午後三時	和北	三、五度
ニ 坪	一、〇〇〇	七月十九日	午後四時	軟西	三、〇度
ホ 坪	一、〇〇〇	七月二十日	午後五時	軟西	三、〇度

4、蒔付後ノ經過

蒔付後ノ經過良好ナリシモ秋季被害ノ際十月二三日頃ヨリ同月二十日頃迄ニ於テ約八割ヲ斃死セシムルニ至レリ而テ本區附近ハ前記五、六月蒔付區ニ比シ被害ノ程度激甚ナリキ

5、成長度

各月二十ヶニ付調査セル成長度左表ノ如シ

事項	調査月日	殼長	殼高	殼厚	體重
(蒔付時)	七月十六日	一、三二九	〇、三九六	〇、二六五	〇、八一
	九月三日	一、九六〇	〇、六〇九	〇、四〇〇	二、六四〇
	九月三十日	二、一五七	〇、六五〇	〇、四四七	三、三〇五
	十一月六日	二、一九〇	〇、六五〇	〇、四五〇	三、二一〇
	十二月廿七日	二、一九五	〇、六五〇	〇、四六〇	三、三〇〇
	大正三年一月卅日	二、三五〇	〇、七〇六	〇、四四〇	三、四〇〇
	二月廿六日	二、四三〇	〇、七三〇	〇、五二七	四、七〇〇
	三月廿九日	二、四七〇	〇、七三四	〇、五〇七	五、一六〇

ホ、八月上旬蒔付試驗

1、養殖場位置、及土質

前記七月中旬蒔ト同様ナリ

2、種貝採取及蒔付

八月四日ヨリ八日迄ノ間ニ於テ第二禁漁區産種貝平均体長一寸三分七厘一升入粒數三七八粒ノモノヲ採取シ坪當二升蒔五十坪三升蒔百坪四升蒔五十坪ノ蒔付ヲナシタリ

種貝ノ大サヲ示セバ左ノ如シ

最	最	最	平均(二十ヶ)
大	小	大	
一、七六寸	〇、九九	一、三七	
〇、五五	〇、三三	〇、四三	
〇、三三	〇、二〇	〇、二八	
〇、三二	〇、二〇	〇、二八	
一、六五	〇、三八	〇、九三	
三七八	三七八	三七八	
一升入粒數			

種貝採取及蒔付當時ニ於ケル狀況ハ左表ノ如シ(比重ハ攝氏十五度ニ換算シ一、〇ヲ略ス)

養殖場區別	積面	種貝一升入粒數	坪當蒔付種貝量	種貝採取地	種貝採取月日時	種貝蒔付日時	種貝採取位置	觀測雨量	雲量	風向	風力	氣温	海面停滯水温度	土中水温度	土壤温度
(イ)	五、坪	一、七六ケ	二升	第二區	八月五日 自前十一時 至后三時	八月五日 午后三時半	採取地			軟西	二八、〇度	二九、六	二五、〇	二四、七	二五、〇
(ロ)	五、	全	三升	採取地	八月六日 自正午 至后四時半	八月六日 午后五時	採取地			軟西	三〇、二	二八、三	二五、四	二四、六	二五、四
(ハ)	五、	全	四升	採取地	八月七日 自后二時 至后五時半	八月七日 午后六時	採取地			軟北西	三六、二	三三、〇	二七、七	二四、五	二五、五
				養殖場	八月八日 自后三時 至后六時半	八月八日 午后六時半	採取地			軟	三〇、〇	二七、七	二四、五	二四、五	二五、五

3、蒔付後ノ經過

蒔付後經過良好ナリシモ秋季ノ被害ノ爲メ十月三四日頃ヨリ同月二十日頃迄ニ於テ約八割ノ斃死ヲ見ルニ至レリ

4、成長度

月	項	日	日	殼長	殼高	殼厚	体重	一升入粒數
蒔付當時		七月十六日		一、三二九	〇、三九六	〇、二六五	〇、八一	三、七八
七月		八月三日		一、九六〇	〇、六〇九	〇、四〇〇	二、六四〇	

九月 卅日	二、一五七	〇、六五〇	〇、四四七	三、三〇五
十一月 六日	二、一九〇	〇、六五〇	〇、四五〇	三、二一〇
十二月 廿七日	二、一九五	〇、六五〇	〇、四六〇	三、三〇〇
三年一月 廿九日	二、四三〇	〇、七〇六	〇、四四〇	三、二〇〇
二月 廿六日	二、三三〇	〇、七三〇	〇、五〇七	四、七〇〇
三月 廿九日	二、四七〇	〇、七三四	〇、五二七	五、一六〇

へ、八月中旬蒔付試験

1、養殖場位置及土質前記八月上旬蒔付ニ隣接シ土質亦同様ナリ

2、種貝採取及蒔付

八月十四日ヨリ二十二日ニ至ル期間ニ於テ第二禁漁區産種貝体長一寸四分八厘一升ノ粒數四百ヶ入ノモノ坪當二升三升及四升各五十坪宛ノ蒔付ヲナシタリ種貝ノ大サ次表ノ如シ

最 大	一、八五	〇、五六	〇、四五	二、〇八	一升入粒數
最 小	一、一〇	〇、三五	〇、二五	〇、六一	
平 均	一、四八	〇、四七	〇、三四	一、三七	四〇〇ヶ

種貝採取及蒔付狀況ハ次表ノ如シ

養殖場別	面積	種貝採取日	種貝蒔付日	観測位置	種貝採取及蒔付當時ノ氣象及海洋観測													
					雨量	風向	風力	温度	比重	土中	表面	一尺	二尺					
イ	坪 五、四〇〇	第二禁漁區	八月十四日	採取地	—	西	三、〇	三、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ロ	全 三升	採取地	全	採取地	—	上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ハ	全 四升	採取地	八月十五日	採取地	—	南	三、四	三、四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

3、蒔付後ノ経過

蒔付當時ハ経過良好ナリシモ秋季ノ被害ノ爲メ十月三四日頃ヨリ同月二十日頃迄ニ於テ約八割ノ斃死ヲ見タリ

4、成長度

蒔付月日	殼長	殼高	殼厚	体重	一升入粒數
------	----	----	----	----	-------

蒔付當時	一、三寸	〇、三寸	〇、二寸	〇、一寸	〇、八分
七月十六日	一、三二九	〇、三九六	〇、二六五	〇、八一	四〇〇ケ
九月三日	二、〇二二	〇、六二〇	〇、四一〇	二、八五三	
九月卅日	二、一二五	〇、六六一	〇、四四七	三、〇九三	
十一月六日	二、一八〇	〇、六八〇	〇、四六〇	三、四九三	
十二月廿七日	二、一九〇	〇、六八〇	〇、四六一	三、五〇〇	
三年一月廿九日	二、二〇〇	〇、六八〇	〇、四七〇	三、六〇〇	
二月廿六日	二、二八〇	〇、六九六	〇、四九五	四、二六〇	
三月廿九日	二、三三五	〇、七一〇	〇、四九五	四、五〇〇	

ト、九月中旬佐賀縣產種貝移植試験

從來佐賀縣產種貝ノ移植ハ運般ニ稍長時間ヲ要シ且種貝ノ採取方法兎角不良ナル爲メ成績思ハシカラズ本年ハ既ニ蒔付期節稍遅レタレモ之カ移植ヲナシ被害トノ關係ヲ考究スルノ目的ノ下ニ本試験ヲ施行シタリ

1、養殖場位置及土質

山門郡兩開村地先ニ位シ明治開長榮開ノ境界ヨリ二百三十五度、長榮開西南角ヨリ二百十三度ノ位置トス土質ハ

2、種貝接取及蒔付

九月十日午前佐賀縣丈井道地先湯ニ於テ体長一寸五分一厘一升入粒數二百五十五個ノ二年生種貝三石三斗九升及体長一寸九分六厘一升入粒數百十個ノ三年貝一斗ヲ採取シ二斗ノ筈ニ約一斗五升ヲ入レ船ニ載積シ運搬セリ正午出立ニ際シ降雨ニ遭遇セシヲ以テ苦ニテ被ヒヲナシ途中二回海水ヲ注ギテ運搬シ午后四時實驗所ニ歸着陸揚ゲシテ一夜ヲ經翌日再ビ船ニ積ミ微雨ヲ冒シテ養殖場ニ至リ午後二時蒔付ヲ行ヒタリ種貝ノ大サ左ノ如シ

最	最	平	最	最	殼長	殼高	殼厚	体長	一升入粒數
大	小	均	大	小	寸	寸	寸	分	ケ
二、二〇	一、九〇	一、九六	〇、七〇	〇、六〇	〇、六四	〇、五三	四、三	二、四	一〇ケ
一、三〇	〇、六〇	〇、四八	〇、五三	〇、四五	〇、四八	〇、四五	一、三〇	一、三〇	

二年貝

最	最	平	最	最	殼長	殼高	殼厚	体重	一升入粒數
大	小	均	大	小	寸	寸	寸	分	ケ
一、七五	一、一〇	一、五一	〇、五二	〇、三五	〇、四四	〇、三九	一、二八	〇、五三	二五ケ
〇、五二	〇、三一	〇、三五	〇、三九	〇、三一	〇、三五	〇、三一	一、四三	一、四三	

3、蒔付状況

種貝ノ採收稍不良ナリシ上長途ノ運搬中降雨ニ遭遇シ且一晝夜ヲ陸上ニテ經過セシメタル爲種貝稍衰弱シ蒔付當時已ニ一割五分ノ斃死ヲ見タリ今蒔付状況ヲ表示スレバ左ノ如シ

(比重ハ攝氏十五度ニ換算シ、〇ヲ略ス)

種貝蒔付及採取當時ノ氣象及海洋觀測表 (養採收場)	種貝採取		種貝蒔付		雨量		雲量		風向		風力		氣温		海面停滯水		土中水		土壤温度		
	種貝採取	種貝蒔付	種貝採取	種貝蒔付	雨量	雲量	風向	風力	氣温	温度	比重	温度	比重	表面	一尺	二尺	温度	比重	表面	一尺	二尺
二、二〇五坪	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
三、三〇五坪	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
三、三〇五坪	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

4、蒔付後ノ經過

其後九月廿八日頃ニ至リ斃死ヲ生ズルニ至リ其勢激烈ニシテ十月二十日頃終熄迄ニ於テ二年貝三年貝共殆ド九割五分ノ斃死ヲ見タリ

チ、九月中旬蒔付試験

鯉ハ滿一ケ年ニシテ産卵シ其ノ時期ハ主トシテ九月中旬ヨリ十月中旬ニ及ブモノナルガ此ノ期節ノ鯉ヲ蒔付ケシメル場合被害トノ關係如何ナルベキヲ講究センガ爲メ本試験ヲ施行シタリ

1、養殖場位置及土質

前記八月蒔ノ東ニ隣接シ土質亦同様トス

2、種貝採取及ビ蒔付

九月十三日第二禁漁區産種貝体長一寸四分五厘一升入粒數三百個ノモノヲ採取シ坪當三升ノ割合ヲ以テ四十九坪ノ蒔付ヲナシタリ種貝ノ大サ次表ノ如シ

最	最	最	平	均
大	小	均	大	小
一、七〇	一、二三	一、四五	一、七〇	一、二三
〇、五三	〇、四二	〇、四六	〇、五三	〇、四二
〇、三八	〇、二六	〇、三二	〇、三八	〇、二六
二、〇	〇、八	一、一四	二、〇	〇、八
一升入粒數			一升入粒數	
			三〇〇ケ	

蒔付時ノ氣象及海洋狀況左ノ如シ

種貝採取	種貝蒔付	觀測	雲量	風向	風力	氣温	海面停滯水	土中水	土壤温度
九月十三日	同日	位置	二〇	西南	軟	二五、四	—	—	—
九月十三日	同日	位置	二〇	西南	軟	二五、四	—	—	—
九月十三日	同日	位置	二〇	西南	軟	二五、四	—	—	—

3、蒔付後ノ經過

蒔付當時ノ狀況ハ良好ナリシモ十月二三日頃ヨリ斃死ヲ生シ同月二十日頃迄ニ於テ約九割ノ斃死ヲ見タリ

リ、十月蒔付試験

種貝中産卵ヲ終レルモノ約半数ヲ有セルガ前項ト同ク産卵期中ノ蛭蒔付ノ結果ヲ講究センガ爲メ本月蒔付ヲ施行シタリ

1、養殖場位置及土質

前項九月蒔付試験地ト隣接シ土質亦同様トス

2、種貝ノ蒔付及採取

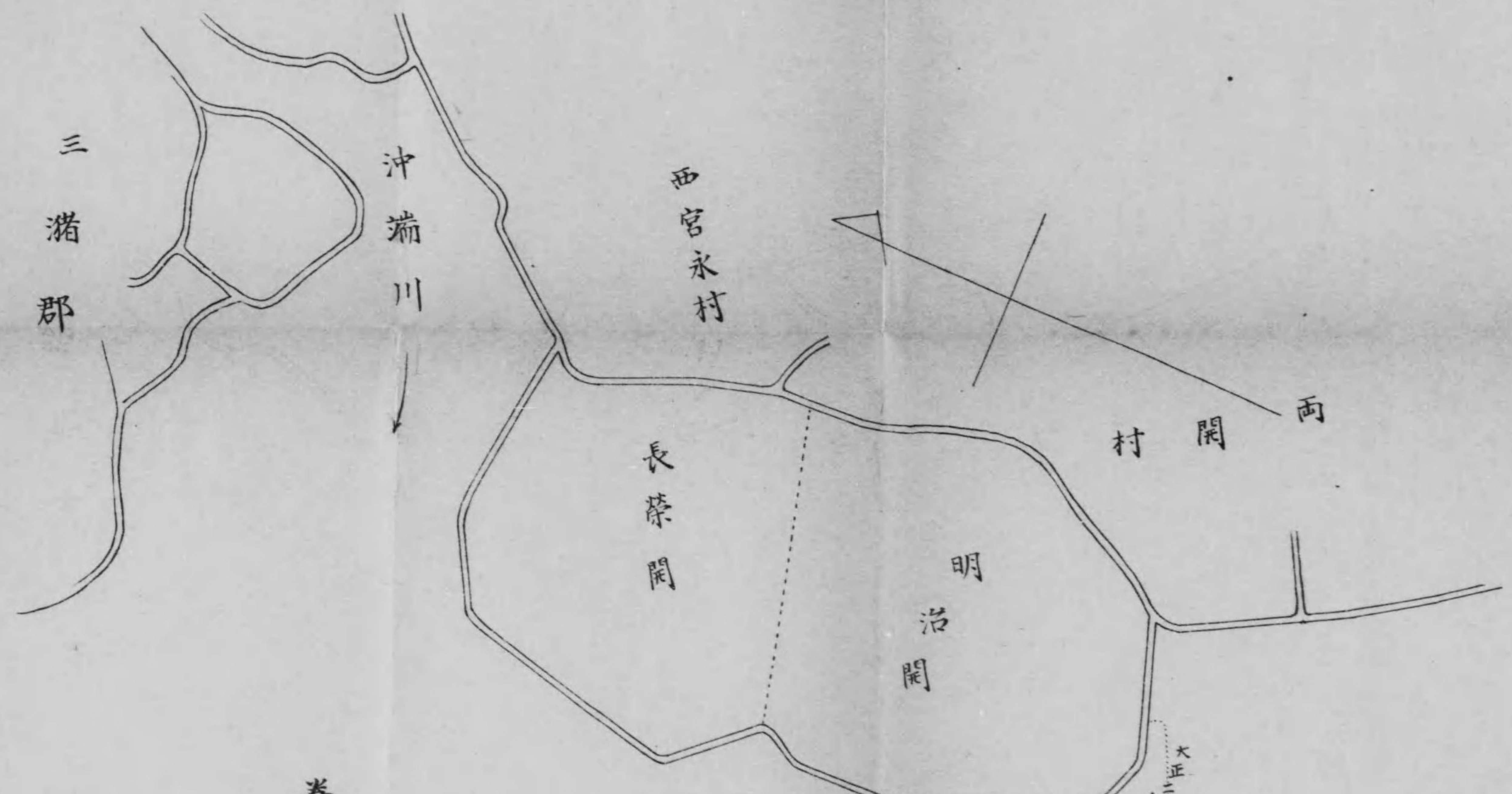
十月七日第二禁漁區産種貝体長一寸六分三厘一升入粒數二五一粒ノモノ坪當三升ヲ以テ十二坪ノ蒔付ヲ行ヒタリ種貝ノ大サ左ノ如シ

最 大	最 小	平 均	殼 長	殼 高	殼 厚	体 重	一 升 入 粒 數
一寸七七	一寸四五	一寸六三	〇、五五	〇、四六	〇、五三	〇、三五	二五一ケ
一寸八	〇、八〇	〇、三九	〇、三五	〇、二七	〇、三三	一、八一	

養殖場位置

一万二千分の一

- 大正二年蒔付養殖場
1. 五月蒔
 2. 六月蒔
 3. 七月上旬蒔
 4. 七月中旬蒔
 5. 八月上旬蒔
 6. 八月中旬蒔
 7. 九月中旬蒔
 8. 同(佐賀種蒔付区)
 9. 十月蒔
- △彌敷貝養殖場



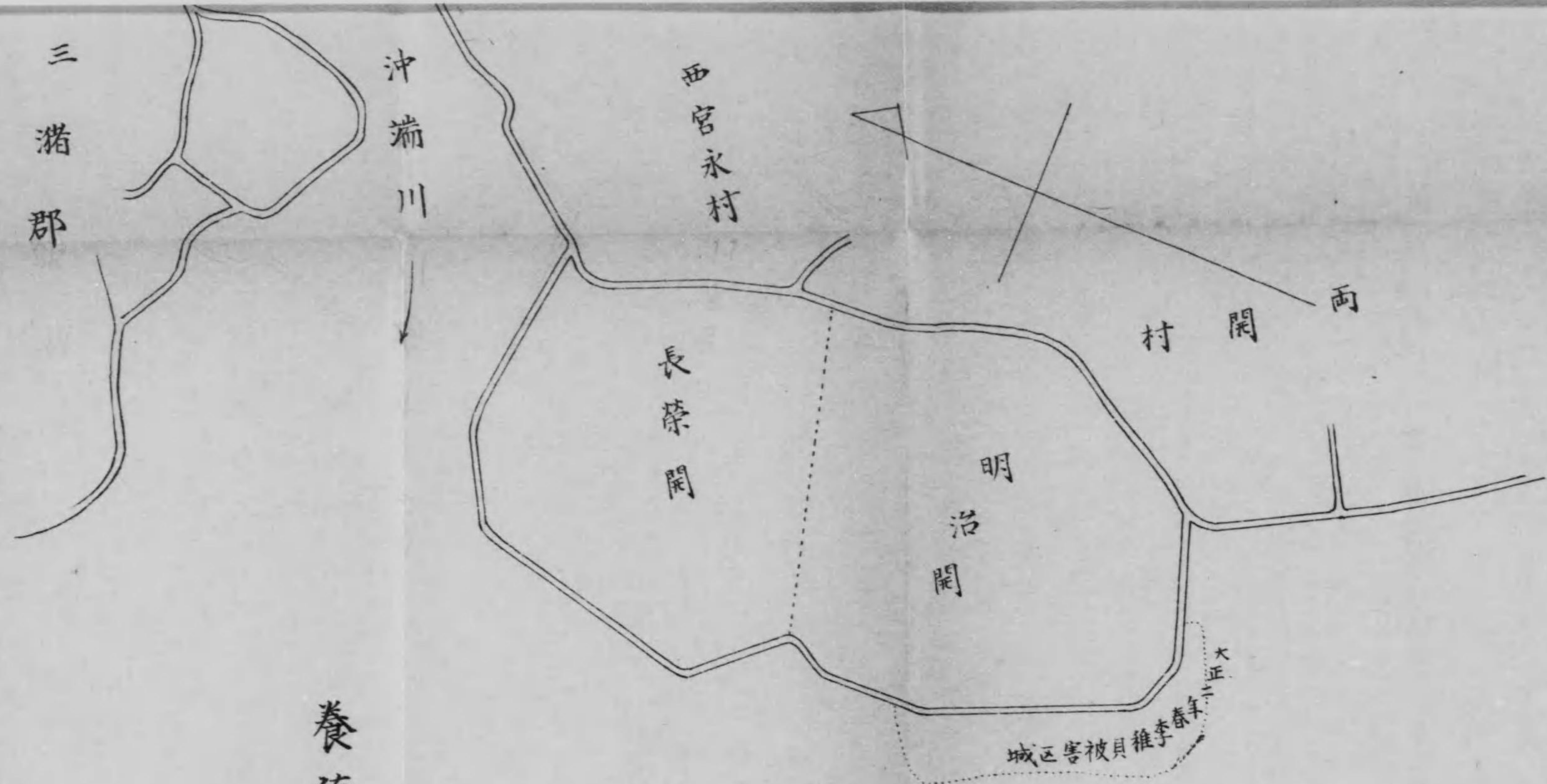
養殖場位置
一万二千分の一

△ 彌敷貝
9 8 7 6 5 4 3 2 1
○ 大正二年時
五 四 三 二 一
□ 大正元年時
五 四 三 二 一

西宮永村
養殖場

45679
○○○○○
302
四五

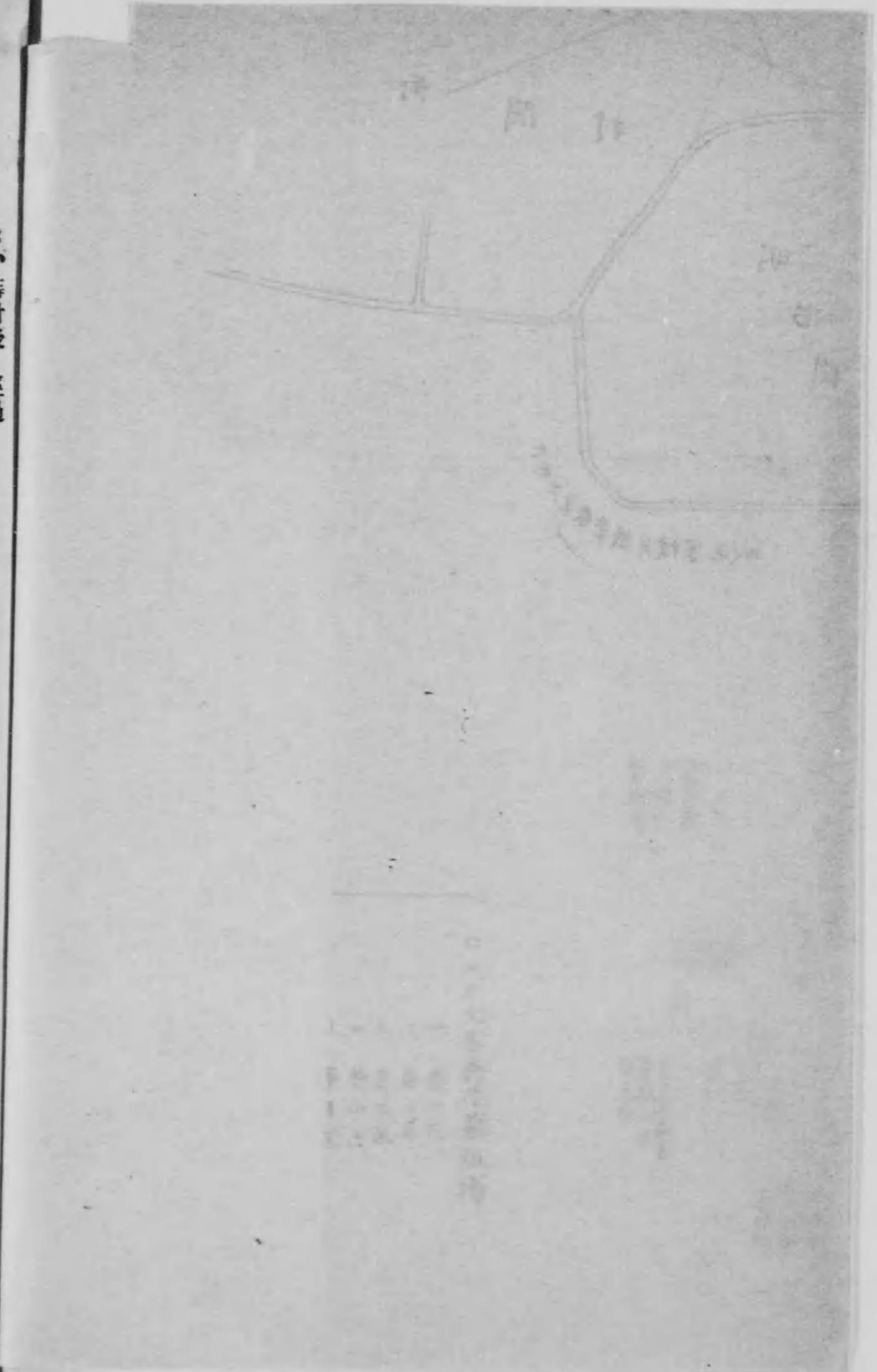
平最最	均小大	殼長	殼高	殼厚	体重
		一、六三	〇、五三	〇、三三	一、三九
		一、四五	〇、四六	〇、二七	〇、八〇
		一、七七	〇、五五	〇、三五	一、八一
		寸	寸	寸	匁



養殖場位置
一万二千分の一

- △ 彌勒貝養殖場
- 大正二年時付養殖場
 - 1. 五月時
 - 2. 六月上旬時
 - 3. 七月上旬時
 - 4. 七月中旬時
 - 5. 八月上旬時
 - 6. 八月中旬時
 - 7. 九月中旬時
 - 8. 同(佐賀種時付区)
 - 9. 十月時
 - 大正元年時付養殖場
 - 一 第一区
 - 二 第二区
 - 三 第三区
 - 四 第四区
 - 五 第五区
- 西宮永漁業組合養殖場
大正二年春李養殖場
彌勒貝養殖場
沖端漁業組合養殖場

最	最	平
大	小	均
殼長	寸	一、七 一、四 一、六
殼高	寸	〇、五 〇、四 〇、五
殼厚	寸	〇、三 〇、二 〇、三
体重	匁	一、八 〇、八 一、三
一升入粒數		二五 一ケ



3、蒔付後ノ經過

蒔付當時附近養殖場一帶被害最中ナリシガ本區モ亦九割以上ノ斃死ヲ見ルニ至レリ

4、成長度

調査月日事項	殻長	殻高	殻厚	体重	一升入粒數
蒔付當時	寸			匁	
十月六日	一、六三	〇、五三	〇、三三	一、三九	二五一ケ
十一月六日	一、六六	〇、五四	〇、三三	一、五四	
十二月二十八日	一、六九	〇、五四	〇、三四	一、五四	
大正三年一月卅日	一、七六	〇、五七	〇、三六	一、六七	
二月二十六日	一、八六	〇、五八	〇、四一	二、一〇	
三月二十九日	一、九〇	〇、六〇	〇、四二	二、七七	

但シ二十ケニ付調査セル平均トス

五、蠣貝被害状況

從來蠣被害ハ春秋二季ニ於テ起ルヲ例トシ其春季ニ於ケルモノハ主トシテ沿岸ニ發生セル稚貝ヲ襲ヒ沖合ナル養殖貝ニ及ブコト少ク之ニ反シ秋季ニ於テ罹災スルモノハ主トシテ養殖貝ニシテ其勢激

烈ナル場合ニマ、沿岸發生地ニ於ケル天然貝ニモ及害スルモノトス大正二年ニ於テハ春秋二季共被害ヲ免レザリシモ其春季ニ於ケルモノハ輕微ニシテ沿岸發生地ニ於ケル稚貝ノ被害ハ僅ニ兩開村明治開地先ノ一小部分ニ見タルノ外殆ド皆無ノ状態ナリキ而テ養殖貝ニ於テハ山門郡西宮永地先ニ於ケル一小區域ニ於テ多少ノ被害ヲ見タリ秋季ニ於テハ三池郡地先ヨリ三瀧郡地先ニ亘リ一般養殖場ニ於テ夏季蔭付シタル養殖煙ニ激烈ナル被害ヲ見タリ然レモ沿岸發生ノ天然貝ニハ何等異狀ヲ見ザリキ被害原因ニ關シテハ海洋理化學上、生物學上及養殖方法上ノ三方面ヨリ研究調査ヲ重ネツ、アレモ其關係極メテ錯雜シ之ガ斷定ニハ各年ノ状態ヲ綜合講究ノ要アルガ故他日ヲ以テ一括發表ヲ期シ左ニ其ノ被害ノ經過ヲ記述ス可シ

イ、春季ニ於ケル被害

1、稚貝ノ被害

例年煙稚貝ハ四月中旬及ビ六月中旬迄ノ候ニ於テ斃死スルノ傾向アレモ本年ハ全發生場ニ亘リテ殆ド被害ヲ認メズト云フモ不可ナク只兩開村明治開堤防東南角ノ一區劃ニ於テ被害ヲ見タルノミナリ此ノ地ニ於テ當初被害ノ徵候ヲ見タルハ五月十八日頃ニシテ十九日調査ノ際点々土壤面ニ拔出デ斃死セルモノアルヲ發見シタレモ二十四日及廿七日視察ノ際ニ於テハ何等ノ異狀ヲ認メザリキ然ルニ二十日(月齡二三、八)ニ至リ盛ニ斃死シ翌二十一日(月齡二四、八)ニ及ビ尤モ激烈ヲ極メ六月一日

(月齡二五、八)以後ニ於テハ殆ド休止シ斃死ヲ認メザリキ而シテ被害程度ハ發生稚貝ノ約五割トス此場所ハ例年稚貝ノ發生多ク而モ必ズ被害アルヲ例トスル個所ニシテ昨年ハ五月二十六日(月齡九、二)頃ヨリ六月二日(月齡一六、二)頃迄ニ於テ起リ被害尤モ盛ナリシハ五月三十一日乃至六月一日ニシテ其時日ハ本年ニ於ケルト殆ド同様ナリキ此ノ場所ニ於ケル本年稚貝ノ發生ハ三月中旬調査ノ際一尺平方ニ付キ最多百十五ヶ平均五十ヶニシテ本年トシテハ比較的濃密ニ發生セシ所トス

2、養殖貝ノ被害

從來春季ニ於ケル被害ハ主トシテ沿岸ニ於ケル稚貝ニ限ラレタルモ本年ハ初メテ沖合養殖地蔭付貝ニ於テモ一部分被害ヲ見タリ被害場所ハ大正元年蔭付本場養殖場第一區、二區、及大正二年蔭付五月蔭附近ニシテ沿岸長榮開ヨリ南西方約六百五十間ノ沖合ニ位シ横縦約百間四方ノ地域トス被害ノ起リタルハ六月四日(月齡二八、八)頃ヨリニシテ當初第二區及附近ナル獎勵會蔭付貝ニ斃死ヲ生ヲシ次デ本年五月蔭付區ニモ斃死ヲ生ジ同月二十五日頃迄繼續シ終ニ約五割ノ死滅ヲ見タリ而テ沿同月二十七日小潮(下弦二二、三)トナリ養殖場干出スルニ至ラズ其ノ後二十九日ニ至リ干出セシ東以テ調査シタルガ此時ハ既ニ斃死状態終熄シ殘存貝ハ其ノ後無事生育ヲ遂ゲタリ而シテ本區ヨリキ岸ノ方約二百四十間ニ位スル西宮永漁業組合養殖場及沖合ノ約百間ヲ距リタル沖端組合養殖場及南方約四十間ヲ距テタル第三區及百間ヲ距テタル第四區ニ於テハ何等被害ヲ見ルコトナカリ

ロ、秋季ノ被害

三瀧、山門、三池三郡地先蔭付煙一帯ニ被害ヲ見其勢激烈ナリキ然レモ沿岸發生ノ稚貝ニハ何等ノ被害ヲ見ザリキ

1、被害ノ經過

鹽塚川及中島川方面、本年七月下旬ヨリ八月ニ及ビ蔭付シタルモノ九月十五日頃ヨリ斃死ノ端ヲ發シ二十三日頃ヨリ二十七日頃尤モ甚敷ク十月一日ニ至リ終熄シタリ被害ノ程度ハ約八割トス兩開村地先、當業者ガ八月上旬面積二千坪ニ對シ種貝六十五石蔭付ヲナシタル一區域ニ於テ九月十三日頃ヨリ斃死ノ端ヲ發シタルヲ第一トシ其後漸次附近養殖場ヲ襲フニ至レリ而テ前記養殖場ハ同月十六日採收シタル際ニハ既ニ約三割ノ斃死ヲ見二十日再ビ採收ノ際ニハ斃死六割ヲ算スルニ至リ而テ終局迄ニハ約八九割ノ斃死ヲ見タリ附近養殖場一帯ハ此程度ノ被害ナリトス而テ被害ノ最モ激烈ナリシハ十八日頃ニシテ十月五六日頃ニ於テハ殆ド終熄シタリ、同地先ナル本場養殖場中九月佐賀縣產稚貝ヲ移植セルモノハ同月二十八日頃ヨリ斃死ヲ見二十九日ヨリ十月一日ニカケ尤モ甚シク終ニ約九割五分ヲ死滅セシムルニ至レリ

西宮永村地先、西宮永村地先養殖場ニ於テハ二十七日頃迄ハ何等被害無カリシモ二十八日ヨリ多少ノ斃死スルモノヲ生シ九月三十日及十月一日ニ及ビ稍甚シク六日ヨリ八日ニカケ激烈ニシテ其後

ハ狀勢緩漫ナリシモ漸次斃死スルモノヲ生シ十月二十日頃終熄迄ニ約六割乃至八割ノ斃死ヲ見ルニ至レリ本場養殖場ニ於テモ十月六日頃ヨリ先ヅ七月中旬蔭八月蔭九月蔭斃死ヲ生ジ以テ九日頃ヨリ之ヨリ稍沖合五月蔭六月蔭及七月七旬蔭ニ斃死ヲ生ズルニ至レリ而シテ斃死ノ尤モ激烈ナリシハ各蔭付區トモ十二日乃至十五日ニシテ其ノ後モ徐々ニ斃死シ終熄スルニ至リシハ同月二十日頃ナリキ而テ被害ノ程度ハ五月蔭ニ於テ約六割六月及七月蔭ニ於テ約六割七月中旬及八月蔭ニ於テ約八割九月及十月蔭ニ於テ約九割トフ即沖合養殖場斃死少ナク沿岸ニ於テ多キヲ示シ而シテ蔭付量厚キ程被害激甚ナリキ當地方ニ於ケル此ノ關係ハ當業者養殖場ニ於テモ同様ニシテ沿岸ニ近キ西宮永村養殖場ニ於テ尤モ甚シク沖合ナル沖端養殖場ニ於テハ尤モ輕微ナリキ

三瀧郡地先、本地先ニ於テ最初被害ヲ見タルハ九月二十日頃ニシテ全場養殖場中尤モ沖合ニ位シ七月中旬頃採取及運搬共ニ不良ニシテ衰弱シ居リタル佐賀縣產種貝ヲ移植シタルモノニ初マレリ而テ當時ニ於テハ未ダ附近養殖場ニハ何等異狀ヲ認メザリシモ山門郡西宮永村地先ニ斃死ヲ見初メタル二十八日頃ニ至リ此附近ニモ点々斃死ヲ出スニ至レリ

同附近ハ此地先ニ於ケル被害ノ際ニハ特ニ罹災シ易キ地トス而テ被害程度ハ之ヨリ沿岸ニ至ルニ從ヒ漸次減少シ半以北ニ於テハ當時迄何等斃死ヲ認ムル能ハサリキ然ルニ其後斃死狀態促進シ十月十一日乃至十四日頃ニ於テ尤モ激烈ニシテ本地先全部ニ亘リ斃死ヲ生ズルニ至レリ然レモ尚上方即沿